Nikon

NX Field システム

使用説明書

© 2021 Nikon Corporation

Jp

もくじ

本書について 5

本文中のマークについて.....5
表記について.....5
必要な基本知識について.....6
NX Field システムで使用できるカメラについて.....6

NX Field システムについて：Z9/Z8/Z6III/D6/D5 をお使いの場合 7

NX Field システムを使ってできること.....8
NX Field アプリとは.....11
必要な機材について.....13

NX Field システムを使用するための設定を行う 14

カメラの準備.....14
NX Field アプリを使うときのリモートカメラの制限と設定について.....36
iPhone の準備.....39
iPad の準備.....51

マスターカメラとリモートカメラで撮影（連動レリーズ）して FTP 送信する 71

連動レリーズとは.....71
連動レリーズの設定.....73
リモートカメラの状態を確認する.....75
リモートカメラの AF 設定について.....78

iPhone でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する　79

NX Field アプリの画面について 80
NX Field アプリでの撮影方法 91
NX Field アプリでオートキャプチャー撮影の操作を行う 105
NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する 119
NX Field アプリでの再生 135
NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する 150
すべてのリモートカメラの接続設定を他の iPhone/iPad に送信する 161
NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする 162
送信速度とフレームレートを設定する 163
Wake-on-LAN でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする（D6 のみ） 165
iPhone に接続したリモートカメラをゲームパッドで操作する 170
その他の設定について 171

iPad でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する　173

NX Field アプリの画面について 174
NX Field アプリでの撮影方法 192
撮影グループごとにレリーズする 239
NX Field アプリでオートキャプチャー撮影の操作を行う 245
NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する 260
NX Field アプリでの再生 281
NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する 298

すべてのリモートカメラの接続設定を他の iPhone/iPad に送信する.....310
NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする.....311
送信速度とフレームレートを設定する.....312
Wake-on-LAN でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする（D6 のみ）.....314
iPad に接続したリモートカメラをゲームパッドで操作する.....319
その他の設定について.....321

NX Field システムについて：Z7II/Z6II/Z7/Z6 をお使いの場合 324

NX Field システムを使ってできること.....325
NX Field アプリとは.....326
必要な機材について.....327
NX Field システムを使用するための設定を行う.....328
iPhone でリモートカメラの撮影を指示する.....336
iPad でリモートカメラの撮影を指示する.....337

資料 338

画像自動転送の推奨環境および設定について.....338

索引 341

本書について

本書では、次のマークと表記を使用しています。

本文中のマークについて

本書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

☑	NX Field システムを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことなどを記載しています。
🖉	NX Field システムを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
📖	本書で関連情報が記載されているページです。

表記について

- 本書では、連動レリーズを指示するカメラを「マスターカメラ」、指示を受けて連動レリーズを行うカメラを「リモートカメラ」と表記しています。
- 本書に掲載の画面は、主に Z9 ファームウェアバージョン C:5.10、iOS/iPadOS バージョン 17 をお使いの場合に表示される画面を使用しています。

必要な基本知識について

本書は、ネットワーク、FTP サーバー（Z9/Z8/Z6III/D6/D5 のみ）に関する基本的な知識のあるお客様を対象としています。FTP サーバー等の動作環境および設定方法については、FTP サーバーのベンダーにお問い合わせいただくか、市販の参考書籍などでご確認ください。

NX Field システムで使用できるカメラについて

NX Field システムでは、Z9/Z8/Z6III/Z7II/Z6II/Z7/Z6/D6/D5 を使用できます。カメラの機種に応じて、次のページをご覧ください。

NX Field システムについて：Z9/Z8/Z6III/D6/D5 をお使いの場合（📖 7）

NX Field システムについて：Z7II/Z6II/Z7/Z6 をお使いの場合（📖 324）

NX Field システムについて：Z9/Z8/Z6III/D6/D5 をお使いの場合

NX Field システムとは、マスターカメラまたは NX Field アプリ（📖 11）をインストールした iPhone/iPad からリモートカメラを操作するシステムの名称です。NX Field システムを使用するには、お使いのカメラを NX Field 機能に対応したファームウェアにファームアップする必要があります。

☑ カメラのファームアップについて

- 通常のファームアップで NX Field 機能に対応可能なカメラ
  - Z9（ファームウェアバージョン C:5.20 以降）
  - Z8（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）
- ニコンサービス機関で有償のファームアップを行う必要があるカメラ
  - Z6III
  - D6
  - D5

ファームウェアの状態を確認するには

カメラがファームアップされると、次のメニューが表示されます。

- Z9/Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**接続設定の連携**］
- D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］
- D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］

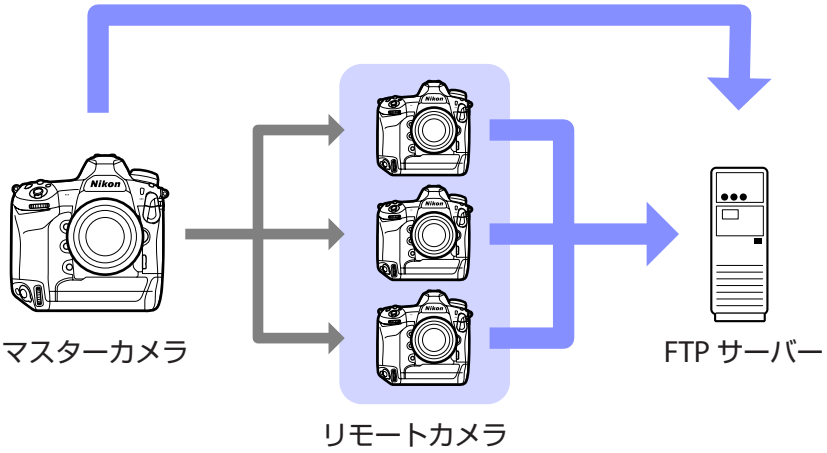
NX Field システムを使ってできること

NX Field システムを使用すると、マスターカメラまたは iPhone/iPad から複数のリモートカメラを操作して、撮影と同時に FTP サーバーに送信できます。

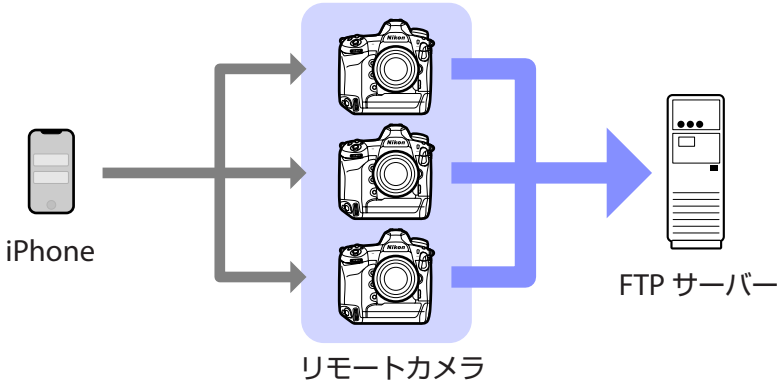
無線接続について

NX Field システムはワイヤレストランスミッター WT-5/WT-6 および Z9/Z8/Z6III の内蔵無線 LAN を使用した無線接続が可能ですが、確実なリモートカメラ制御および FTP サーバーへの送信を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN の使用をおすすめします。無線接続が通信障害等で切断された場合、復旧後に再接続するためにはカメラの電源を OFF にしてもう一度 ON にする必要があります。

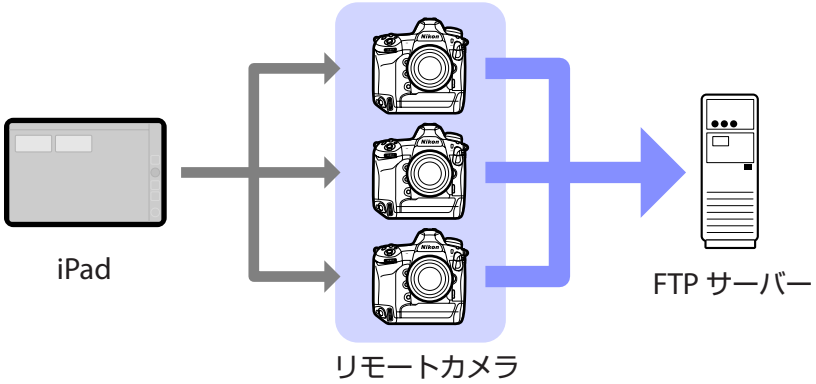
マスターカメラとリモートカメラで撮影して FTP 送信する（📖 71）



iPhone でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する（📖 79）



iPad でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する（📖 173）



☑各機器の配置について

マスターカメラとリモートカメラ、iPhone/iPad は同一ネットワーク上に配置してください。FTP サーバーは、カメラと同一の LAN または WAN 上のどちらにも配置できます。

複数機種の混在について

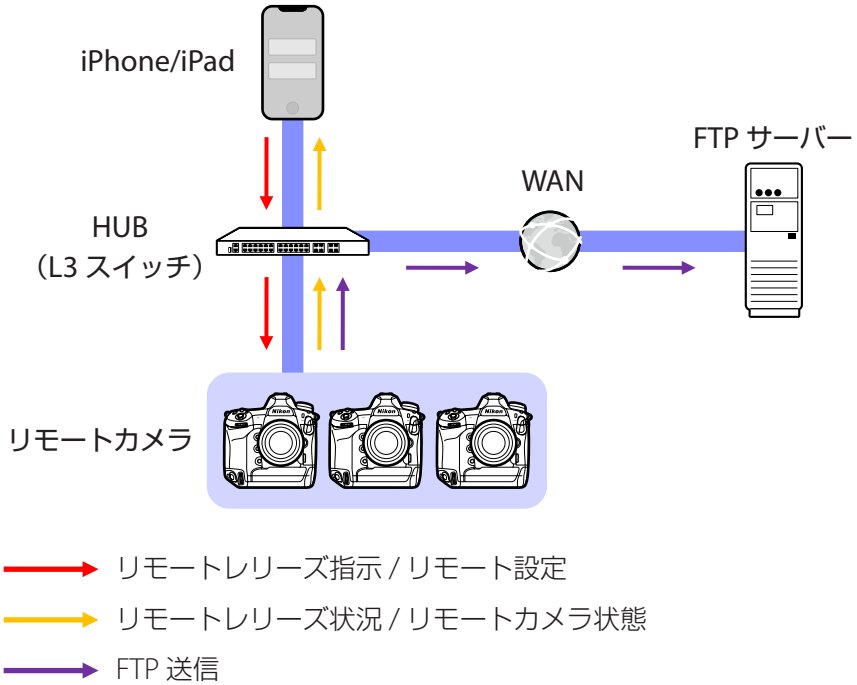
iPhone/iPad で撮影を指示する場合、リモートカメラは NX Field に対応した複数の異なる機種を混在させて使用することができます。

カメラ間の連動レリーズについて

カメラ間の連動レリーズ（📖 71）を行うときのマスターカメラおよびリモートカメラには、Z9/Z8/Z6III/D6/D5 のいずれも使用できます。

NX Field アプリとは

NX Field アプリは、iPhone/iPad 用のアプリケーションです。同一ネットワーク上にある複数のリモートカメラを操作して、撮影と同時に FTP 送信を行うことができます。



iPhone 用と iPad 用の違いについて

NX Field アプリの基本的な機能は同じですが、iPad 用にはライブビューの複数表示（📖 211）、動画撮影（📖 220）、およびスキン表示によるリモートカメラの配置図作成（📖 226）など独自の機能があります。

異なるネットワーク間の使用（NAT トラバーサル）について

NX Field システムでルーターのポートフォワーディング機能による NAT トラバーサルを使用する場合、マスターカメラまたは iPhone/iPad から制御できるリモートカメラは 1 台のみとなります。

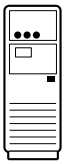
必要な機材について

NX Field システムの使用に必要な機材は次の通りです。

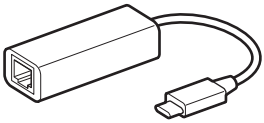
- NX Field 機能に対応したファームウェアにファームアップ済みの Z9/Z8/Z6III/D6/D5

- NX Field アプリをインストールした iPhone または iPad

- FTP サーバー



- USB Type-C または Lightning 端子の LAN 変換アダプター（Z8/Z6III/iPhone/iPad を有線 LAN に接続する場合に使用）



その他、接続環境に応じたネットワーク関連機器が必要となります。

NX Field システムを使用するための設定を行う

カメラおよび iPhone/iPad を NX Field システム上で使用するための設定を行います。

カメラの準備

マスターカメラ、およびすべてのリモートカメラに対して、NX Field システムで使用するために必要な設定を行います。

カメラを NX Field 機能に対応したファームウェアにする

使用するカメラのファームウェアを、NX Field 機能対応のバージョンにアップデートする必要があります（📖 7）。

カメラの時刻を合わせる

NX Field システムを使用する場合、すべてのカメラの日時を正確に合わせることをおすすめします。

- NX Field アプリの時刻同期（📖 171、321）が有効に設定されている状態でリモートカメラを NX Field アプリに接続すると、自動的に iPhone/iPad の時刻に同期されます。
- マスターカメラは NX Field アプリに接続しないため、手動で正しい時刻に設定してください。

タイムゾーンについて

NX Field アプリではタイムゾーンは同期されません。あらかじめすべてのカメラでタイムゾーンの設定を合わせてください。

マスターカメラを一時的にリモートカメラにして iPhone/iPad と時刻を同期する

マスターカメラを一時的にリモートカメラにして iPhone/iPad に接続すると、自動的に時刻が同期されます。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**マスター/リモート選択**］>［**リモートカメラ**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］>［**Master/remote**］>［**Remote camera**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］>［**Master/remote**］>［**Remote camera**］
- 時刻を同期した後に［**Master camera**］に戻してください。

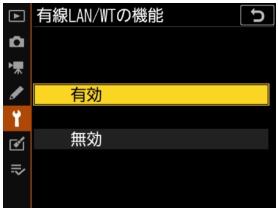
カメラを有線 LAN でネットワークに接続して NX Field システム用の接続設定を行う

NX Field システムで使用するすべてのカメラに接続設定を行います。

ステップ 1：ネットワーク機能を有効にする（D6 のみ）

D6 をお使いの場合、事前にネットワーク機能を有効にする必要があります。

セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］の［**有線 LAN/WT の機能**］で、［**有効**］を選んでください。



ステップ 2：ネットワークのハードウェアを有線 LAN に設定する / 有線 LAN を有効にする

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9：ネットワークメニュー［**有線 LAN**］>［**ON**］
  - Z8：ネットワークメニュー［**USB 通信専用端子の設定**］>［**USB-LAN**］
  - Z6III：ネットワークメニュー［**USB**］>［**USB-LAN**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**ハードウェアの選択**］>［**有線 LAN**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**ハードウェアの選択**］>［**有線 LAN**］
- D6 の内蔵無線 LAN は使用できません。ワイヤレストランスミッター WT-5/WT-6 および Z9/Z8/Z6III の内蔵無線 LAN を使用した無線接続は可能ですが、確実なリモートカメラの制御および FTP サーバーへの送信を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN を使用することをおすすめします。
- Z8/Z6III をお使いの場合、有線 LAN でネットワークに接続するには、市販の USB Type-C 端子の USB-LAN 変換アダプターが必要です。カメラの USB 端子（Z8 は USB 通信専用端子）に接続してください。

ステップ 3：カメラを FTP サーバーに接続する

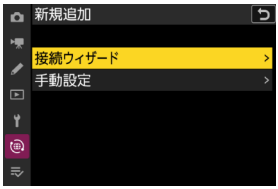
接続設定名や IP アドレスなどを設定して、FTP サーバーに接続します。

- 事前に設定するカメラに LAN ケーブルを接続し、FTP サーバーを起動させてから、次の設定を行ってください。

☑接続設定の内容について

固定 IP アドレスやサブネットマスクなどの入力内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

1. FTP サーバーとの接続設定メニューを選ぶ



- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**FTP サーバーと接続**］>［**接続設定**］>［**新規追加**］>［**接続ウィザード**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**接続設定**］>［**新規追加**］>［**接続ウィザード**］>［**FTP 画像送信モード**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**接続設定**］>［**新規追加**］>［**接続ウィザード**］>［**FTP 画像送信モード**］
- OK ボタンを押すと、初期設定の接続設定名が表示されます。

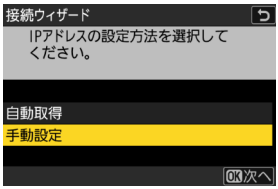
2. 接続設定名を入力する

接続設定名を入力するには、OK ボタン（Z9/Z8/Z6III）またはマルチセレクターの中央ボタン（D6/D5）を押します。

入力後に 🔍 ボタン（Z9/Z8/Z6III）または OK ボタン（D6/D5）を押すと IP アドレスの設定画面が表示されます。

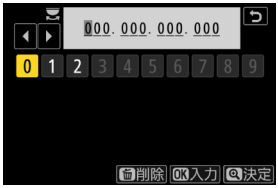
- 接続設定名を変更しない場合は、そのまま 🔍 ボタン（Z9/Z8/Z6III）または OK ボタン（D6/D5）を押すと、IP アドレスの設定画面が表示されます。

3. IP アドレスの設定画面で［手動設定］を選ぶ



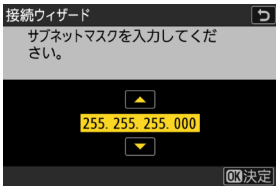
- ［**自動取得**］でも NX Field 機能を使用できますが、ネットワークを再接続する、または DHCP のリースが切れるなど、リモートカメラの IP アドレスが変わった場合に、NX Field アプリに IP アドレスを再登録する必要があるため、固定 IP アドレスの使用をおすすめします。

4. カメラの IP アドレスを入力する



- 機種により入力方法が異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：メインコマンドダイヤルで桁を、◀▶ で数字を選び、OK ボタンを押して入力します。
  - D6：メインコマンドダイヤルで桁を、◀▶ で数字を選び、中央ボタンを押して入力します。
  - D5：◀▶ で桁を選び、▲▼ で数字を選びます。
- 🔍 ボタン（Z9/Z8/Z6III）または OK ボタン（D6/D5）を押すと、IP アドレス設定完了画面が表示されます。再度 OK ボタンまたは 🔍 ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。

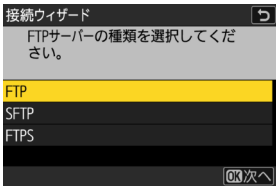
5. サブネットマスクを入力する



▲▼ を押して数値を変更し、OK ボタンを押して決定すると、IP アドレス設定完了画面が表示されます。

IP アドレス設定完了画面が表示されたら OK ボタンを押します。

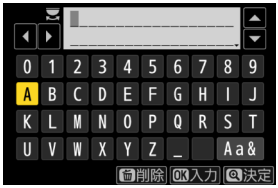
6. FTP サーバーの種類を選ぶ



［**FTP**］または［**SFTP**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、アドレス入力画面が表示されます。

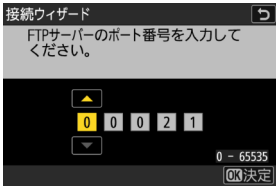
- Z9（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）/Z8/Z6III をお使いの場合は［**FTPS**］も選べます。

7. FTP サーバーのアドレスを入力する



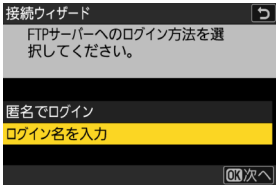
- 機種により入力後の手順が異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：入力後に ⊕ ボタンを押すと、ポート番号の入力画面が表示されます。
  - D6/D5：入力後に Ⓚ ボタンを押します。接続に成功すると、ログイン方法の選択画面が表示されます。

8. FTP サーバーのポート番号を入力する（Z9/Z8/Z6III のみ）



サブコマンドダイヤルで桁を、メインコマンドダイヤルで数字を選び、Ⓚ ボタンを押して決定します。接続に成功すると、ログイン方法の選択画面が表示されます。

9. ログイン方法を選ぶ



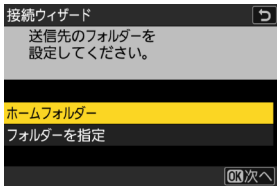
FTP サーバーへのログイン方法を選んで Ⓚ ボタンを押します。

- ［**ログイン名を入力**］を選んだ場合は、ユーザー ID とパスワードを入力します。

☑ SFTP サーバーを使用する場合のご注意

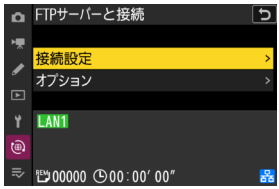
SFTP サーバーを使用する場合は、必ず［**ログイン名を入力**］を選んでください。［**匿名でログイン**］にすると NX Field アプリからリモートカメラに接続できなくなることがあります。

10. 送信先フォルダーを設定する



- ［**ホームフォルダー**］を選んだ場合、送信先を FTP サーバーのホームフォルダーに設定します。
- ［**フォルダーを指定**］を選んだ場合、送信先のフォルダー名を手動で入力します。送信先のフォルダーは、あらかじめ FTP サーバー側で作成しておく必要があります。
- 設定後 OK ボタンを押します。
  - Z9/Z8/Z6III：ネットワーク接続と、FTP サーバーへの接続が開始されます。
  - D6/D5：接続設定完了画面で［**接続して終了する**］を選んでください。ネットワーク接続と、FTP サーバーへの接続が開始されます。

11. カメラと FTP サーバーの接続を確認する



正しく FTP サーバーに接続できた場合には接続設定名が緑色で表示されます。

- 接続設定名が赤で表示された場合は、FTP サーバーまたはネットワークの設定を確認してください。

ポート番号について

FTP サーバーの種類が［**FTP**］のときは TCP ポート 21、32768 ～ 61000、［**SFTP**］のときは TCP ポート 22、32768 ～ 61000、また［**FTPS**］のときは TCP ポート 990 を使用します。ファイアーウォールを設定している FTP サーバーでは、ファイアーウォールにポート番号の例外設定を行わないと、カメラと FTP サーバー間で転送ができない場合があります。

FTPS サーバーに接続する場合

FTPS サーバーに接続する場合、接続前にカメラにルート証明書を読み込む必要があります。ルート証明書の管理はカメラのネットワークメニュー［**FTP サーバーと接続**］>［**オプション**］>［**ルート証明書の管理**］で行います。

異なるネットワーク間の使用（NAT トラバーサル）について

- NX Field システムでルーターのポートフォワーディング機能による NAT トラバーサルを使用する場合、マスターカメラまたは iPhone/iPad から制御できるリモートカメラは 1 台のみとなります。
- インターネットを経由してリモートカメラを操作する場合は、安全に通信を行うために、VPN の使用をおすすめします。

カメラの接続設定が完了しました。**カメラの NX Field 設定を有効にする（📖 22）****にお進みください。**

カメラの NX Field 設定を有効にする

FTP サーバーへの接続設定が完了しているすべてのカメラを、NX Field システムの連動レリーズが可能な状態にします。

連動レリーズに必要なカメラの設定について

グループ名

ネットワーク上にある連動レリーズを行う全てのカメラに同じグループ名を設定します。iPhone/iPad からリモートカメラを操作する場合は、グループ名を NX Field アプリで設定する［**Group name**］（📖 45、59）に合わせてください。

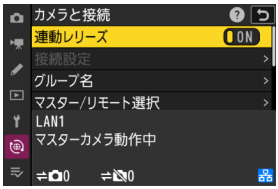
マスターカメラとリモートカメラ

NX Field で使用するカメラは次のいずれかに設定します。

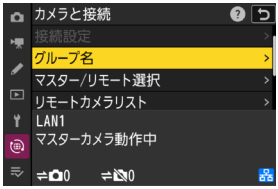
- マスターカメラ：マスターカメラに設定したカメラのレリーズボタンを押すと、連動してリモートカメラのシャッターがきれます。
- リモートカメラ：マスターカメラのレリーズに連動してレリーズします。また、NX Field アプリのレリーズボタンをタップするとレリーズします。

Z9（ファームウェアバージョン C:4.00 未満）/Z8/Z6III の設定を行う

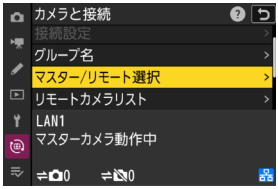
1. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］にある［**連動レリーズ**］と［**接続設定の連携**］（Z9/Z8 のみ）の両方を［**ON**］にする



2. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ名**］を選んでグループ名を入力する



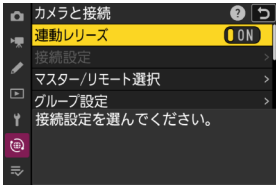
3. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**マスター / リモート選択**］で［**マスターカメラ**］または［**リモートカメラ**］を選ぶ
   - マスターカメラに設定する場合は、リモートカメラの登録を行ってください（📖 32）。

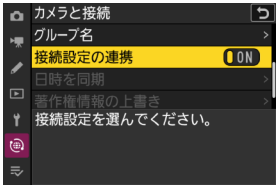


Z9（ファームウェアバージョン C:4.00 以降）の設定を行う

マスターカメラに設定する場合

1. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］にある［**連動レリーズ**］と［**接続設定の連携**］の両方を［**ON**］にする

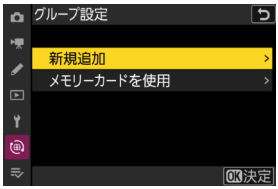




2. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**マスター / リモート選択**］で［**マスターカメラ**］を選ぶ

3. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ設定**］で［**新規追加**］を選ぶ

   入力画面が表示されます。

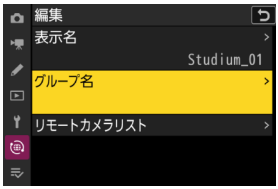


4. 表示名を入力する

入力後に ⊕ ボタンを押すと［**編集**］画面が表示されます。

> **表示名について**
>
> 表示名とは、リモートカメラリスト（📖 32）の名称です。［**グループ設定**］画面で表示名を選び、連動レリーズを行うリモートカメラリストを切り換えることができます。

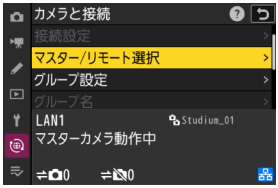
5. ［**グループ名**］を選んでグループ名を入力する



6. リモートカメラを登録する（📖 32）

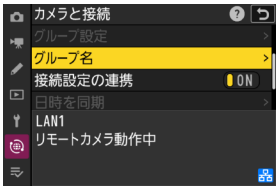
リモートカメラに設定する場合

1. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**マスター / リモート選択**］で［**リモートカメラ**］を選ぶ



2. ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ名**］を選んで、マスターカメラまたは NX Field アプリと同じグループ名を入力する

   マスターカメラに登録可能な状態になります。

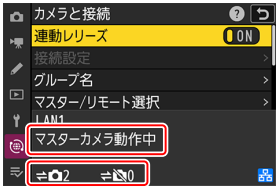


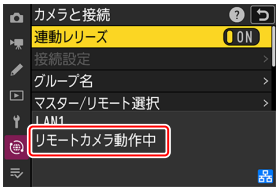
☑ 複数台のカメラを［Master camera］に設定した場合

- NX Field システム上の同一グループ内で最初に電源を ON にしたカメラをマスターカメラとして使用できます。
- 同一グループ内でマスターカメラとして使用できるのは 1 台のみです。
- Z9（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）/Z8/Z6III をマスターカメラとしてお使いの場合、カスタムボタンで他のマスターカメラからリモートカメラの制御を引き継ぐことができます。
  - カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で任意のボタンに［**リモートカメラの優先接続**］を割り当てます。
  - NX Field システム上の同一グループに接続した状態で［**リモートカメラの優先接続**］を割り当てたボタンを押すと、そのカメラがマスターカメラとなってリモートカメラの制御を行えます。

[カメラと接続] に表示されるステータスについて（Z9/Z8/Z6III のみ）

カメラの NX Field 設定を有効にすると、ネットワークメニュー［**カメラと接続**］に「マスターカメラ動作中」または「リモートカメラ動作中」と表示されます。マスターカメラの場合、接続済みのリモートカメラの台数と、接続していないリモートカメラの台数も表示されます。



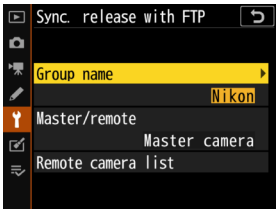


D6/D5 の設定を行う

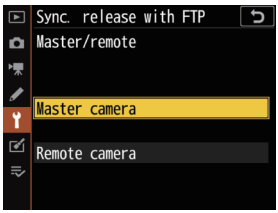
1. ［**Sync. release with FTP**］画面を表示する

- 機種によりメニューが異なります。
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］

2. ［**Sync. release with FTP**］画面で［**Group name**］を選んで、グループ名を入力する



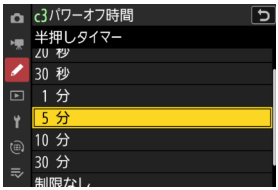
3. ［**Sync. release with FTP**］画面の［**Master/ remote**］で［**Master camera**］または［**Remote camera**］を選ぶ



- マスターカメラに設定する場合は、リモートカメラの登録を行ってください（📖 32）。

マスターカメラの半押しタイマー設定について

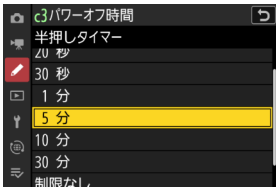
マスターカメラの半押しタイマーがオンになってからリモートカメラに接続するまでに約 20 秒かかります。マスターカメラは、半押しタイマーを 5 分以上に設定して、撮影開始の 20 秒以上前に半押しタイマーをオンにしてください。



- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］
  - D6/D5：カスタムメニュー c2［**半押しタイマー**］

リモートカメラの半押しタイマーの設定について

リモートカメラの半押しタイマーがオフになると、NX Field システムでレリーズや設定変更ができなくなります。半押しタイマーがオフにならないように設定してください。



- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］
  - D6/D5：カスタムメニュー c2［**半押しタイマー**］

Z9/Z8/Z6III の画像モニターについて

設置するリモートカメラの画像モニターは、撮影画面を表示してください。リモートカメラが NX Field システムのネットワークに接続していないときに再生画面またはメニュー画面を表示していると、c3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］を［**制限なし**］に設定している場合でも、［**画像の再生**］または［**メニュー表示**］で設定した時間に従って画面が消灯し、マスターカメラまたは iPhone/iPad からの操作ができなくなります。

D6 の半押しタイマーについて

リモートカメラが D6 の場合、NX Field アプリを操作して半押しタイマーをオンにできます（📖 165、314）。

撮影開始の日時まで半押しタイマーをオフにするには（D6/D5 のみ）

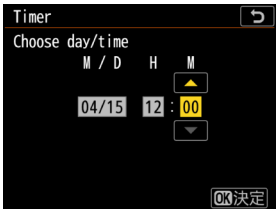
リモートカメラにタイマーを設定しておくと、設定した日時に半押しタイマーをオンにできます。リモートカメラを設置してから撮影するまでに時間があく場合、タイマーを設定しておけば設定時間まで半押しタイマーをオフにしてバッテリーの消費を抑えることができます。

1. 半押しタイマーの設定を選ぶ

- 機種によりメニューが異なります。
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**Timer**］>［**On**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**Timer**］>［**On**］

2. リモートカメラの半押しタイマーをオンにする日時を入力する

最長期間は 21 日後の 23:59 までです。



3. ［**Start**］を選択する

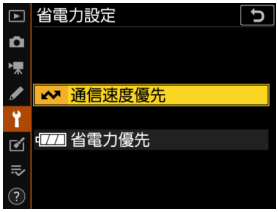
約 4 秒後にカメラの半押しタイマーがオフになり、設定した日時に半押しタイマーがオンになります。

☑半押しタイマーをオンにする日時設定についてのご注意

- リモートカメラが動作可能になるまでに、設定した日時から約 30 秒かかります。
- 半押しタイマーをオンにする日時が設定されているときにリモートカメラのシャッターボタンを半押しすると半押しタイマーがオンになりますが、約 4 秒後に再度半押しタイマーがオフになります（D5 のみ）。
- カメラの電源を一度 OFF にすると、半押しタイマーをオンにする日時設定は解除されます。

省電力設定の設定について（D6/D5 のみ）

マスターカメラおよびリモートカメラのネットワーク接続を切断させないために、通信速度を優先するように設定してください。

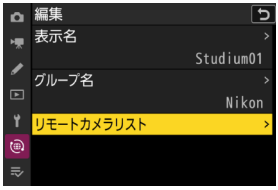


- 機種によりメニューが異なります。
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］＞［**オプション**］＞［**省電力設定**］＞［**通信速度優先**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］＞［**オプション**］＞［**省電力設定**］＞［**通信速度優先**］

マスターカメラにリモートカメラを登録する

マスターカメラを使用してリモートカメラと連動レリーズを行う場合は、同一グループ（📖 22）のリモートカメラをマスターカメラに登録する必要があります。

1. マスターカメラのリモートカメラリストを表示させる

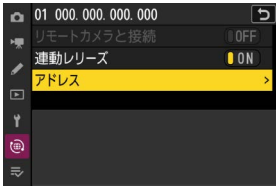


- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］＞［**グループ設定**］＞設定した表示名を選んで ⊛ を押し、［**編集**］画面で［**リモートカメラリスト**］を選ぶ
  - Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］＞［**リモートカメラリスト**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］＞［**オプション**］＞［**Sync. release with FTP**］＞［**On**］＞［**Remote camera list**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］＞［**オプション**］＞［**Sync. release with FTP**］＞［**On**］＞［**Remote camera list**］

2. リモートカメラリストの中から登録先を選んで ⊛ を押す

- リモートカメラは 10 台（Z9 のファームウェアバージョン C:4.00 以降は 16 台）まで登録できます。
- リモートカメラの設定画面が表示されます。

3. IP アドレスを表示させる



- 機種によりメニューが異なります
  - Z9/Z8/Z6III：［**アドレス**］
  - D6/D5：［**IP Address**］

4. 設定済みのリモートカメラの IP アドレス（📖 18）を入力する

- 機種により入力方法が異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：メインコマンドダイヤルで桁を、◀▶ で数字を選び、OK ボタンを押して入力します。
  - D6：メインコマンドダイヤルで桁を、◀▶ で数字を選び、中央ボタンを押して入力します。
  - D5：◀▶ で桁を選び、▲▼ で数字を選びます。

5. 🔍 ボタン（Z9/Z8/Z6III）または OK ボタン（D6/D5）を押す

リモートカメラがマスターカメラに登録されます。

- 登録したい台数分、手順 2 ～ 5 を繰り返してください。
- IP アドレスの入力後に表示される画面でリモートカメラの接続を有効にしてください。機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：［**リモートカメラと接続**］＞［**ON**］
  - D6/D5：［**Remote connection**］＞［**Enable**］

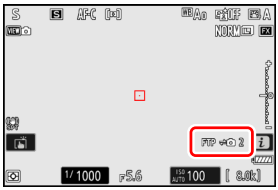
リモートカメラの接続状況確認について

マスターカメラからリモートカメラの接続状況を確認できます。

- リモートカメラの接続状況は、マスターカメラのリモートカメラリストに表示されます。

表示	説明
Connected（撮影時刻）	正しく接続されています。一度連動レリーズを行うと、最後の撮影時刻が表示されます。
Busy	他のマスターカメラまたは NX Field アプリがリモートカメラを制御しています。
Error	• リモートカメラの半押しタイマーがオフになっています。 • リモートカメラの電源が OFF になっています。 • リモートカメラの接続設定がオフになっています（📖 22）。 • マスターカメラとリモートカメラのグループ名が異なっています（📖 22）。 • IP アドレスが間違っています（📖 18）。 • IP アドレスが設定されていません（Z9 のファームウェアバージョン C：2.11 以前のみ）。
OFF	• IP アドレスが設定されていません（Z9 のファームウェアバージョン C:3.00 以降または Z8/Z6III/D6/D5）。 • ［**リモートカメラと接続**］（Z9/Z8/Z6III）または［**Remote connection**］（D6/D5）が OFF になっています（📖 33）。

- Z9（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）/ Z8/Z6III をマスターカメラにしている場合、マスターカメラの撮影画面に、接続状況が［**Connected**］のリモートカメラの台数が表示されます。マスターカメラの静止画 / 動画セレクターを 🎥 に合わせているときは表示されません。



  – いずれかのリモートカメラが FTP サーバーに接続している場合、マスターカメラの撮影画面に［**FTP**］が表示されます。
  – 接続状況が［**Busy**］または［**Error**］のリモートカメラがある場合、［**FTP**］、カメラアイコンおよび台数の表示が赤くなり、カメラアイコン上に ❗ が表示されます。表示されるリモートカメラの台数は、接続できていないカメラの数を表しています。

カメラを NX Field システムで使用するための設定は完了です。iPhone/iPad を使用する場合は NX Field アプリを使うときのリモートカメラの制限と設定について（📖 36）にお進みください。NX Field システムで iPhone/iPad を使用せずマスターカメラからレリーズする場合はマスターカメラとリモートカメラで撮影（連動レリーズ）して FTP 送信する（📖 71）にお進みください。

NX Field アプリを使うときのリモートカメラの制限と設定について

NX Field アプリを使用したレリーズやライブビューの機能が制限されないように、リモートカメラの各種設定を行ってください。

ライブビューの設定について

リモートカメラのモニターがオフになると、NX Field アプリのライブビューが終了します。リモートカメラのモニターがオフにならないように設定してください。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］>［**半押しタイマー**］>［**制限なし**］
  - D6/D5：カスタムメニュー c4［**モニターのパワーオフ時間**］>［**ライブビュー表示**］>［**制限なし**］

ライブビュー（静止画 / 動画）セレクターについて

- NX Field アプリを使用して撮影するときは、静止画撮影または動画撮影にかかわらず、リモートカメラのライブビューセレクター（Z9/Z8/Z6III は静止画 / 動画セレクター）を 📷 に合わせてください。🎥 に合わせていると、機種によっては使用できる機能に制限があります。
- iPad からリモートカメラを使って動画を撮影する場合も、リモートカメラのライブビューセレクター（Z9/Z8/Z6III は静止画 / 動画セレクター）を 📷 に合わせてください。NX Field アプリのライブビューをタイル表示またはメイン－サブ表示にして Video （Video タブ）を選ぶと撮影できます。

送信後ファイル削除の設定について

リモートカメラがファイルを自動で削除するように設定していると、NX Fieldアプリの再生機能に制限が生じる場合があります。送信後のファイル削除を行わないように設定してください。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**FTP サーバーと接続**］>［**オプション**］>［**送信後ファイル削除**］>［**OFF**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**送信後ファイル削除**］>［**しない**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**送信後ファイル削除**］>［**しない**］

画像自動送信設定について

撮影するたびに画像を FTP サーバーに自動で送信するように設定してください。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**FTP サーバーと接続**］>［**オプション**］>［**撮影後自動送信**］>［**ON**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**撮影後自動送信**］>［**する**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**撮影後自動送信**］>［**する**］
- ネットワーク帯域が狭いなどの場合に、自動送信中に NX Field アプリのカメラ制御が不安定になるときは、［**しない**］に設定して、撮影していないときに、画像を選択して FTP サーバーに送信することをおすすめします。

撮影直後の画像確認の設定について（Z9/Z8/Z6III/D6 のみ）

再生メニューで撮影直後の画像確認を行わないように設定してください。画像確認を行うように設定していると、撮影後にライブビューを再開するまでに時間がかかります。

リモートカメラを NX Field アプリで使用する準備が完了しました。iPhone を使用する場合は iPhone の準備（📖 39）に、iPad を使用する場合は iPad の準備（📖 51）にお進みください。

iPhone の準備

NX Field システムで iPhone を使用するために、NX Field アプリのインストールと有線 LAN ケーブルの接続を行います。

NX Field アプリをインストールする

Apple App Store® で「NX Field」を検索し、iPhone にインストールします。

Apple App Store® の利用について

Apple App Store® の利用には Apple ID が必要です。

有線 LAN に接続する

NX Field システムのネットワーク接続には無線 LAN を使用することも可能ですが、確実なリモートカメラの制御を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN を使用することをおすすめします。iPhone のモデルに応じて、市販の USB Type-C または Lightning 対応 LAN 変換アダプターを使用し、LAN ケーブルを接続してください。

LAN ケーブルの接続が完了したら、NX Field アプリを起動して、各種の設定を行います。

iPhone の接続設定を行う

iPhone のネットワーク接続方法や IP アドレスを設定し、NX Field システムを使用するネットワークに接続します。

☑接続設定の内容について

固定 IP アドレスやサブネットマスクなどの入力内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

1. iOS の［設定］アプリケーションを起動する

2. ［Ethernet］を選ぶ

☑無線ネットワークについて

NX Field システムでは無線 LAN の使用も可能ですが、確実なリモートカメラの制御を行うために、電波状況に依存しない有線 LAN の使用をおすすめします。無線 LAN を使用する場合は、リモートカメラと同一のネットワーク上で Wi-Fi をオンにしてください。

3. 使用するインターフェイスを選ぶ

4. ［**IP を構成**］をタップして［**手動**］を選ぶ

5. IP アドレスとサブネットマスクを入力して、［**保存**］をタップする

☑ IP アドレスとサブネットマスクの保存について

IP アドレスとサブネットマスクの入力画面には、あらかじめダミーの数値がグレーで表示されています。両方入力すると［**保存**］が有効になります。保存を行わずに前の画面に戻ると設定が反映されないためご注意ください。

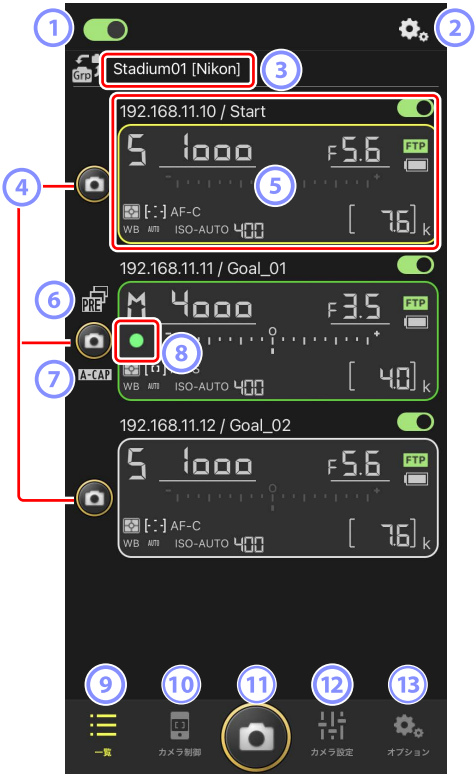
NX Field アプリにリモートカメラを登録する

NX Field アプリから制御するリモートカメラを登録します。

NX Field アプリを起動する

NX Field アプリを起動すると次の画面が表示されます。

- 初回起動時はリモートカメラが未登録のため、 ⑤ リモートカメラ情報は表示されず、 ② 接続オプションの下にカメラ登録のガイドが表示されます。



① **接続スイッチ（📖 49）**
表示名に登録されているリモートカメラの接続をオン / オフします。

② **接続オプション / カメラ制御オプション**
起動後の画面でタップすると、リモートカメラの接続設定画面（📖 47）を表示します。カメラ制御画面（📖 85）でタップすると、リモートカメラのフォーカスや再生方法などの設定画面を表示します。

③ **表示名［グループ名］（📖 45）**
表示名とグループ名が表示されます。タップすると表示名を切り換えられます。

④ **レリーズボタン（1 台）**
撮影するリモートカメラを選んでレリーズを行います。

⑤ **リモートカメラ情報（📖 83）**
シャッタースピードや絞り値など、カメラの上面表示パネルの内容が表示されます。カメラ情報の左にあるレリーズボタンや右上にある接続スイッチは、カメラ 1 台に対して実行されます。長押しすると、［**露出情報のコピー**］が表示されます。

⑥ **プリキャプチャーアイコン（📖 101）**
NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑦ **A-CAP アイコン（📖 106）**
NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑧ **カードアクセスアイコン**
画像をメモリーカードに記録しているときに点灯します。

⑨ **一覧（📖 84）**
一覧画面を表示します。

⑩ **カメラ制御（📖 85）**
カメラ制御画面を表示します。

⑪ **レリーズボタン（マルチカメラ）**
接続スイッチが（オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。

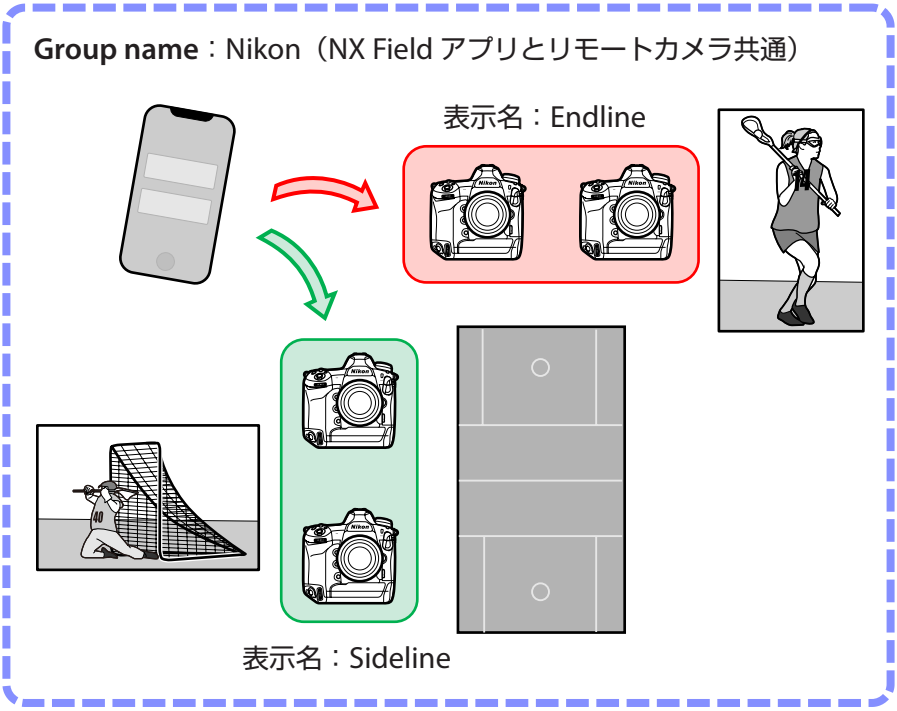
⑫ **カメラ設定（📖 87）**
カメラ設定画面を表示します。

⑬ **オプション（📖 90）**
オプション画面を表示します。

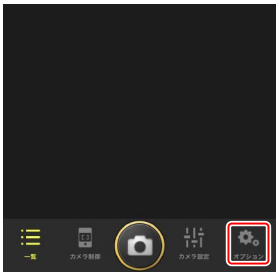
NX Field アプリにリモートカメラと同じグループ名を設定する

NX Field アプリにリモートカメラと同じグループ名を設定して、リモートカメラを登録可能な状態にします。

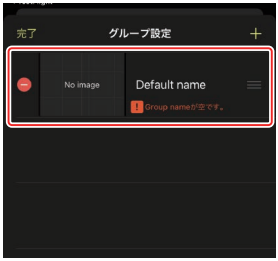
- 表示名を設定すると、表示名ごとに制御するカメラを切り換えられるため、配置別に撮影を行うなど、リモートカメラの管理が行いやすくなります。次の図は、リモートカメラ 4 台のグループ名を「Nikon」と設定して、ゴールに向かう選手を正面から撮影するリモートカメラを表示名「Endline」、ゴール前の模様を側面から撮影するリモートカメラを表示名「Sideline」と設定した場合の例です。



1. （オプション）をタップして［**グループ設定**］を選ぶ



2.「Default name」をタップする

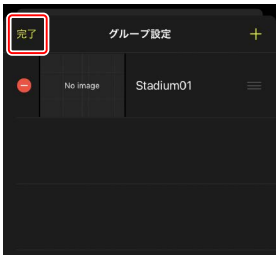


3. リモートカメラのグループ名と同じ名前を［**Group name**］に、また、任意の名前を［**表示名**］に入力して［**保存**］をタップする

- ［**表示名**］の初期設定は「Default name」です。
- リモートカメラの［**Group name**］についてはカメラの NX Field 設定を有効にする（📖 22）を参照してください。

4. ［完了］をタップする

- ＋ をタップすると新規の表示名を追加できます。



グループ内の表示名にリモートカメラを登録する

グループ内の表示名にリモートカメラを登録して、表示名ごとに NX Field アプリから操作できるようにします。

1. 一覧画面で （接続オプション）をタップする

2. ＋ をタップする

3. 設定済みのリモートカメラの IP アドレス（📖 18）とタイトルを入力して［**保存**］をタップする

NX Field アプリにリモートカメラの情報が保存されます。［**OK**］をタップしてダイアログを閉じてください。

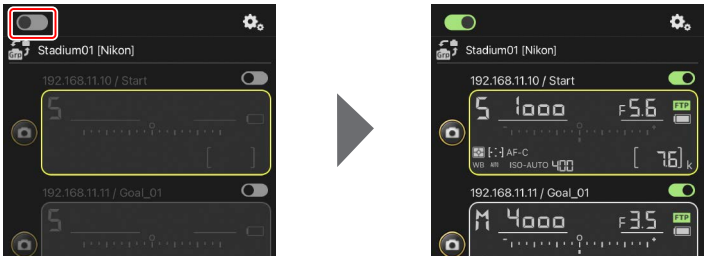
- IP アドレスは、カメラ側で「001」と 3 桁で入力した値についても、ゼロを加えず「1」と入力してください。
- タイトルには任意の名称を入力できます。リモートカメラの設置場所などにしておくと撮影時に便利です。
- タイトルの最大文字数は半角英数字で 8 文字です。
- 登録したいリモートカメラすべてに対して、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

MAC アドレスについて

MAC アドレスは、NX Field アプリでリモートカメラの半押しタイマーをオンにする Wake-on-LAN 機能（📖 165）を使用する場合にのみ入力が必要です。

4. 表示名の（接続スイッチ）をタップする

グループ内の表示名と、表示名に登録されたリモートカメラの接続スイッチが（オン）に変わり、NX Field アプリとリモートカメラが接続されます。



☑ リモートカメラ登録時のご注意

同一グループ内に複数の iPhone/iPad がある場合、グループ内のリモートカメラを制御できるのは 1 台のみです。最初に接続した iPhone/iPad がグループ内のリモートカメラを制御できます。

リモートカメラの登録を解除するには

画面下部にある（オプション）の［**接続カメラ設定**］で、登録を解除したいリモートカメラの をタップして、［**削除**］をタップしてください。

リモートカメラの表示順を入れ替えるには

画面下部にある（オプション）の［**接続カメラ設定**］で、リモートカメラの を上下にドラッグすると、表示順を入れ替えることができます。

iPhone を NX Field システムで使用する準備が完了しました。**iPhone でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する（📖 79）****にお進みください。**

iPad の準備

NX Field システムで iPad を使用するために、NX Field アプリのインストールと有線 LAN ケーブルの接続を行います。

NX Field アプリをインストールする

Apple App Store® で「NX Field」を検索し、iPad にインストールします。

Apple App Store® の利用について

Apple App Store® の利用には Apple ID が必要です。

有線 LAN に接続する

NX Field システムのネットワーク接続には無線 LAN を使用することも可能ですが、確実なリモートカメラの制御を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN を使用することをおすすめします。iPad のモデルに応じて、市販の USB Type-C または Lightning 対応の LAN 変換アダプターを使用し、LAN ケーブルを接続してください。

LAN ケーブルの接続が完了したら、NX Field アプリを起動して、各種の設定を行います。

iPad の接続設定を行う

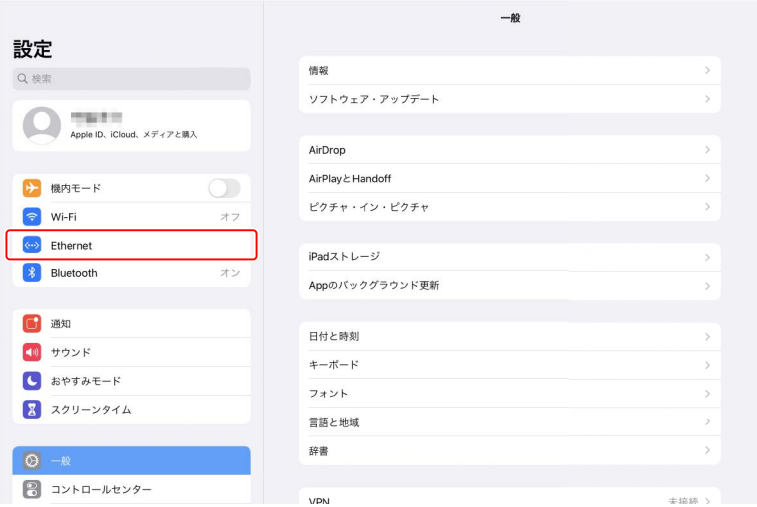
iPad のネットワーク接続方法や IP アドレスを設定し、NX Field システムを使用するネットワークに接続します。

☑接続設定の内容について

固定 IP アドレスやサブネットマスクなどの入力内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

1. iPadOS の［設定］アプリケーションを起動する

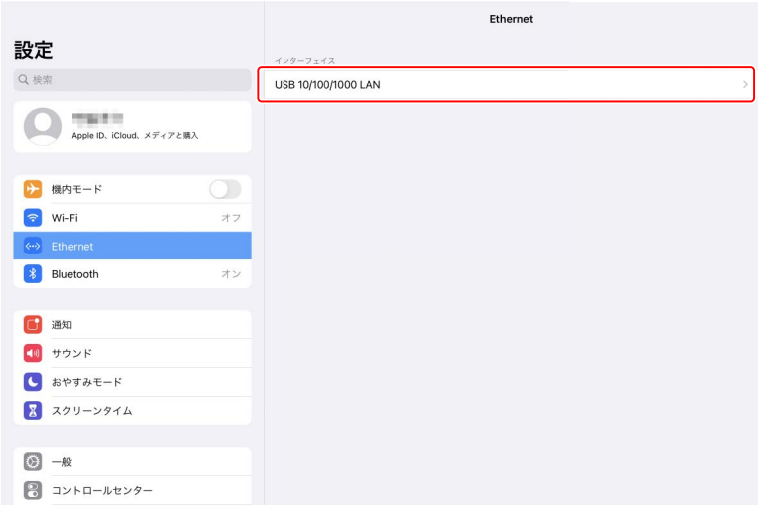
2. ［Ethernet］を選ぶ



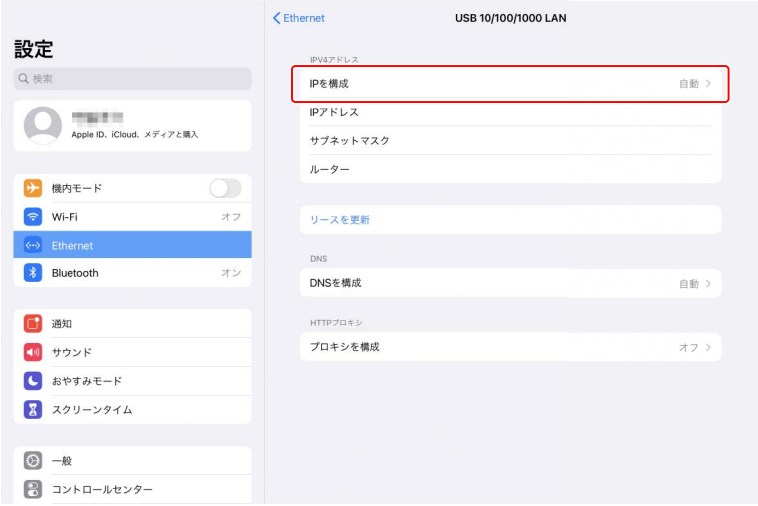
☑無線ネットワークについて

NX Field システムでは無線 LAN の使用も可能ですが、確実なリモートカメラの制御を行うために、電波状況に依存しない有線 LAN の使用をおすすめします。無線 LAN を使用する場合は、リモートカメラと同一のネットワーク上で Wi-Fi をオンにしてください。

3. 使用するインターフェイスを選ぶ



4. ［IP を構成］をタップして［手動］を選ぶ



5. IP アドレスとサブネットマスクを入力して、［**保存**］をタップする

☑ IP アドレスとサブネットマスクの保存について

IP アドレスとサブネットマスクの入力画面には、あらかじめダミーの数値がグレーで表示されています。両方入力すると［**保存**］が有効になります。保存を行わずに前の画面に戻ると設定が反映されないためご注意ください。

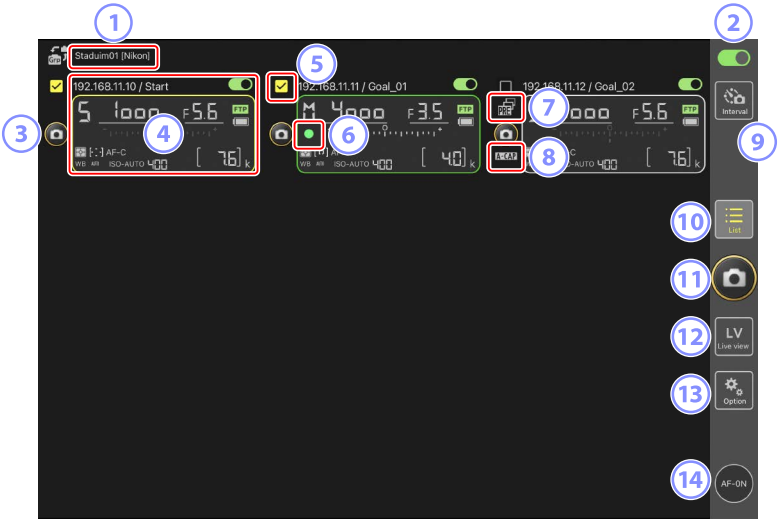
NX Field アプリにリモートカメラを登録する

NX Field アプリから制御するリモートカメラを登録します。

NX Field アプリを起動する

NX Field アプリを起動すると次の画面が表示されます。

- 初回起動時はリモートカメラが未登録のため、④ リモートカメラ情報は表示されず、⑬ オプションの上にカメラ登録のガイドが表示されます。



① **表示名［グループ名］（📖 59）**
表示名とグループ名が表示されます。タップすると表示名を切り換えられます。

② **接続スイッチ（📖 66）**
表示名に登録されているリモートカメラの接続をオン / オフします。

③ **レリーズボタン（1 台）**
撮影するリモートカメラを選んでレリーズを行います。

④ **リモートカメラ情報（📖 177）**
シャッタースピードや絞り値など、カメラの上面表示パネルの内容が表示されます。カメラ情報の左にあるレリーズボタンや右上にある接続スイッチは、カメラ 1 台に対して実行されます。長押しすると、カメラ制御やカメラ設定などのサブメニューが表示されます。

⑤ **チェックボックス**
（オプション）の［**オプション**］にある［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］を［**グループレリーズ**］に設定している場合に表示されます。チェックボックスがオンに設定されているすべてのリモートカメラが、レリーズボタン（マルチカメラ）をタップしたときのレリーズ対象になります（📖 239）。

⑥ **カードアクセスアイコン**
画像をメモリーカードに記録しているときに点灯します。

⑦ **プリキャプチャーアイコン（📖 208）**
NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑧ **A-CAP アイコン（📖 246）**
NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑨ **インターバルタイマー撮影（📖 233）**
インターバルタイマー撮影の設定画面を表示します。

⑩ **一覧（📖 181）**

一覧画面を表示します。

⑪ **レリーズボタン（マルチカメラ）**

接続スイッチが （オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。選択したリモートカメラのみレリーズを行うこともできます（📖 239）。

⑫ **ライブビュー**

ライブビューを表示します。表示方法をタイル表示（📖 189）、メイン－サブ表示（📖 190）、スキン表示（📖 191）から選んで撮影や設定ができます。

⑬ **オプション（📖 188）**

オプション画面を表示します。

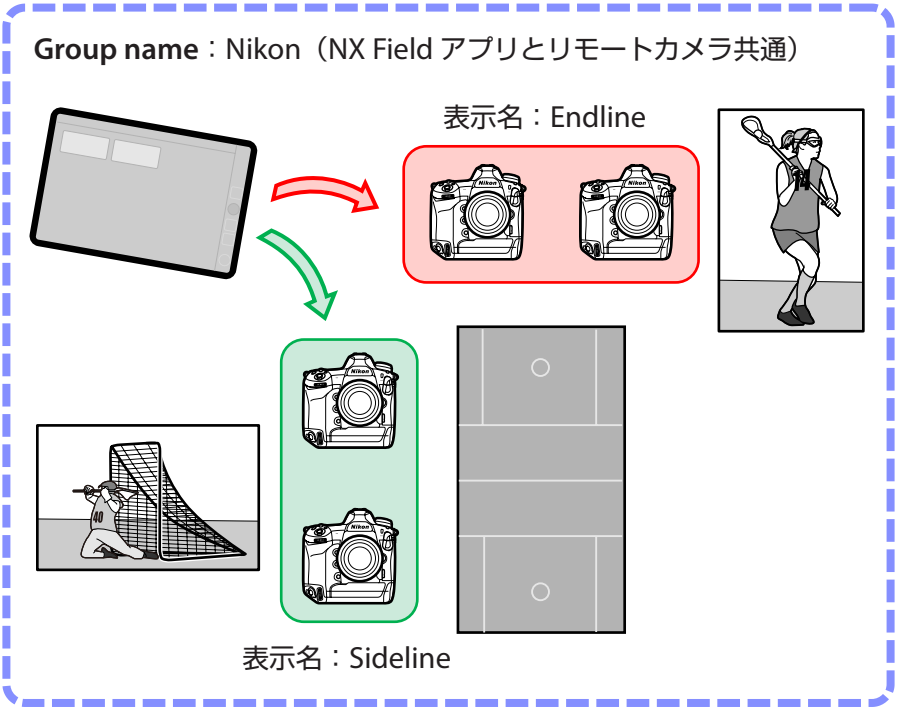
⑭ **AF-ON ボタン**

長押ししている間、ピント合わせを行います。プリキャプチャーの設定を行っている場合は、長押ししている間、プリキャプチャーが実行されます。 （オプション）>［**オプション**］の［**AF-On ボタン設定**］（📖 321）でボタンの動作を変更できます。

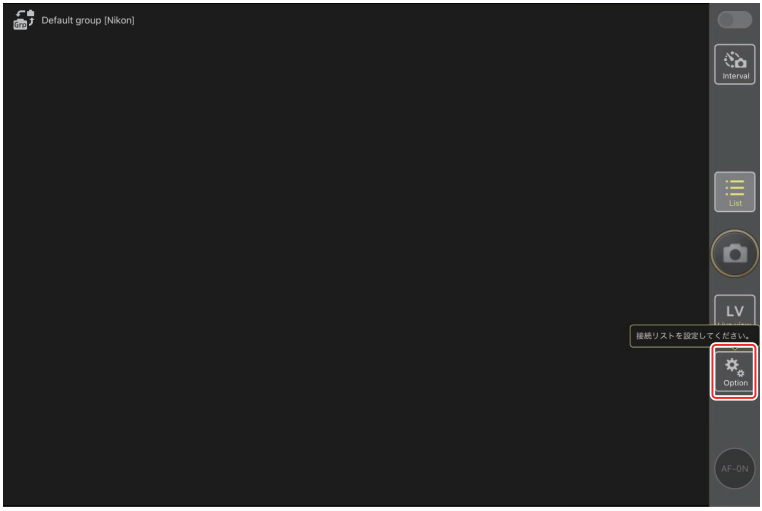
NX Field アプリにリモートカメラと同じグループ名を設定する

NX Field アプリにリモートカメラと同じグループ名を設定して、リモートカメラを登録可能な状態にします。

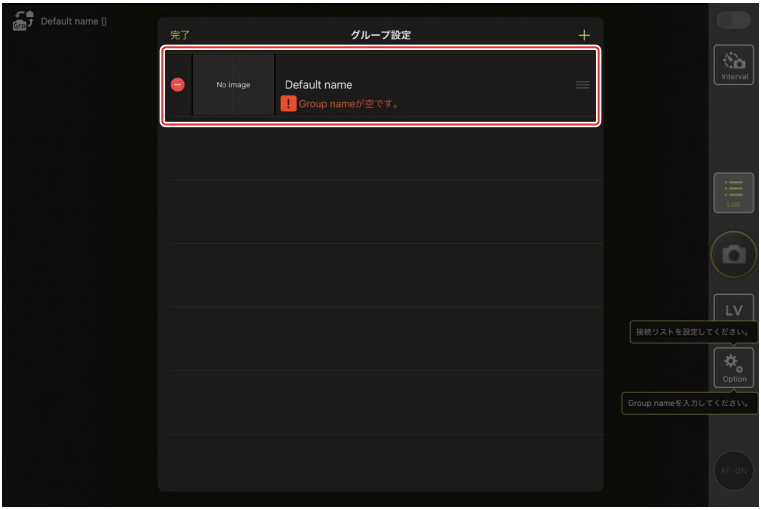
- 表示名を設定すると、表示名ごとに制御するカメラを切り換えられるため、配置別に撮影を行うなど、リモートカメラの管理が行いやすくなります。次の図は、リモートカメラ 4 台のグループ名を「Nikon」と設定して、ゴールに向かう選手を正面から撮影するリモートカメラを表示名「Endline」、ゴール前の模様を側面から撮影するリモートカメラを表示名「Sideline」と設定した場合の例です。



1. （オプション）の［グループ設定］を選ぶ

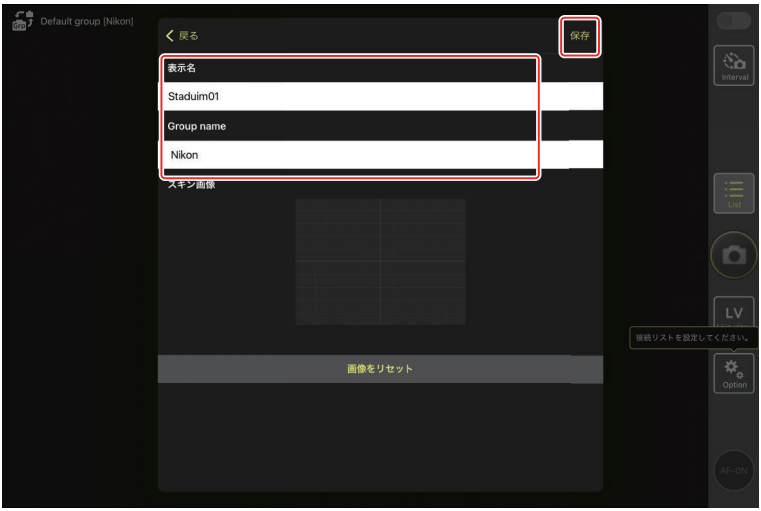


2.「Default name」をタップする



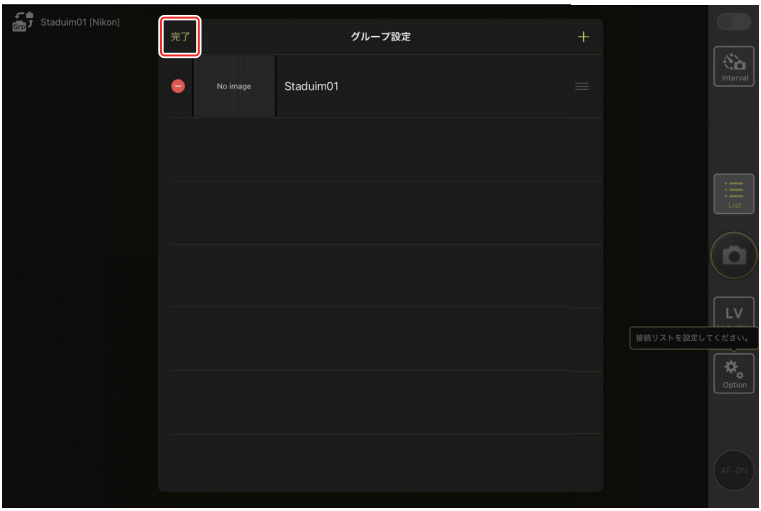
3. リモートカメラのグループ名と同じ名前を［**Group name**］に、また、任意の名前を［**表示名**］に入力して［**保存**］をタップする

- ［**表示名**］の初期設定は「Default name」です。
- リモートカメラの［**Group name**］についてはカメラの NX Field 設定を有効にする（📖 22）を参照してください。



4. ［完了］をタップする

- ＋ をタップすると新規の表示名を追加できます。

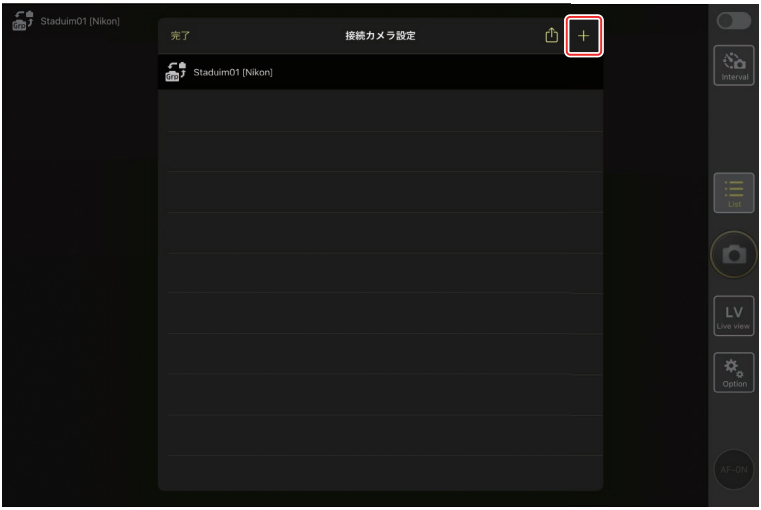


グループ内の表示名にリモートカメラを登録する

グループ内の表示名にリモートカメラを登録して、表示名ごとに NX Field アプリから操作できるようにします。

1. （オプション）の［**接続カメラ設定**］を選ぶ

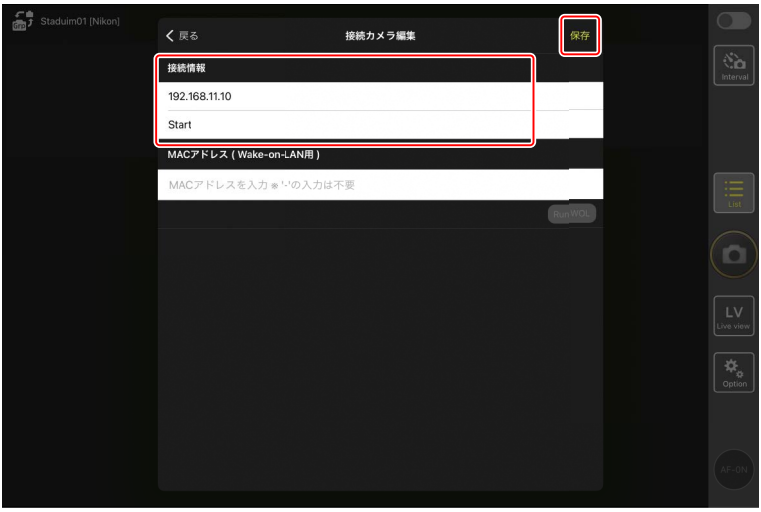
2. ＋ をタップする


Staduim01 [Nikon]
完了
接続カメラ設定
Staduim01 [Nikon]
Interval
List
LV
Live view
Option
AF-ON

3. 設定済みのリモートカメラの IP アドレス（📖 18）とタイトルを入力して［**保存**］をタップする

NX Field アプリにリモートカメラの情報が保存されます。[**完了**] をタップしてダイアログを閉じてください。

- IP アドレスは、カメラ側で「001」と 3 桁で入力した値についても、ゼロを加えず「1」と入力してください。
- タイトルには任意の名称を入力できます。リモートカメラの設置場所などにしておくと撮影時に便利です。
- タイトルの最大文字数は半角英数字で 8 文字です。
- 登録したいリモートカメラすべてに対して、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

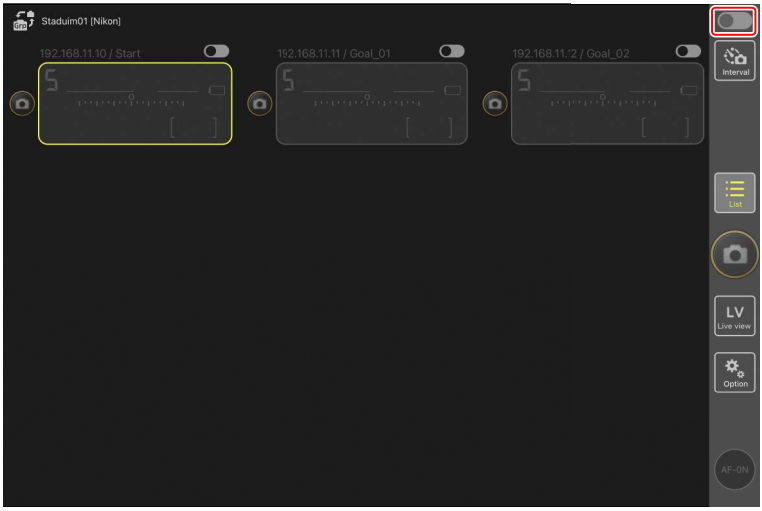


MAC アドレスについて

MAC アドレスは、NX Field アプリでリモートカメラの半押しタイマーをオンにする Wake-on-LAN 機能（📖 314）を使用する場合にのみ入力が必要です。

4. 表示名の（接続スイッチ）をタップする

グループ内の表示名と、表示名に登録されたリモートカメラの接続スイッチが（オン）に変わり、NX Field アプリとリモートカメラが接続されます。

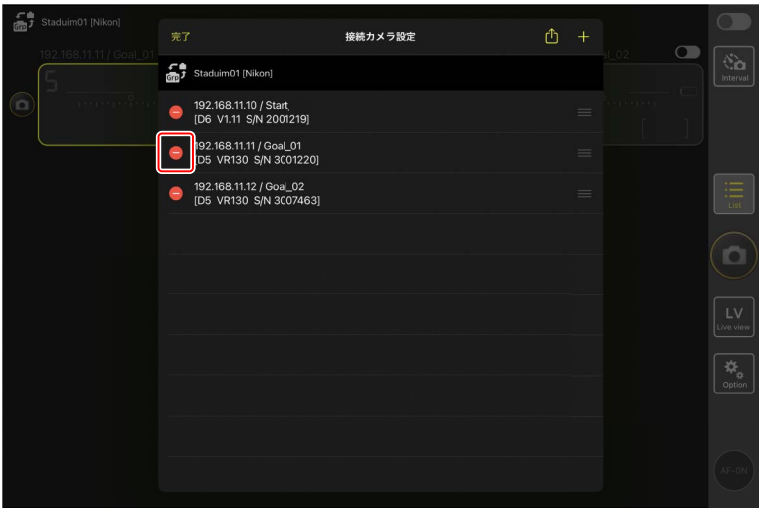


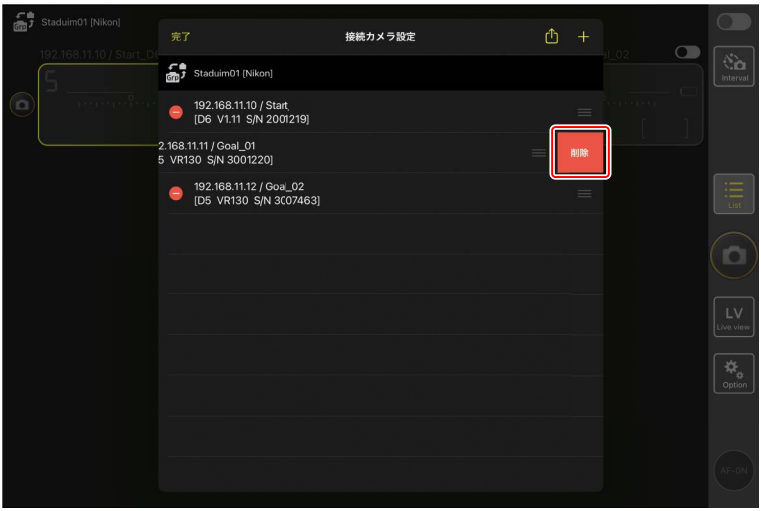
☑ リモートカメラ登録時のご注意

同一グループ内に複数の iPhone/iPad がある場合、グループ内のリモートカメラを制御できるのは 1 台のみです。最初に接続した iPhone/iPad がグループ内のリモートカメラを制御できます。

リモートカメラの登録を解除するには

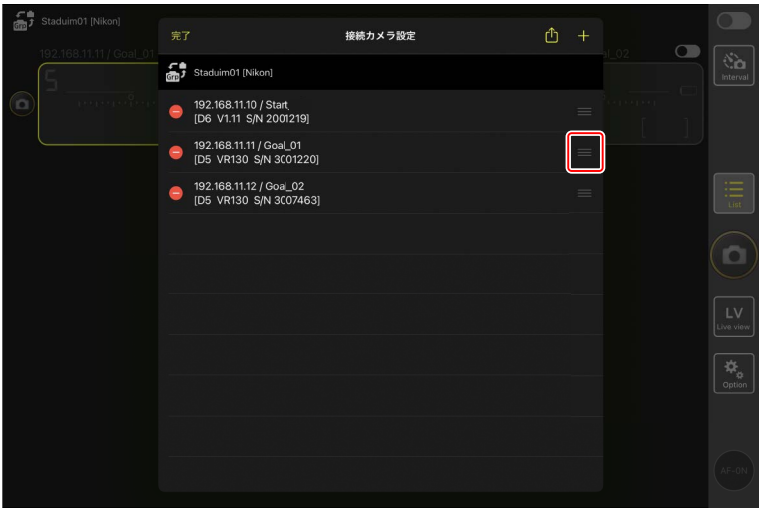
（オプション）の［**接続カメラ設定**］で、登録を解除したいリモートカメラの をタップして、［**削除**］をタップしてください。

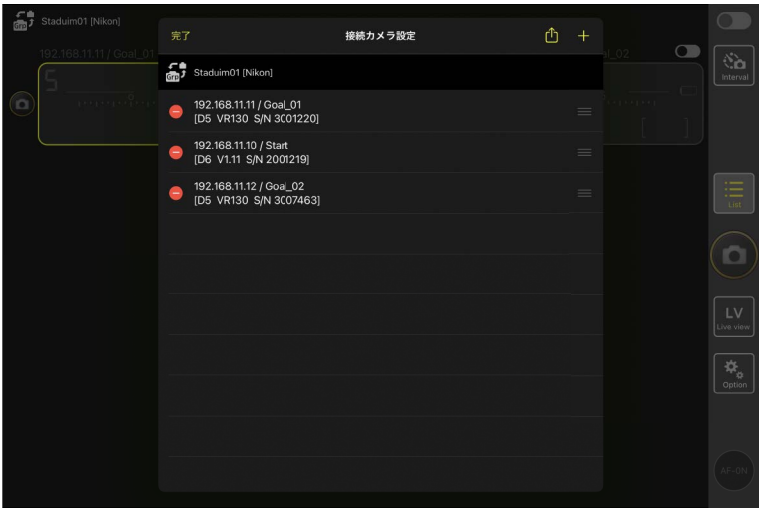




リモートカメラの表示順を入れ替えるには

（オプション）の［**接続カメラ設定**］で、リモートカメラの を上下にドラッグすると、表示順を入れ替えることができます。



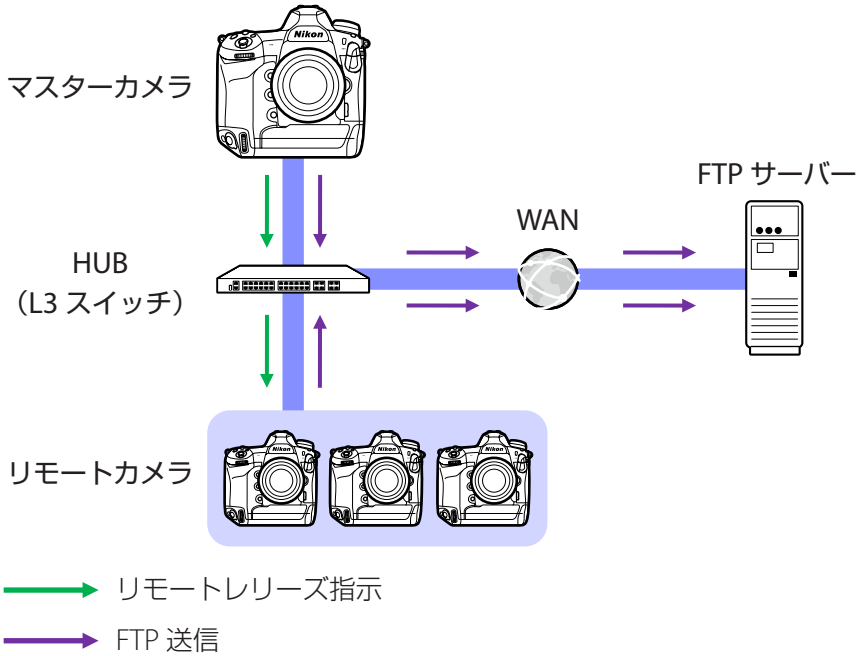


iPad を NX Field システムで使用する準備が完了しました。**iPad でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する（📖 173）****にお進みください。**

マスターカメラとリモートカメラで撮影（連動レリーズ）して FTP 送信する

連動レリーズとは

マスターカメラのシャッターボタンを押したときに、連動してリモートカメラのシャッターをきる操作を「連動レリーズ」といいます。NX Field は、1 台のマスターカメラのレリーズに連動して最大 10 台（Z9 のファームウェアバージョン C:4.00 以降は 16 台）のリモートカメラをレリーズさせて撮影し、撮影と同時に FTP サーバーに画像を送信できます。



Z9/Z8/Z6III の静止画 / 動画セレクターについて

Z9/Z8/Z6III をリモートカメラにして静止画を撮影する場合は、リモートカメラの静止画 / 動画セレクターを 📷 に合わせてください。🎥 に合わせていると、静止画の撮影ができません。

連動レリーズの設定

カスタムメニューにある［**連動レリーズモード設定**］で、マスターカメラのシャッターをきったときにリモートカメラのシャッターを連動してきるかどうかを設定します。

- カスタムメニューにある［**カスタムボタンの機能**］で任意のボタンに［**連動レリーズ切り換え**］を割り当てると、シーンに合ったリモート撮影ができます。
- カスタムボタンの機能（連動レリーズ切り換えを含む）および連動レリーズモード設定のメニューは機種ごとに異なります。
  – Z9：f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］、d5［**連動レリーズモード設定**］
  – Z8/Z6III：f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］、d4［**連動レリーズモード設定**］
  – D6：f3［**カスタムボタンの機能**］、d4［**連動レリーズモード設定**］
  – D5：f1［**カスタムボタンの機能**］、d4［**連動レリーズモード設定**］

［連動レリーズモード設定］	シャッターボタンを押したとき	［連動レリーズ切り換え］	カスタムボタン※を押しながらシャッターボタンを押したとき
［連動する］	マスター　リモート	［マスターカメラのみレリーズ］	
		［リモートカメラのみレリーズ］	
［連動しない］	マスター　リモート	［マスターとリモートが連動］	
		［リモートカメラのみレリーズ］	

※［**連動レリーズ切り換え**］を割り当てたボタン。

割り当てたボタンの初期化について

［**連動レリーズモード設定**］を変更すると、［**連動レリーズ切り換え**］で割り当てたボタンは初期化されます。

リモートカメラの状態を確認する

リモートカメラのレリーズや FTP 送信の実施状況をマスターカメラのメニューでリモートカメラリストを表示して確認できます。

1. リモートカメラリストを表示する

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**グループ設定**］> 設定した表示名を選んで ▶ を押し、［**編集**］画面で［**リモートカメラリスト**］を選ぶ
  - Z8/Z6III：ネットワークメニュー［**カメラと接続**］>［**リモートカメラリスト**］
  - D6：セットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］>［**Remote camera list**］
  - D5：セットアップメニュー［**ネットワーク**］>［**オプション**］>［**Sync. release with FTP**］>［**On**］>［**Remote camera list**］
- リモートカメラが一覧表示されます。正しく接続されているリモートカメラには［**Connected**］と表示されています。
- 連動レリーズを行った場合は、各リモートカメラの最後の撮影時刻が表示されます。

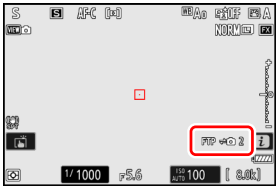
2. 確認したいリモートカメラを選ぶ

- ［**Connected**］と表示されているリモートカメラを選んで ▶ を押すと、FTP 送信残数、FTP 接続状態、バッテリー残量、撮影可能枚数を確認できます。

☑ リモートカメラ制御の優先順位について

- NX Field システム上の同一グループ内で最初に電源を ON にしたカメラをマスターカメラとして使用できます。マスターカメラとして使用できるのは 1 台のみです。
- リモートカメラがマスターカメラに制御されていても、iPhone/iPad の NX Field アプリに接続されると、NX Field アプリの制御に変わります。NX Field アプリを切断すると、制御はマスターカメラに戻ります。他のマスターカメラもしくは NX Field アプリにリモートカメラが制御されているときは、マスターカメラのリモートカメラリスト画面には［**Busy**］と表示されます。
- Z9（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）/Z8/Z6III をマスターカメラとしてお使いの場合、カスタムボタンで他のマスターカメラからリモートカメラの制御を引き継ぐことができます。
  - カスタムメニュー f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で任意のボタンに［**リモートカメラの優先接続**］を割り当てます。
  - NX Field システム上の同一グループに接続した状態で［**リモートカメラの優先接続**］を割り当てたボタンを押すと、そのカメラがマスターカメラとなってリモートカメラの制御を行えます。
  - リモートカメラが NX Field アプリに制御されていても、カスタムボタンを押すことにより制御をマスターカメラに移すことができます。

マスターカメラの画像モニターからリモートカメラの状態を確認する



Z9（ファームウェアバージョン C:3.00 以降）/ Z8/Z6III をマスターカメラにしている場合、マスターカメラの撮影画面に、接続状況が［**Connected**］のリモートカメラの台数が表示されます。マスターカメラの静止画 / 動画セレクターを 🎥 に合わせているときは表示されません。

- いずれかのリモートカメラが FTP サーバーに接続している場合、マスターカメラの撮影画面に［**FTP**］が表示されます。
- 接続状況が［**Busy**］または［**Error**］のリモートカメラがある場合、［**FTP**］、カメラアイコンおよび台数の表示が赤くなり、カメラアイコン上に ❗ が表示されます。表示されるリモートカメラの台数は、接続できていないカメラの数を表しています。

リモートカメラの AF 設定について

リモートカメラの AF 動作をマスターカメラに連動させるかどうかにより、あらかじめリモートカメラの AF 設定を変更しておく必要があります。

リモートカメラを AF 動作させて撮影する

マスターカメラの AF 動作に連動してリモートカメラの AF 動作をさせる場合は、半押し AF レンズ駆動を行うように設定してください。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III/D6：カスタムメニュー a6［**半押し AF レンズ駆動**］>［**する**］
  - D5：カスタムメニュー a8［**半押し AF レンズ駆動**］>［**する**］

リモートカメラを置きピンで撮影する

リモートカメラを AF 動作させず「置きピン」で撮影する場合は、半押し AF レンズ駆動を行わないように設定してください。

- 機種によりメニューが異なります。
  - Z9/Z8/Z6III/D6：カスタムメニュー a6［**半押し AF レンズ駆動**］>［**しない**］
  - D5：カスタムメニュー a8［**半押し AF レンズ駆動**］>［**しない**］

NX Field アプリから AF 設定を行う場合

NX Field アプリを使用すると、リモートカメラの AF 設定を iPhone/iPad から変更できます（📖 119、261）。

iPhone でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する

NX Field アプリをインストールした iPhone から、リモートカメラのレリーズや設定変更、画像の FTP 送信指示が行えます。

動画撮影について

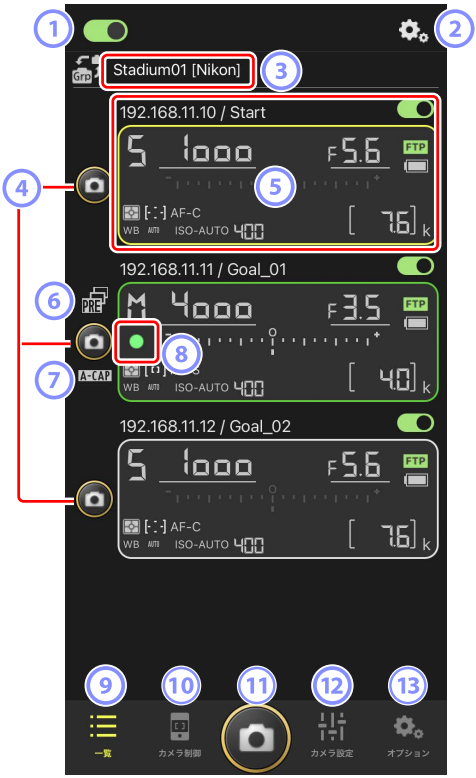
NX Field アプリは iPhone での動画撮影に対応していません。

FTP 送信される画像について

NX Field アプリにより FTP 送信されるのは、iPhone に保存されている画像ではなく、リモートカメラのメモリーカードに保存されている画像です。

NX Field アプリの画面について

NX Field アプリを起動すると、一覧画面が表示されます。各ボタンやスイッチの機能は、次の通りです。



① **接続スイッチ（📖 49）**
表示名に登録されているリモートカメラの接続をオン / オフします。

② **接続オプション / カメラ制御オプション**
起動後の画面でタップすると、リモートカメラの接続設定画面（📖 47）を表示します。カメラ制御画面（📖 85）でタップすると、リモートカメラのフォーカスや再生方法などの設定画面を表示します。

③ **表示名［グループ名］（📖 45）**
表示名とグループ名が表示されます。タップすると表示名を切り換えられます。

④ **レリーズボタン（1 台）**
撮影するリモートカメラを選んでレリーズを行います。

⑤ **リモートカメラ情報（📖 83）**
シャッタースピードや絞り値など、カメラの上面表示パネルの内容が表示されます。カメラ情報の左にあるレリーズボタンや右上にある接続スイッチは、カメラ 1 台に対して実行されます。長押しすると、［**露出情報のコピー**］が表示されます。

⑥ **プリキャプチャーアイコン（📖 101）**
NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑦ **A-CAP アイコン（📖 106）**
NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑧ **カードアクセスアイコン**
画像をメモリーカードに記録しているときに点灯します。

⑨ **一覧（📖 84）**
一覧画面を表示します。

⑩ **カメラ制御（📖 85）**
カメラ制御画面を表示します。

⑪ **レリーズボタン（マルチカメラ）**

接続スイッチが（オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。

⑫ **カメラ設定（📖 87）**

カメラ設定画面を表示します。

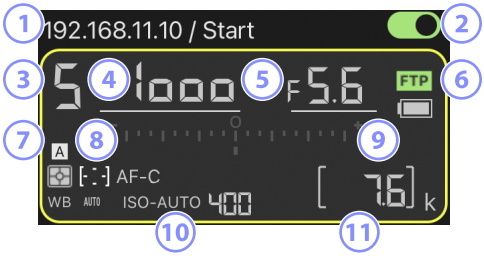
⑬ **オプション（📖 90）**

オプション画面を表示します。

リモートカメラ情報

シャッタースピードや絞り値など、リモートカメラの上面表示パネルの内容が表示されます。

- 一覧画面でリモートカメラ情報をタップすると、カメラ制御画面が表示されます。
- リモートカメラ情報を長押しして［**露出情報のコピー**］をタップすると、露出設定のコピー先を選択する画面が表示されます（📖 123）。
- ［**撮影メニューの切り替え**］をオンにしている場合、リモートカメラ情報を左右にスワイプして撮影メニューを切り換えられます（📖 131）。



① IP アドレス／タイトル
② 接続スイッチ（1 台）
③ 撮影モード
④ シャッタースピード
⑤ 絞り値
⑥ FTP 接続状況 / バッテリー残量
⑦ 測光モード /AF エリアモード / フォーカスモード / ホワイトバランス
⑧ 撮影メニュー（「A」～「D」）
⑨ インジケーター
⑩ ISO-AUTO/ISO 感度
⑪ 記録可能コマ数

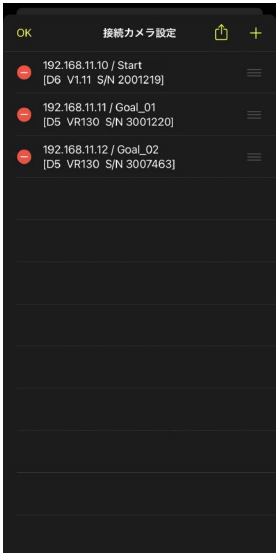
一覧

NX Field アプリに登録されているリモートカメラの情報がリスト表示されます。

- 接続スイッチが （オン）のリモートカメラを同時にレリーズできます（📖 92）。
- 1 台のリモートカメラを個別にレリーズすることも可能です（📖 94）。
- 複数の表示名を登録している場合は、 （表示名切り換え）をタップすると、表示名を切り換えられます。

接続オプション

一覧画面で （接続オプション）をタップすると、［**接続カメラ設定**］画面（📖 47）が表示されます。



カメラ制御

一覧画面でリモートカメラ情報または（カメラ制御）をタップすると表示されます。

- （カメラタブ）を選ぶとリモートカメラのピントを合わせながら撮影できます（D6/D5 のみ）（📖 95）。
  - （カメラタブ）を選んで（A-CAP）をタップすると、オートキャプチャー撮影の操作を行うことができます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 106）。
- （再生タブ）を選ぶとリモートカメラで撮影した画像を再生して確認できます。画像の削除や FTP サーバーへの送信も行えます（📖 135）。
- LV（LV タブ）を選ぶとリモートカメラのライブビューを確認しながら撮影できます（📖 98）。

リモートカメラ情報からカメラの設定を変更するには

カメラ制御画面のリモートカメラ情報内にある次の項目は、タップして直接設定を変更できます。

- 撮影モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 測光モード
- AF エリアモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 露出補正値
- ISO-AUTO
- ISO 感度

カメラ制御オプション

カメラ制御画面で （カメラ制御オプション）をタップすると、表示中のタブに応じた設定画面が表示されます。

タブ		説明	📖
	カメラ	フォーカス関連の設定ができます。※	📖 119
	再生	再生画面の設定ができます。※	📖 135
LV	LV	ライブビューの設定ができます。※	📖 102

※ 設定できる項目はお使いの機種により異なります。

カメラ設定

一覧画面で選ばれているリモートカメラの露出やオートフォーカス、画質などを設定できます（📖 121、126）。

リモートカメラ情報からカメラの設定を変更するには

カメラ設定画面のリモートカメラ情報内にある次の項目は、タップして直接設定を変更できます。

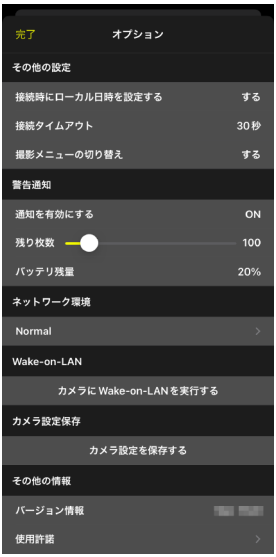
- 撮影モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 測光モード
- AF エリアモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 露出補正値
- ISO-AUTO
- ISO 感度

オートキャプチャー設定（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）

カメラ制御画面の（カメラタブ）で（A-CAP）をタップすると表示されます。オートキャプチャーの設定、プレビュー、ユーザープリセットの読み込み、撮影開始 / 停止の操作を行うことができます（📖 106）。

オプション

リモートカメラのネットワーク設定や、グループ設定、メモリーカードのフォーマット、FTP プロファイルの変更などができます（📖 171）。



NX Field アプリでの撮影方法

NX Field アプリを使ってリモートカメラのレリーズを行う方法には、リスト表示撮影とライブビュー撮影があります。

☑動画撮影について

NX Field アプリは iPhone での動画撮影に対応していません。

リスト表示で撮影する

リスト表示撮影時のご注意

リスト表示で連写した直後にライブビュー表示に切り換えると、画面の表示やレリーズボタンの動作に遅延が発生することがあります。

複数のリモートカメラで撮影する

一覧画面の下部にある（レリーズボタン）をタップすると、接続スイッチが（オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。

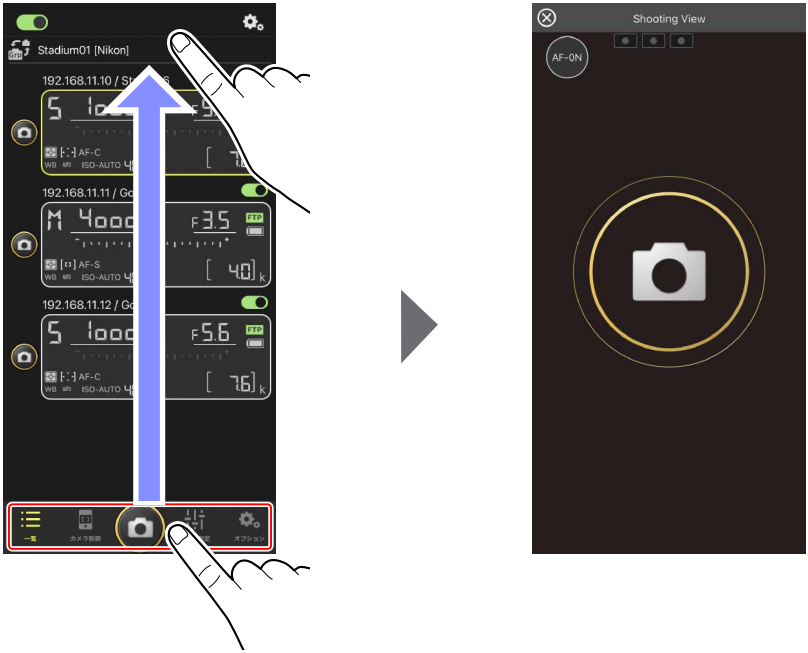
- 撮影中はリモートカメラ情報の枠が緑色になります。
- カード記録中はカードアクセスアイコン（📖 43）が点灯します。
- 画像の FTP 送信中は FTP（FTP）が点滅します。

特定のカメラをレリーズから外す場合

各リモートカメラ情報の右上にある（接続スイッチ）をタップして、接続を解除してください。

画面全体をレリーズボタンにして撮影するには

一覧画面で （レリーズボタン）等が配置されているグレーのエリアを上方向へスワイプすると、全画面レリーズモードになります。被写体を目視しながら、画面を見ずに （レリーズボタン）をタップすることができます。

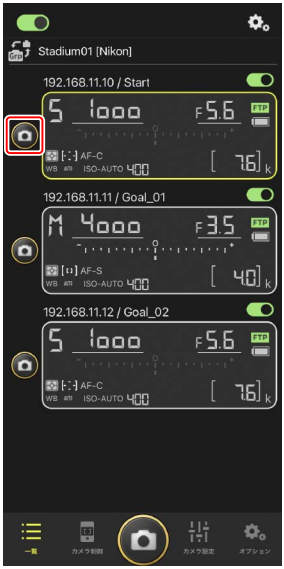


- （AF-ON）をタップすると接続しているすべてのリモートカメラでピント合わせを開始し、再度タップすると停止します。
- 画面をタップすると接続しているすべてのリモートカメラのシャッターがきれます。
- 画面左上の をタップすると一覧画面に戻ります。

1 台のリモートカメラで撮影する

特定のリモートカメラのみレリーズを行う場合は、一覧画面でレリーズしたいカメラの （レリーズボタン）をタップしてください。

- 撮影中はリモートカメラ情報の枠が緑色になります。
- カード記録中はカードアクセスアイコン（📖 43）が点灯します。
- 画像の FTP 送信中は FTP（FTP）が点滅します。

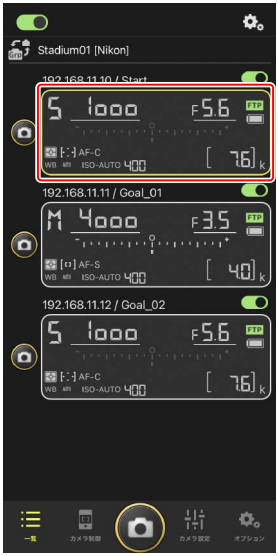


特定のリモートカメラのピントを合わせるには（D6/D5 のみ）

特定のリモートカメラのピントを合わせて撮影できます。

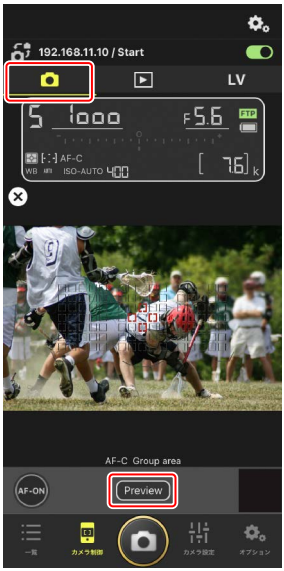
1. 一覧画面で操作したいリモートカメラをタップして選ぶ

選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。



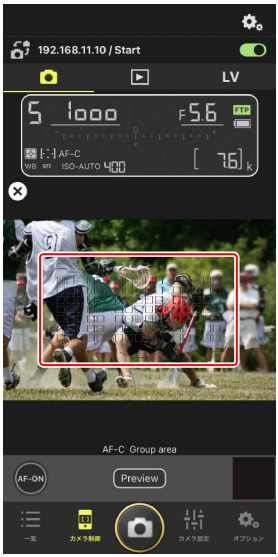
2. （カメラタブ）を選んで Preview （Preview）をタップする

リモートカメラがピント合わせの参考として撮影したプレビュー専用の画像を取得します。ライブビューではないため、被写体が移動した場合は再度 Preview （Preview）をタップしてください。



3. ピントを合わせたい位置をタップする

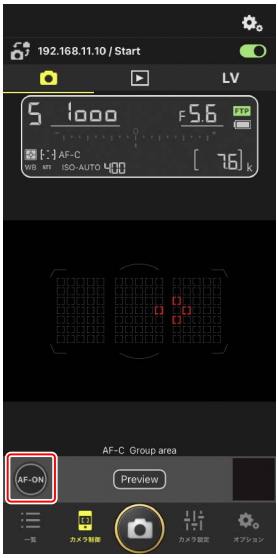
フォーカスポイントがタップした場所に移動します。



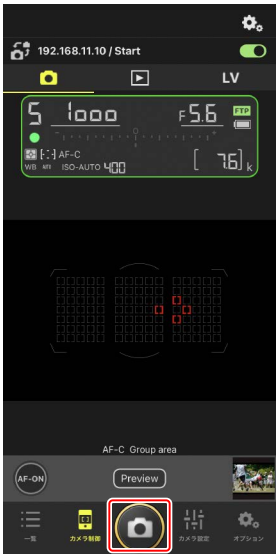
4. （AF-ON）を長押ししてピントを合わせる

選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。

- （AF-ON）をタップすると、プレビュー画面の表示が消えます。ピントの状態を確認するには再度 Preview （Preview）をタップして、画像を取得してください。



5. （レリーズボタン）をタップして撮影する



ライブビューで撮影する

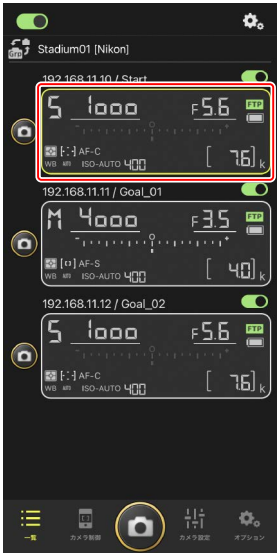
リモートカメラの状況をライブビューで確認しながら、各種の設定や調整を行って、撮影することができます。

☑ライブビュー撮影時のご注意

ライブビュー撮影で連写した直後にリスト表示に切り換えると、レリーズボタンの動作に遅延が発生することがあります。

1. 一覧画面で操作したいリモートカメラをタップして選ぶ

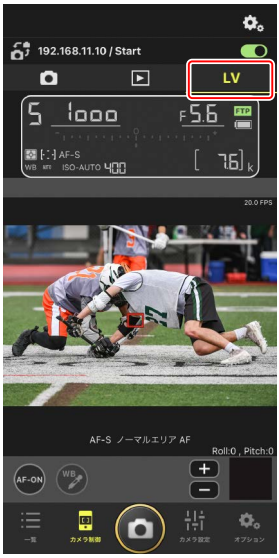
   選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。



2. LV（LV タブ）をタップする

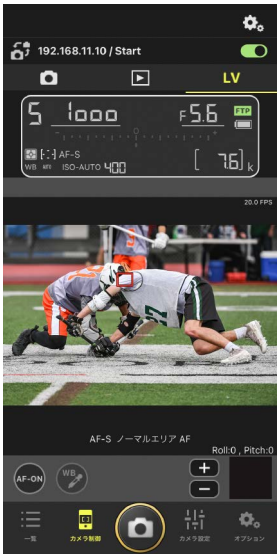
リモートカメラのライブビューが表示されます。

- パワーズームレンズを装着したリモートカメラの場合、NX Field アプリでズーミングの操作を行うことができます（📖 103）。



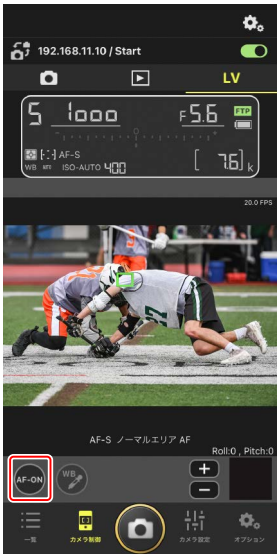
3. ピントを合わせたい位置をタップする

フォーカスポイントがタップした場所に移動します。



4. （AF-ON）を長押ししてピントを合わせる

- プリキャプチャーの設定を行っている場合は、（AF-ON）を長押ししている間、プリキャプチャーが実行されます。（AF-ON）を押したまま（レリーズボタン）をタップすると、プリキャプチャーが記録されます。



（レリーズボタン）による AF 動作について

ライブビュー撮影時に（レリーズボタン）により半押し AF レンズ駆動を行えるかどうかは、カメラの機種により異なります。

- Z9/Z8/Z6III/D6：カメラのカスタムメニュー a6［**半押し AF レンズ駆動**］を［**する**］に設定すると、（レリーズボタン）による AF 動作を行います。
- D5：カメラのカスタムメニュー a8［**半押し AF レンズ駆動**］を［**する**］に設定しても、（レリーズボタン）による AF 動作を行いません。

「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影のプリキャプチャー機能について

カメラのレリーズモードが「ハイスピードフレームキャプチャー +」（C15/C30/C60/C120）に設定されているとき、カスタムメニュー d4［**プリキャプチャー記録設定**］から、シャッターボタンを全押し後にさかのぼって記録する時間や全押し後に撮影する時間を設定できます。レリーズモードおよびプリキャプチャーの設定は、NX Field アプリのカメラ設定画面にある［**Exposure**］タブ（📖 121）からも変更できます。

ピントを手動で調整するには

カメラのフォーカスモードが AF のときにレンズの切り換えスイッチを M/A または A/M にすると、［+］［−］でピント位置を手動調節できます。タップ 1 回での調整量は、⚙（カメラ制御オプション）の［**MF 駆動量**］で設定できます。

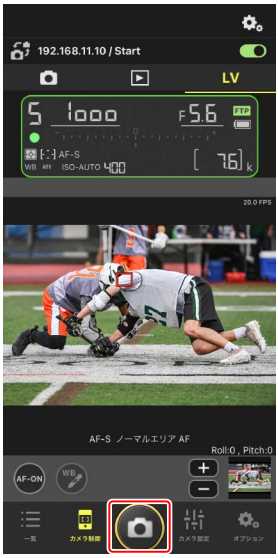
AF-ON が操作できないときは（D5 のみ）

［**LV - AF モード**］を［**AF-F**］に設定しているリモートカメラは、AF-ON（AF-ON）を操作できません。⚙（カメラ制御オプション）の［**LV - AF モード**］を［**AF-S**］に変更してください（📖 119）。

置きピンで撮影したい場合は

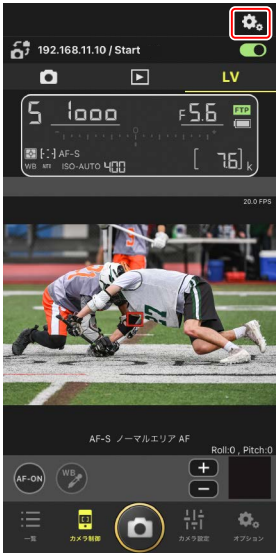
置きピンで撮影したい場合は、カメラ側を MF に設定してください。置きピンに設定すると、NX Field アプリからは AF 動作およびピント位置の手動調節ができません。

5. （レリーズボタン）をタップして撮影する



ライブビューの設定を変更する

ライブビュー表示時に（カメラ制御オプション）をタップすると、フレームレートなどの設定を変更できます。



パワーズームレンズのズーミング操作について

パワーズームレンズを装着したリモートカメラの場合、NX Field アプリでズーミングの操作を行うことができます。

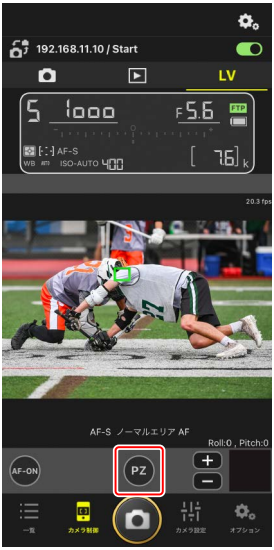
☑対応カメラ

この機能は次のカメラで使用できます。

- Z9（ファームウェアバージョン C:5.10 以降）
- Z8（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）
- Z6III（ファームウェアバージョン C:1.10 以降）

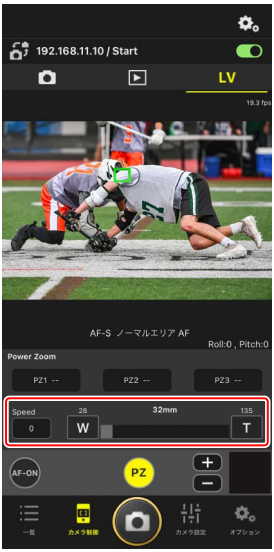
1. ライブビュー画面で PZ（パワーズームボタン）をタップする

   ツールエリアが表示されます。



2. W/T をタップしてズーミングを行う

- **W** をタップすると広角側に、**T** をタップすると望遠側にズーミングします。
- ［**Speed**］の数値をタップすると、サブメニューからズーミングの速度を選択できます。
- PZ（パワーズームボタン）を再度タップするとツールエリアを閉じます。



ズーム位置の登録について

［**PZ1**］～［**PZ3**］のいずれかを長押ししてサブメニューから［**ズーム位置追加**］を選ぶと、現在のズーム位置がプリセットとして登録されます（APS-C サイズ /DX フォーマット用の NIKKOR Z レンズを除く）。

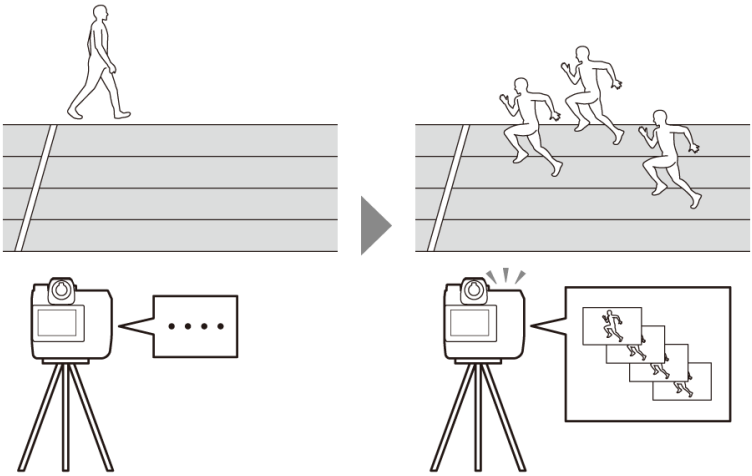
- プリセットを呼び出すときは、対象のプリセットをタップします。
- プリセットを削除するときは、対象のプリセットを長押ししてサブメニューから［**ズーム位置クリア**］を選びます。
- プリセット登録時と異なるパワーズームレンズを装着するとプリセットがすべて初期化されます。

NX Field アプリでオートキャプチャー撮影の操作を行う

NX Field アプリでカメラのオートキャプチャー撮影の設定および開始 / 停止の操作を行うことができます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

オートキャプチャー撮影とは

オートキャプチャー撮影とは、カメラが被写体を認識すると自動で静止画または動画を撮影する機能です。撮影を行う条件を設定しておくことで、フォトグラファーがカメラを操作しなくても自動で撮影を行う無人撮影が可能です。



- オートキャプチャー撮影の詳細は、『Z9 活用ガイド』のファームウェアバージョン C:5.00 の内容が掲載されている補足説明書を参照してください。

オートキャプチャー設定画面

カメラ制御画面の （カメラタブ）で （A-CAP）をタップすると表示されます（📖 85）。オートキャプチャーの設定、プレビュー、ユーザープリセットの読み込み、撮影開始 / 停止の操作を行うことができます。

① **Close**

カメラ制御画面に戻ります。

- オートキャプチャー設定画面を閉じても実行中のオートキャプチャーは停止されません。オートキャプチャー撮影を停止するときは［**終了**］をタップします。

② **ライブビュー**

オートキャプチャー撮影を開始する前にカメラが想定したとおりに被写体を認識するかどうかを確認できます。設定した条件を満たす被写体をカメラが認識すると、被写体に合わせて緑色の枠が表示されます。

③ **フォーカスポイント / オートキャプチャー検出エリア**

フォーカスポイントが赤色、オートキャプチャーの設定により検出されたエリアが緑色で表示されます。カメラの AF エリアモードの設定が［**オートエリア AF**］以外の場合、タップしてフォーカスポイントを移動できます。

④ **オートキャプチャー状態表示**

オートキャプチャー撮影の実行中に A-CAP が表示されます。

⑤ **実行 / 終了**

［**実行**］をタップすると、設定した内容でオートキャプチャー撮影を開始します。［**終了**］をタップするとオートキャプチャー撮影を終了します。

☑ 実行ボタンが無効のときは

レンズが装着されていないなどの状態で、カメラがオートキャプチャー撮影を実行できないときは、［**実行**］が無効になります。カメラの設定等をご確認ください。

☑ オートキャプチャー撮影中のカメラ設定保存に関するご注意（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）

オートキャプチャー撮影中に ⚙（オプション）の［**オプション**］にある［**カメラ設定保存**］を実行すると、オートキャプチャー撮影が終了されます。

⑥ **プレビュー**

タップするとフォーカスポイント / オートキャプチャー検出エリア（③）の表示 / 非表示を切り替えられます。

⑦ **ユーザープリセット**

カメラに保存されているオートキャプチャーのユーザープリセットを選んで読み込むことができます。NX Field アプリで変更したオートキャプチャーの設定もユーザープリセットに自動で反映されます。

⑧ **［キャプチャー条件］チェックボックス**

チェックボックスをオンにした項目の設定がオートキャプチャー撮影時に有効になります。

- すべてのチェックボックスをオフにすることはできません。キャプチャー条件を切り換えるときは、先に切り換え先のチェックボックスをオンにしてください。

⑨ **［モーション］**

モーションのスピードおよびサイズが表示されます。タップするとモーション設定画面が表示されます（📖 109）。

⑩ **［被写体検出］**

被写体検出のサイズおよび対象が表示されます。タップすると被写体検出設定画面が表示されます（📖 112）。

⑪ **［距離］**

カメラが被写体を認識する最も近い距離と最も遠い距離が表示されます。タップすると距離設定画面が表示されます（📖 114）。

- NIKKOR Z レンズを装着時に使用できる機能です。NIKKOR Z レンズ以外のレンズを装着している場合、動作しない場合があります。

⑫ **［有効エリアの設定］**

タップすると有効エリア設定画面が表示されます（📖 116）。

- フォーカスモードと AF エリアモードの設定ができます。有効エリア設定画面は、各設定が次のいずれかの組み合わせのときに［**設定**］をタップすると表示されます。
  - フォーカスモードが **MF** 以外で、AF エリアモードが［**オートエリア AF**］
  - フォーカスモードが **MF** で、キャプチャー条件［**距離**］のチェックボックスがオフ

⑬ **［撮影時間設定］**

連続撮影する時間、および撮影を実行してから次の撮影を実行するまでの間隔を設定できます（📖 118）。

キャプチャー条件を設定する

オートキャプチャー撮影を行う条件を設定します。設定できる条件には［**モーション**］、［**距離**］、［**被写体検出**］があります。条件を複数選択すると、すべての条件を満たした場合のみ撮影します。

［キャプチャー条件］：［モーション］

オートキャプチャー設定画面で［**モーション**］をタップするとモーション設定画面が表示されます。撮影対象とする被写体の移動方向、スピード、サイズを設定できます。

① **ライブビュー**

設定したモーションの条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

- 被写体が画角に入ってくると想定される位置をタップして、優先的にピントを合わせるポイントを設定できます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[最小速度]**

被写体が画角内の左端から右端までを横断する速さに応じて値を設定します。目安となる秒数は次の通りです。

- [**1（遅い）**]：約 5 秒以下
- [**2**]：約 4 秒以下
- [**3**]：約 3 秒以下
- [**4**]：約 2 秒以下
- [**5（速い）**]：約 1 秒以下

④ **[最小サイズ]**

撮影対象とする被写体のサイズを設定します。オートキャプチャー検出エリアの大きさ（ライブビューに表示される緑色のポイントの数）を目安に、次の 5 段階から選びます。

- [**1（小さい）**]：4 個分以上
- [**2**]：8 個分以上
- [**3**]：14 個分以上
- [**4**]：24 個分以上
- [**5（大きい）**]：34 個分以上

[モーション] と [被写体検出] のサイズ設定について

オートキャプチャー設定画面の [**キャプチャー条件**] チェックボックスで [**モーション**] と [**被写体検出**] の両方をオンにしている場合、モーション設定画面で設定する [**最小サイズ**] と、被写体検出設定画面で設定する [**最小サイズ**] はそれぞれ個別の設定です。モーション設定画面で [**最小サイズ**] を設定を変更しても、被写体検出での [**最小サイズ**] には影響ありません。それぞれの設定に従って被写体を判別し、両方の条件を満たした場合に撮影されます。

⑤ **[方向]**

被写体がどの方向に移動したら撮影対象とするかをチェックボックスで選びます。複数選択することもできます。中央のカメラアイコンをタップすると、すべてのチェックボックスがオンになります。

⑥ **AF-ON**

長押ししている間、フォーカスポイントを設定した位置でオートフォーカスを実行します。

⑦ **マニュアルフォーカス**

<<または>>をタップすると、一定のステップ幅で至近側または無限遠側にピント位置を移動できます。より細かいステップ幅で調整するときは<または>をタップしてください。

［キャプチャー条件］：［被写体検出］

オートキャプチャー設定画面で［**被写体検出**］をタップすると被写体検出設定画面が表示されます。撮影対象とする被写体のサイズと種類（動物や乗り物など）を設定できます。

① **ライブビュー**

設定した被写体検出の条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

- 被写体が画角に入ってくると想定される位置をタップして、優先的にピントを合わせるポイントを設定できます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[検出対象]**

被写体の種類を［**オート**］、［**人物**］、［**動物**］、［**乗り物**］、［**飛行機**］から選んで設定します。

④ **[最小サイズ]**

被写体のサイズを、画角に対する割合で設定します。目安となる割合は次の通りです。

- ［**1（小さい）**］：2.5% 以上
- ［**2**］：5% 以上
- ［**3**］：10% 以上
- ［**4**］：15% 以上
- ［**5（大きい）**］：20% 以上

> **☑［モーション］と［被写体検出］のサイズ設定について**
>
> オートキャプチャー設定画面の［**キャプチャー条件**］チェックボックスで［**モーション**］と［**被写体検出**］の両方をオンにしている場合、モーション設定画面で設定する［**最小サイズ**］と、被写体検出設定画面で設定する［**最小サイズ**］はそれぞれ個別の設定です。モーション設定画面で［**最小サイズ**］を設定を変更しても、被写体検出での［**最小サイズ**］には影響ありません。それぞれの設定に従って被写体を判別し、両方の条件を満たした場合に撮影されます。

⑤ **AF-ON**

長押ししている間、フォーカスポイントを設定した位置でオートフォーカスを実行します。

⑥ **マニュアルフォーカス**

<<または>>をタップすると、一定のステップ幅で至近側または無限遠側にピント位置を移動できます。より細かいステップ幅で調整するときは<または>をタップしてください。

［キャプチャー条件］：［距離］

オートキャプチャー設定画面で［**距離**］ボタンをタップすると距離設定画面が表示されます。カメラが被写体を認識する最も近い距離と最も遠い距離を設定できます。

- NIKKOR Z レンズを装着時に使用できる機能です。NIKKOR Z レンズ以外のレンズを装着している場合、動作しない場合があります。
- 最小距離を最大距離よりも大きく設定することはできません。

① **ライブビュー**

設定した距離の条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[Lv 上で計測]**

ボタンをタップするとライブビューのタップによる最小または最大距離の変更が有効になります。変更中に［**終了**］をタップすると、ライブビューのタップによる変更の操作を終了します。

- フォーカスモードが MF のときは使用できません。

④ **[距離範囲]**

タップして最小距離と最大距離を選択できます。

- 距離の範囲に応じた設定単位は次の通りです。
  - 20m 未満：0.1m
  - 20 ～ 50m：1.0m
  - 50m を超えるとき：5.0m
- 距離の値は［**推奨範囲**］の範囲内に設定してください。範囲外に設定すると、被写体までの距離を認識する精度が低下します。

有効エリアを設定する

オートキャプチャー設定画面で［**有効エリアの設定**］にある［**設定**］をタップすると、有効エリア設定画面が表示されます。画角内にある障害物など、被写体判別を行う必要がない部分を無効にしておくことでより正確に被写体を捉えられます。

- 各設定が次のいずれかの組み合わせのときに使用できます。
  - フォーカスモードが **MF** 以外で、AF エリアモードが［**オートエリア AF**］
  - フォーカスモードが **MF** で、キャプチャー条件［**距離**］のチェックボックスがオフ

① **ライブビュー**

設定した有効エリアでカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[部分的に変更（Lv タップ)]**

［**無効エリア選択**］または［**有効エリア選択**］ボタンをタップすると、ライブビュー上で有効 / 無効にしたいポイントをタップして選べるようになります。連続するポイントをドラッグでまとめて選択することもできます。

④ **[全エリアの変更]**

被写体を判別するエリアの有効 / 無効を一括で設定できます。

> **有効エリアの設定方法について**
>
> 無効なエリアの方が大きい場合は［**すべて無効**］、有効なエリアの方が大きい場合は［**すべて有効**］を選んでから［**部分的に変更（LV タップ)**］を行うことにより、素早く有効エリアを設定できます。

⑤ **[塗りつぶしサイズ]**

1 回のタップで選択されるエリアのサイズを設定できます。

撮影時間を設定する

オートキャプチャー設定画面で、被写体を認識してから撮影を継続する時間、および撮影後の待機時間を設定できます。

- ［**撮影時間の指定**］
  1 回の撮影時間を 1 秒～ 30 分または［**OFF**］から選べます。［**OFF**］以外に設定すると、撮影開始後に被写体が認識されなくなっても、設定した時間分の撮影を行います。［**OFF**］に設定すると、被写体を認識している間のみ撮影を行います。
  – カメラの設定によっては、設定した時間分の撮影ができない場合があります。

- ［**撮影後の待機時間**］
  1 回の撮影後の最低待機時間を 0 秒～ 30 分から選べます。前回の撮影終了後、設定した時間内に被写体が認識されても、設定した時間が経過するまでは撮影を開始しません。

NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する

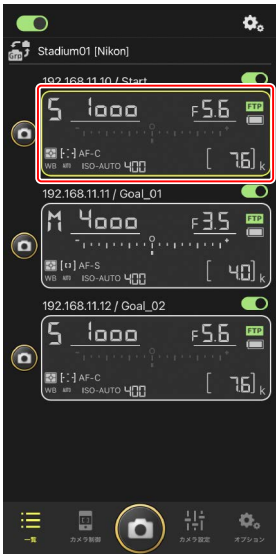
NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する画面には、主にフォーカス関連の設定を行う画面、露出関連の設定を行う画面、およびその他全般のリモートカメラ設定を行う画面があります。設定できる項目はお使いの機種により異なります。

フォーカス関連の設定を行う

NX Field アプリから各リモートカメラのフォーカスモードや AF エリアモードなどを設定できます。

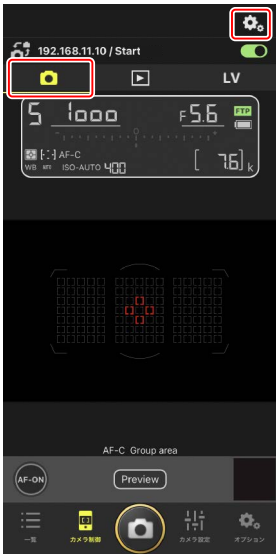
1. 一覧画面で操作したいリモートカメラをタップして選ぶ

   選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。



2. （カメラタブ）を選んで （カメラ制御オプション）をタップする

選んだリモートカメラのフォーカスおよびレリーズモードの設定ができます。設定するには各項目をタップしてください。



☑連続撮影速度の設定について

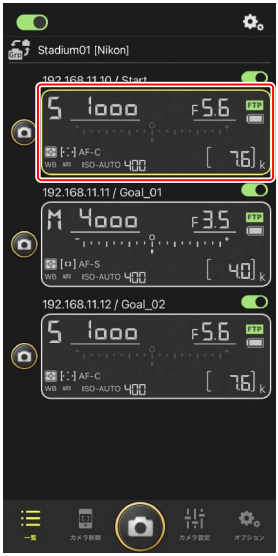
- NX Field アプリで連続撮影速度の設定を行うには、リモートカメラのレリーズモードダイヤルをクイック設定ポジションに合わせておく必要があります。
- レリーズモードの設定はカメラ設定画面の［**Exposure**］タブ（📖 121）からも行うことができます。

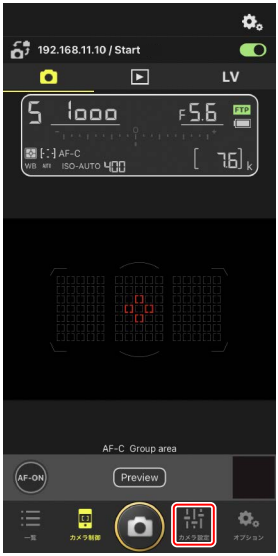
露出関連の設定を行う

NX Field アプリから各リモートカメラのシャッタースピードや絞り値などを設定できます。

1. 一覧画面で操作したいリモートカメラをタップして選び、［**カメラ設定**］ボタンをタップする

   選んだリモートカメラのカメラ設定画面が表示されます。





2. ［Exposure］タブをタップする

選んだリモートカメラの露出関連の設定ができます。設定するには各項目をタップしてください。

☑ Z6III の撮影モードについて

Z6III の撮影モードは、NX Field アプリから設定できません。カメラ本体で設定してください。

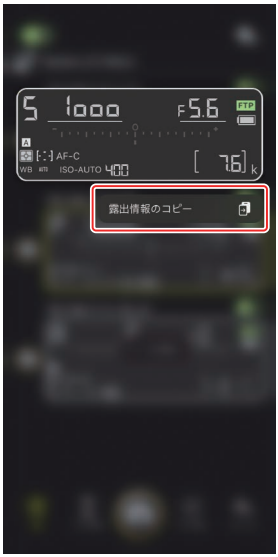
露出設定を他のリモートカメラにコピーするには

表示しているリモートカメラの露出設定を、接続中のリモートカメラに一括でコピーできます。

- コピー対象の項目は、シャッタースピード、絞り値、ISO AUTO の ON/OFF、ISO 感度、露出補正値、ホワイトバランス / 微調整値 / プリセットマニュアルデータです。

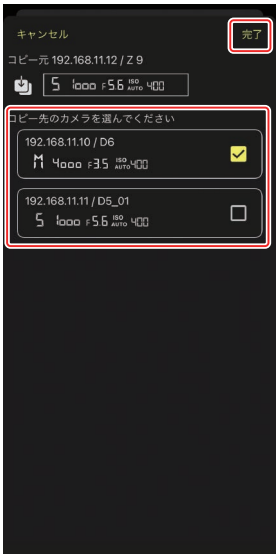
1. **コピー元のリモートカメラ情報を長押しして［露出情報のコピー］をタップする**

   コピー先のリモートカメラを選ぶ画面が表示されます。



2. コピー先にするリモートカメラのチェックボックスにチェックを入れて［**完了**］をタップする

確認ダイアログで［**はい**］をタップすると露出設定がコピーされます。



☑ コピー対象と動作の制限について

- リモートカメラの機種や設定の条件によっては、同じ値をコピーできないことがあります。その場合、シャッタースピード、絞り値、ISO 感度、露出補正値は近似値がコピーされます。
- ホワイトバランスは異なる機種間ではコピーできないことがあります。
- Z9 のファームウェアバージョン C:4.00 以降で対応したオートキャプチャーを NX Field アプリから開始した場合、オートキャプチャーの実行中は露出設定をコピーできません。

高周波フリッカー低減について

Z9（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）/Z8/Z6III を接続している場合、［**高周波フリッカー低減**］を使用できます。

- ［**する**］に設定すると、［**高周波フリッカー低減設定**］を使用できます。ライブビューを確認しながら、通常よりも細かいステップ幅で［**シャッタ速度**］を選べます。 << または >> をタップすると、リモートカメラ側で設定しているステップ幅でシャッタースピードを調整できます。より細かいステップ幅で調整するときは < または > をタップしてください。

- シャッタースピードの表示は分母の値のみが少数点を含む形式で表示されます。
- 高周波フリッカー低減の詳しい説明については Z9/Z8/Z6III の活用ガイドをご覧ください。

その他全般のリモートカメラ設定を行う

ホワイトバランスやピクチャーコントロールなど、リモートカメラの各種設定ができます。

カメラ設定：[AF/WB] タブ

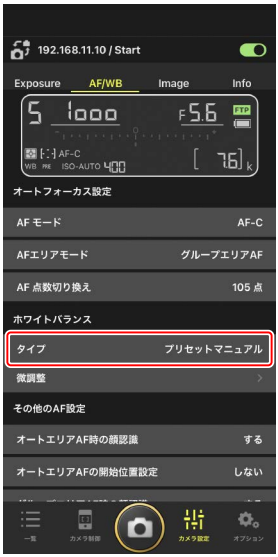
オートフォーカスとホワイトバランスの設定を行えます。オートフォーカスの一部の項目は、カメラ制御オプションからも設定できます（📖 119）。

スポットホワイトバランスを取得するには（D6/D5 のみ）

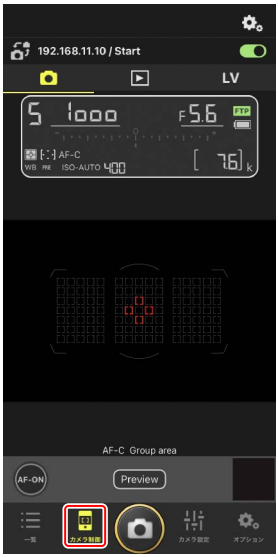
ホワイトバランスを［**プリセットマニュアル**］に設定している場合は、ライブビューの画面をタップしてスポットホワイトバランスを取得することができます。

1. ホワイトバランスで［**プリセットマニュアル**］を選ぶ

   ホワイトバランスはカメラ設定画面の［**AF/WB**］タブで設定できます。



2. （カメラ制御）をタップする



3. LV（LV タブ）をタップする

リモートカメラのライブビューが表示されます。

4. （WB）をタップする

ボタンが黄色に変わり、プリセットマニュアル取得モードになります。

5. 被写体の白またはグレーの部分をタップする

プリセットマニュアルデータの取得に成功するとライブビュー表示枠が緑色に変わり、[**測定成功**] と表示されます。

- ライブビュー表示枠が緑色に変わらない場合は、被写体の白またはグレーの部分を再度タップしてください。

6. （WB）をタップしてプリセットマニュアル取得モードを終了する

カメラ設定：［Image］タブ

画質やピクチャーコントロールなどの設定を行えます。

カメラ設定：［Info］タブ

画像に添付する IPTC 情報やコメントなどを設定できます。

リモートカメラ情報のスワイプで露出設定を切り換える

リモートカメラ本体に記憶した 4 通りの撮影メニュー「A」～「D」を、NX Field アプリのリモートカメラ情報をスワイプすることにより切り換えられます。

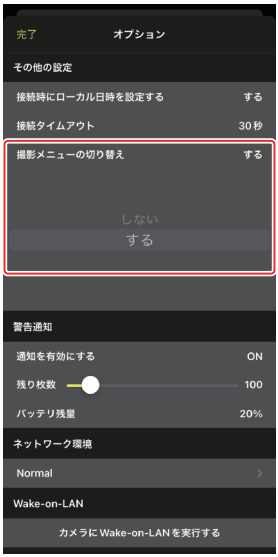
- Z9/Z8/D6/D5 で使用できます。

1. リモートカメラで撮影メニューの設定を行う

   機種によりメニューが異なります。

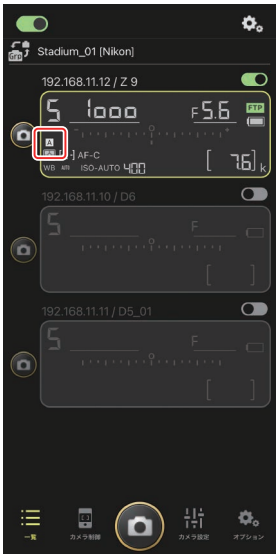
   - Z9/Z8：静止画撮影メニュー［**撮影メニューの拡張**］>［**ON**］
   - D6/D5：静止画撮影メニュー［**静止画撮影メニューの拡張**］>［**する**］

2. NX Field アプリの （オプション）にある［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定する



3. リモートカメラを NX Field アプリに接続する

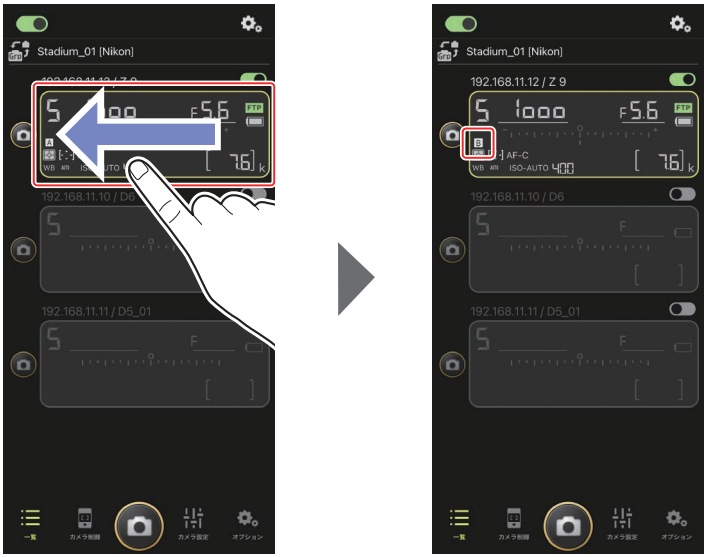
リモートカメラ情報に撮影メニューのアイコン「A」～「D」が表示されます。



4. リモートカメラ情報を左右にスワイプする

リモートカメラの撮影メニューが切り換わります。

- スワイプを止めて約 1 秒経過すると、変更が適用されます。
- 静止画のライブビュー表示中も撮影メニューの切り替えを行うことができます（Z9/Z8 のみ）。



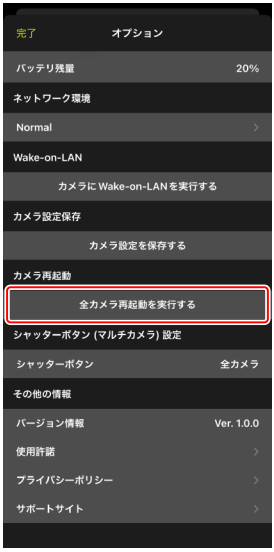
撮影メニューの読み込みについて

- ［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定すると、リモートカメラを接続したときに撮影メニュー「A」～「D」すべてを読み込むため、接続にかかる時間が長くなります。
- リモートカメラを NX Field アプリに接続した後で［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定しても、撮影メニューは読み込まれません。一度リモートカメラの接続を解除して、再接続してください。

接続中のすべてのリモートカメラを再起動する

（オプション）の［**オプション**］にある［**全カメラ再起動を実行する**］をタップすると確認ダイアログが表示され、［**OK**］をタップすると接続中の全カメラが再起動されます。

- 再起動したリモートカメラは自動で NX Field アプリに再接続されます。



対応カメラ

この機能は次のカメラで使用できます。

- Z9（ファームウェアバージョン C:5.10 以降）

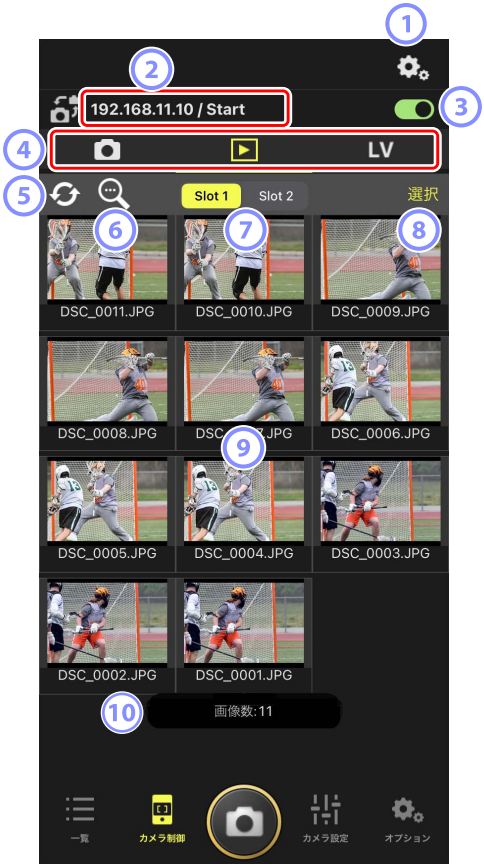
NX Field を長時間使用する際のリモートカメラ再起動について

NX Field によるリモート撮影を長時間行う場合、ご使用の合間など、実施可能なタイミングでリモートカメラを再起動しておくと、通信の切断や予期しないエラーのおそれを軽減できます。

NX Field アプリでの再生

撮影した画像を再生する

カメラ制御画面で ▶ （再生タブ）をタップすると、選んだリモートカメラのメモリーカードに記録されている画像がサムネイルで一覧表示されます。



① **カメラ制御オプション**
再生画面の設定を変更できます（📖 142）。

② **IP アドレス / タイトル（📖 47）**
IP アドレスとタイトルが表示されます。

③ **接続スイッチ**
再生中のリモートカメラの接続をオン / オフします。

④ **カメラタブ / 再生タブ /LV タブ**
表示するタブを切り換えます。

⑤ **リロード**
サムネイルを最新の状態に更新します。

⑥ **検索**
プロテクトの状態や撮影日から表示画像を絞り込めます。

⑦ **スロット切り換え**
表示するメモリーカードのスロットを切り換えます。

⑧ **[選択]**
タップすると写真を選べる状態になります。

⑨ **サムネイル**

選んだスロットのメモリーカードに保存されている画像がサムネイル表示されます。タップすると、タップした画像が 1 コマ表示されます（📖 138）。

- RAW+JPEG または RAW+HEIF 形式で撮影された画像の場合、再生時には JPEG または HEIF 画像のみ表示されます。サムネイルには RAW アイコンが表示されています。
- FTP サーバーに送信済みの画像には が、送信待ちの画像には が表示されています。
- 連続撮影で記録した画像（連写画像）は、グループ内の最初の画像のみサムネイル表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。サムネイル上には が表示されます。画像をタップすると、グループ内のすべての画像がサムネイル表示されます。
  - グループ内のサムネイル画像一覧から元の画面に戻るときは、グループの最初の画像をタップします。
  - 連写画像の表示方法は再生画面の設定から変更できます（📖 142）。

⑩ **画像数**

サムネイル一覧の表示時に、選択したスロットのメモリーカードに保存されている画像の総数が表示されます。連写画像は 1 枚として扱われます。

撮影した画像を 1 コマ表示する

再生画面で画像のサムネイルをタップすると、画像を拡大して 1 コマ表示できます。表示中の画像に対し、共有 / 保存、FTP 送信、音声メモの録音などの操作を行うことができます。

① **[AF]**
タップすると撮影時のフォーカスポイントが表示されます。HEIF 形式または階調モードが HLG の RAW 画像を 1 コマ表示しているときは使用できません。

② **[Info.]**
タップすると撮影日時やシャッタースピードなどの情報が表示されます。HEIF 形式または階調モードが HLG の RAW 画像を 1 コマ表示しているときは使用できません。

③ **画像**
選択した画像が拡大表示されます。

④ **共有**
表示中の画像を、メールやメッセージ機能などを使用して他の人と共有することができます。また、iPhone のカメラロールに保存することもできます。

⑤ **FTP**
表示中の画像を FTP サーバーに送信します。

⑥ **マイク（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降）**
（マイク）をタップすると音声メモの録音を行うためのダイアログが表示されます（📖 140）。

⑦ **削除**
表示中の画像をリモートカメラから削除します。

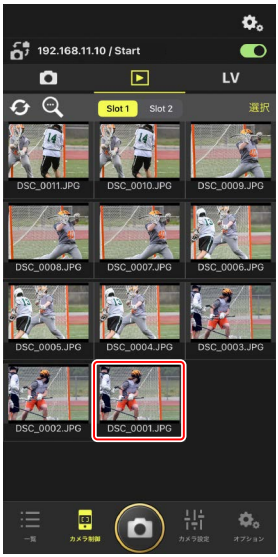
画像に音声メモを追加する（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降）

再生画面から画像を 1 コマ表示すると、音声メモを録音するための（マイク）が表示されます。iPhone のマイクで音声を録音し、画像の音声メモとして保存できます。

- プロテクトしている画像には音声メモを追加できません。

1. サムネイル表示画面で画像をタップする

   選んだ画像が 1 コマ表示されます。



2. 1 コマ表示画面で（マイク）をタップする

確認ダイアログで［**開始**］をタップすると録音が開始されます。

- 最大 60 秒間録音できます。

3. ［完了］をタップする

音声メモがカメラのメモリーカードに保存されます。

- 音声メモは 1 コマ表示している画像と同じフォルダーに、画像と同じファイル名で保存されます。

再生画面の設定を変更する

再生画面で （カメラ制御オプション）をタップすると、再生画面の設定を変更できます。

① **[サムネイル列数]**
サムネイルの列数を 1 ～ 6 から選べます。

② **[ダウンロードする画像サイズ]**
iPhone に画像を保存する場合の画像サイズを設定できます。

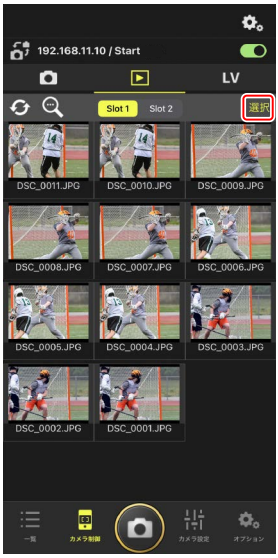
③ **[サムネイルのグループ表示]**
連写画像の表示方法を設定できます。

④ **[選択 FTP 送信後のプロテクト]**
サムネイル一覧から画像を選んで FTP 送信するときに、カメラのメモリーカードに保存されている対象の画像を自動でプロテクトするように設定できます。

選んだ画像を iPhone に共有 / 保存する

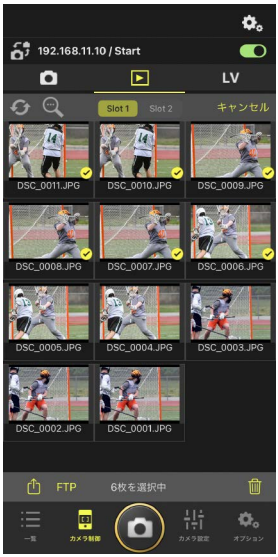
リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選んで、メールなどを使用して他の人と画像を共有したり、iPhone に画像を保存することができます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする



2. 共有したい画像を選択する

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。



3. （共有）をタップする

選択した画像を、メールやメッセージ機能などを使用して他の人と共有することができます。また、iPhone のカメラロールに保存することもできます。

選んだ画像を FTP 送信する

リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選んで FTP 送信できます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする

2. FTP サーバーに送信したい画像を選ぶ

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。

3. FTP（FTP）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、選んだ画像が FTP サーバーに送信されます。

☑ FTP 送信中の表示と操作について

FTP 送信済みの画像には が、FTP 送信待ちの画像には が表示されます。FTP 送信中も、リモートカメラの設定変更、撮影、ライブビューの確認を行うことができます。

- FTP 送信の状況が の画像に音声メモを追加すると、いったん送信待ちの順序通りに画像のみが FTP 送信され、音声メモ付きの画像は送信待ちの最後に追加されます（📖 140）。

FTP 送信済みマークの表示件数について

FTP 送信済みマークの表示件数は、カメラの機種ごとに上限が異なります。

- Z9/Z8/Z6III/D6：5000 枚（メモリーカード 2 枚使用時は 10000 枚）
- D5：1000 枚

FTP 送信の設定について

FTP 設定を変更する場合は、NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する（📖 150）を参照してください。

FTP 送信済みの画像をカメラやパソコン上でも見分けやすくしたいときは

再生画面で ⚙（カメラ制御オプション）をタップして、［**選択 FTP 送信後のプロテクト**］を［**する**］に設定しておくと、サムネイル一覧から画像を選んで FTP 送信するときに、カメラのメモリーカードに保存されている対象の画像が自動でプロテクトされるようになります。プロテクトの有無はカメラ本体の他、パソコンのソフトウェア（NX Studio など）でも確認できます。

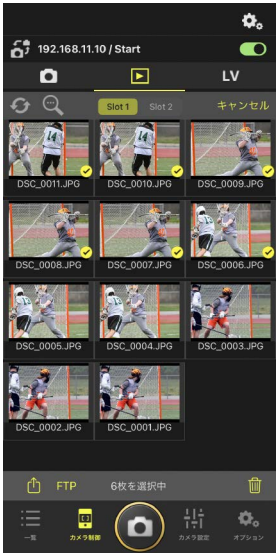
選んだ画像を削除する

リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選択して、削除できます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする

2. 削除したい画像を選ぶ

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。



3. （削除）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、選んだ画像がリモートカメラから削除されます。

画像削除中の表示について

画像の削除中は青い円形のインジケーターが表示されます。画像の削除中は NX Field アプリの操作はできません。

同時記録した画像の削除

- ［**順次記録**］に設定した状態で RAW+JPEG または RAW+HEIF 撮影されている場合は JPEG/HEIF 画像を削除すると、同時記録した RAW 画像も一緒に削除されます。
- ［**バックアップ記録**］に設定している場合は、選択しているスロットの画像のみ削除されます。RAW+JPEG または RAW+HEIF 撮影されている場合は JPEG/HEIF 画像を削除すると、同時記録した RAW 画像も一緒に削除されます。
- 分割記録を行った場合は、選択しているスロットの画像のみ削除されます。

NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する

NX Field アプリから、登録されているリモートカメラの FTP 設定を確認または変更できます。（オプション）の［**FTP ステータス**］を選ぶと、FTP ステータス画面が表示されます。

① **[完了]**
FTP 設定の確認 / 変更を完了します。

② **[FTP profile]**
登録済みの FTP プロファイル（📖 158）および FTP 接続の履歴（📖 154）を確認できます。

③ **IP アドレス / タイトル**

リモートカメラの IP アドレスとタイトルが表示されます。

④ **接続状況**

リモートカメラと FTP サーバーの接続状況が表示されます。

- カメラ情報の枠内にある FTP（FTP）が赤で表示されている場合は、FTP エラーが発生しています。

⑤ **再起動**

リモートカメラの通信機能を再起動します。

☑ 通信機能の再起動について

- 通信機能の再起動を行ったリモートカメラは、約 30 秒で再接続されます。
- FTP サーバーが障害から復帰したときや、LAN ケーブルを接続し直したときなど、FTP サーバー側の問題を解消したにもかかわらずエラーが表示されているリモートカメラがある場合は、［**再起動**］をタップしてください。

⑥ **編集**

リモートカメラの FTP プロファイルを、直接編集（📖 152）またはリストから選択（📖 158）できます。

☑ FTP サーバーに障害が発生した場合

画像の FTP 送信中に FTP サーバーに障害が発生すると、NX Field アプリとリモートカメラの接続が不安定になり、切断される場合があります。この場合、数分経過した後に接続スイッチを（オン）にして再接続してください。

リモートカメラの FTP 設定を直接編集する

使用中の FTP 設定を編集して、送信先を変更できます。FTP サーバーが一時的にダウンした場合などに行います。

1. FTP ステータス画面で、FTP 設定を変更するカメラの 編集 （編集）をタップする
   - ［**接続済み**］と表示されているリモートカメラのみ操作できます。

2. ［**プロファイルを直接編集**］を選ぶ

3. IP アドレスやポート番号などの FTP 設定を編集して［**保存**］をタップする

リモートカメラの通信機能が再起動され、FTP 設定の変更が行われます。

- FTP サーバーに正しく接続されると、FTP ステータス画面に［**接続済み**］と表示されます。

FTP 送信する画像の種類を選びたいときは（Z9/Z8（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）/Z6III のみ）

［**FTP オプション**］の［**撮影後自動送信**］を［**ON**］にしている場合、FTP 送信する画像の種類を次の送信設定ごとに選択できます。

- ［**RAW+JPEG 送信設定**］（Z9 のみ）
- ［**RAW+JPEG 送信設定（順次記録時／バックアップ記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+JPEG 送信設定（RAW+JPEG 分割記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+HEIF 送信設定（順次記録時／バックアップ記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+HEIF 送信設定（RAW+HEIF 分割記録時）**］（Z8/Z6III のみ）

FTP プロファイルを登録する

FTP プロファイルを接続履歴から選ぶ、または直接入力することにより、リストに登録できます。登録した FTP プロファイルを使用して、リモートカメラの接続先を変更することもできます。

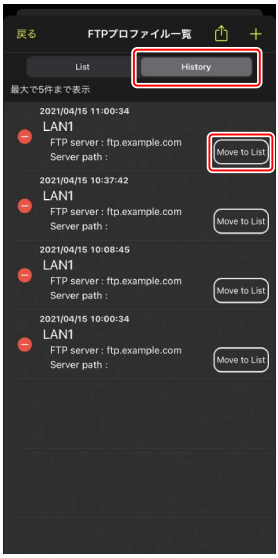
接続履歴から登録する

FTP プロファイルを接続履歴から選んで登録します。

1. FTP ステータス画面で［**FTP profile**］をタップする

2. ［**History**］をタップして、接続履歴の中からリストに登録したい FTP プロファイルの Move to List（Move to List）をタップする

FTP プロファイルがリストに登録され、接続可能になります。

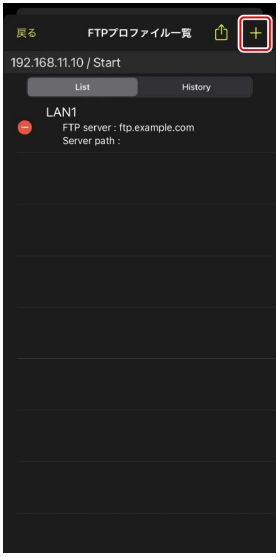


FTP プロファイルを入力して登録する

FTP サーバーの設定を入力して接続設定を登録します。

1. FTP ステータス画面で［**FTP profile**］をタップする

2. ＋ をタップする



3. 各項目を入力して［保存］をタップする

入力した FTP プロファイルがリストに登録され、接続可能になります。

FTP プロファイルのリストから接続先を選ぶ

リストに登録してある FTP プロファイルを使用して、リモートカメラの接続先を変更できます。

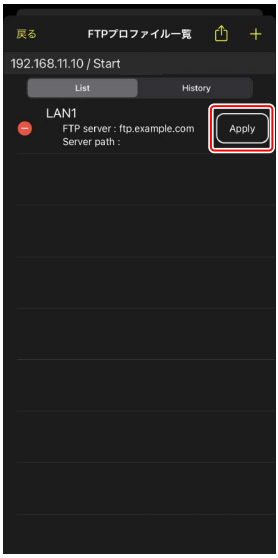
1. FTP ステータス画面で、接続先を変更したいリモートカメラの 編集 （編集）をタップする

2. ［プロファイルを選択］を選ぶ

3. 使用する FTP プロファイルの Apply （Apply）をタップする

リモートカメラの通信機能が再起動され、FTP 設定の変更が行われます。

- FTP サーバーに正しく接続されると、FTP ステータス画面に［**接続済み**］と表示されます。



FTP プロファイル選択時のご注意

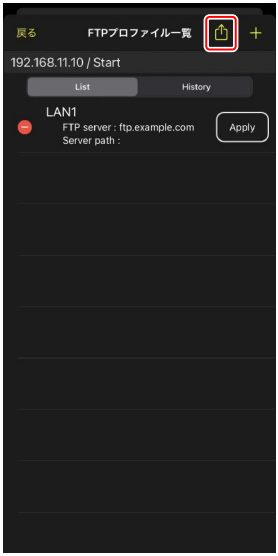
FTPS など特定のカメラやファームウェアバージョンのみ対応している項目が含まれる FTP プロファイルは、未対応のカメラでは選択できません。

リモートカメラの FTP プロファイルを他の iPhone/iPad に送信する

リモートカメラの FTP プロファイルを他の iPhone/iPad に送信して、NX Field アプリに登録できます。

FTP プロファイルのリスト画面で（共有）をタップして、共有方法と送信先を選んでください。

送信元および送信先の iPhone/iPad に表示される確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、FTP プロファイルが送信先の NX Field アプリに登録されます。

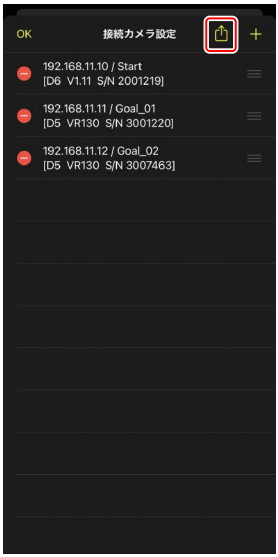


すべてのリモートカメラの接続設定を他のiPhone/iPad に送信する

NX Field アプリの表示名に登録済みのリモートカメラの IP アドレスとタイトル（📖 47）を、他の iPhone/iPad に送信して、NX Field アプリに登録できます。

（オプション）の［**接続カメラ設定**］画面にある（共有）をタップして、共有方法と送信先を選んでください。

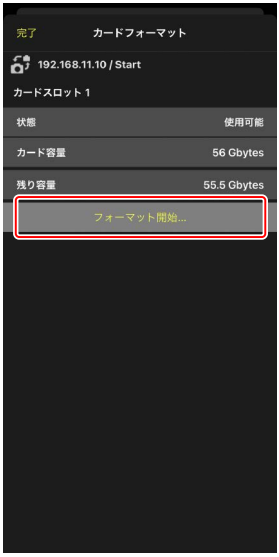
送信元および送信先の iPhone/iPad に表示される確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、送信元の表示名に登録されているすべてのリモートカメラの IP アドレスとタイトルが、送信先の NX Field アプリに登録されます。



NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする

(オプション)の[**カードフォーマット**]から、リモートカメラのメモリーカードをフォーマットできます。

リモートカメラとスロットを選んで［**フォーマット開始 ...**］をタップしてください。確認ダイアログで［**OK**］をタップするとフォーマットされます。



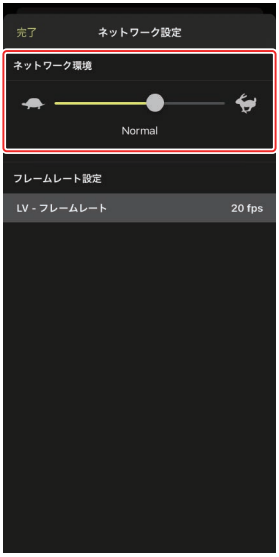
送信速度とフレームレートを設定する

ネットワークの実効速度が遅い場合、FTP 送信の速度やライブビューの更新速度を落とすことで、NX Field アプリの操作レスポンスを上げることができます。

FTP 送信の速度を設定する

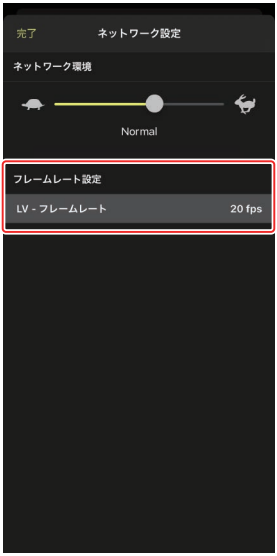
（オプション）の［**オプション**］にある［**ネットワーク環境**］でスライダーを操作すると、FTP 送信の速度を調整できます。

- ［**完了**］をタップすると、設定が保存されます。



ライブビューのフレームレートを設定する

（オプション）の［**オプション**］にある［**ネットワーク環境**］で［**LV - フレームレート**］をタップすると、ライブビューのフレームレートを選択できます。



- フレームレートは 1fps ～ 30fps の間で調整できます。操作のレスポンスが遅いときに、フレームレートを落とすことで改善される場合があります。
- ［**完了**］をタップすると、設定が保存されます。

ライブビューオプションについて

フレームレートの設定は、ライブビューオプション（📖 102）からも行うことができます。

Wake-on-LAN でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする（D6 のみ）

D6 は、NX Field アプリの操作でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする Wake-on-LAN（以下 WOL）に対応しています。WOL 機能を使用する場合は、NX Field アプリにリモートカメラの MAC アドレスを登録してください。

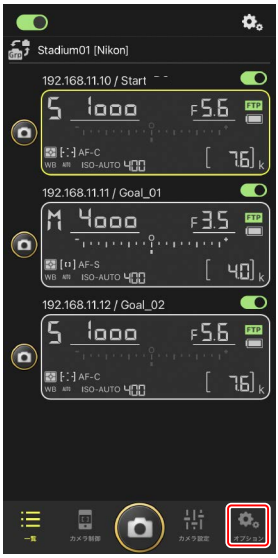
接続カメラ設定について

［**接続カメラ設定**］を行うときは、設定するリモートカメラの接続を解除してください。

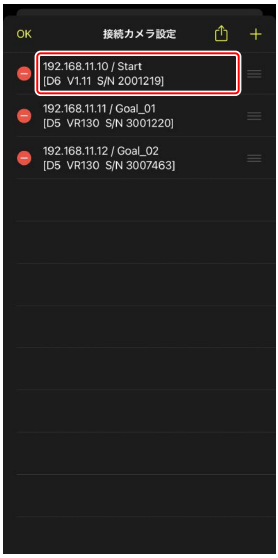
リモートカメラの MAC アドレスを設定する

リモートカメラの MAC アドレスを設定して、WOL を使用可能な状態にします。

1. （オプション）をタップして［**接続カメラ設定**］を選ぶ



2. WOL の設定を行うリモートカメラ（D6）の接続情報をタップする



3. MAC アドレスを入力して［**保存**］をタップする

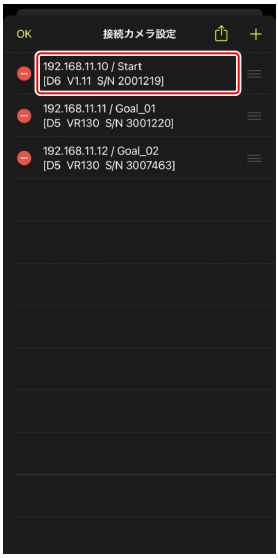
MAC アドレスは、リモートカメラのセットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］にある［**オプション**］の［**MAC アドレス**］で確認できます。ハイフンは入力不要です。

WOL でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする

WOL を動作させて、リモートカメラの半押しタイマーをオンにします。

1. （オプション）をタップして［接続カメラ設定］を選ぶ

2. WOL の設定を行うリモートカメラ（D6）の接続情報をタップする



3. Run WOL（Run WOL）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、リモートカメラの半押しタイマーがオンになります。

WOL 使用時のご注意

- WOL の使用可否は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- WOL で半押しタイマーをオンにした後、ネットワーク接続に約 30 秒かかるため、［**半押しタイマー**］の設定は 10 分または 30 分をおすすめします。
- リモートカメラは電源 ON の状態で設置してください。

WOL で半押しタイマーをオンにする場合

WOL で半押しタイマーをオンにする場合、iPhone/iPad とリモートカメラは、同一のネットワーク内に配置する必要があります。ルーターを越えた別のネットワークでは利用できないことがあります。

iPhone に接続したリモートカメラをゲームパッドで操作する

（オプション）の［**ゲームパッド設定**］から、iPhone に接続したリモートカメラのレリーズ操作をゲームパッドで行うことができます。

- ゲームパッドの各ボタンに次の機能を割り当てられます。
  - ［**全カメラ撮影**］：接続しているすべてのリモートカメラのレリーズを行います。
  - ［**選択カメラのみ撮影**］：接続中かつ一覧画面で選択中のリモートカメラのレリーズを行います。
- ゲームパッドを iPhone に接続する方法については、ゲームパッドの説明書を参照してください。

その他の設定について

（オプション）から［**オプション**］を選ぶと、接続タイムアウトの時間や警告通知のレベルなどを設定できます。

大項目	小項目	説明
その他の設定	接続時にローカル日時を設定する	iPhone の時刻をリモートカメラに同期するかどうかを設定します。
	接続タイムアウト	リモートカメラから応答がない場合に接続を要求し続ける時間を設定します。時間内に接続できないと接続エラーになります。
	撮影メニューの切り替え（📖 131）	撮影メニューの切り替え機能を使用するかどうかを設定します。

大項目	小項目	説明
警告通知	通知を有効にする	警告を表示するかどうかを設定します。
	残り枚数	警告表示するリモートカメラのメモリー残量を設定します。
	バッテリ残量	警告表示するリモートカメラのバッテリー残量を設定します。1% に設定すると、警告が表示される前にリモートカメラとの接続が切れる場合があります。
ネットワーク環境	ネットワーク環境	FTP 送信の速度を設定します。
	フレームレート設定（📖 164）	ライブビューのフレームレートを設定します。
Wake-on-LAN（D6 のみ）	カメラに Wake-on-LAN を実行する（📖 165）	WOL 機能を使用するかどうかを設定します。
カメラ設定保存	—	現在の設定をカメラに保存します。
カメラ再起動	全カメラ再起動を実行する（📖 134）	接続中のすべてのリモートカメラを再起動します。
その他の情報	バージョン情報	バージョン情報を表示します。
	使用許諾	使用許諾を表示します。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
	サポートサイト	Web ブラウザーでサポートサイトを表示します。

iPad でリモートカメラの撮影と FTP 送信を指示する

NX Field アプリをインストールした iPad から、リモートカメラのレリーズ、動画撮影、設定変更、および画像の FTP 送信指示が行えます。

FTP 送信される画像について

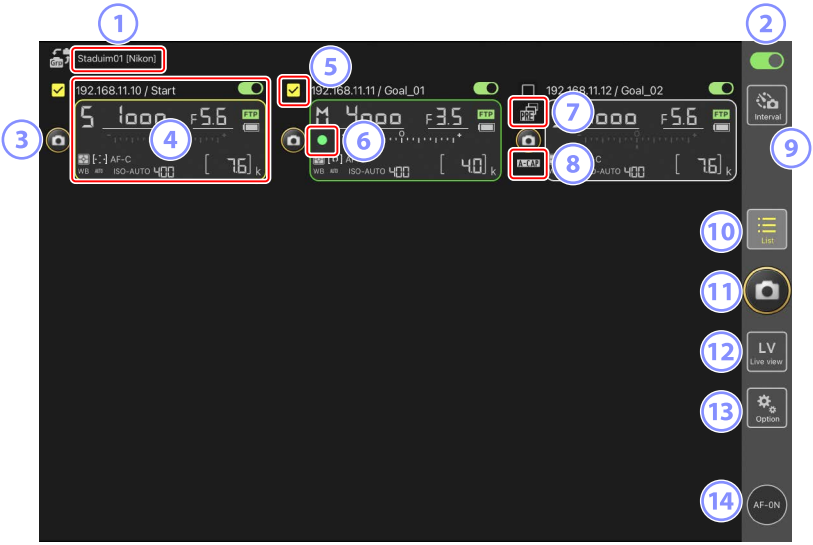
NX Field アプリにより FTP 送信されるのは、iPad に保存されている画像ではなく、リモートカメラのメモリーカードに保存されている画像です。

iPad の Split View 機能について

NX Field アプリは iPad の Split View 機能に対応しています。

NX Field アプリの画面について

NX Field アプリを起動すると、一覧画面が表示されます。各ボタンやスイッチの機能は、次の通りです。



① **表示名［グループ名］（📖 59）**
表示名とグループ名が表示されます。タップすると表示名を切り換えられます。

② **接続スイッチ（📖 66）**
表示名に登録されているリモートカメラの接続をオン / オフします。

③ **レリーズボタン（1 台）**
撮影するリモートカメラを選んでレリーズを行います。

④ **リモートカメラ情報（📖 177）**
シャッタースピードや絞り値など、カメラの上面表示パネルの内容が表示されます。カメラ情報の左にあるレリーズボタンや右上にある接続スイッチは、カメラ 1 台に対して実行されます。長押しすると、カメラ制御やカメラ設定などのサブメニューが表示されます。

⑤ **チェックボックス**
（オプション）の［**オプション**］にある［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］を［**グループレリーズ**］に設定している場合に表示されます。チェックボックスがオンに設定されているすべてのリモートカメラが、レリーズボタン（マルチカメラ）をタップしたときのレリーズ対象になります（📖 239）。

⑥ **カードアクセスアイコン**
画像をメモリーカードに記録しているときに点灯します。

⑦ **プリキャプチャーアイコン（📖 208）**
NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑧ **A-CAP アイコン（📖 246）**
NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

⑨ **インターバルタイマー撮影（📖 233）**
インターバルタイマー撮影の設定画面を表示します。

⑩ **一覧（📖 181）**

一覧画面を表示します。

⑪ **レリーズボタン（マルチカメラ）**

接続スイッチが （オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。選択したリモートカメラのみレリーズを行うこともできます（📖 239）。

⑫ **ライブビュー**

ライブビューを表示します。表示方法をタイル表示（📖 189）、メイン－サブ表示（📖 190）、スキン表示（📖 191）から選んで撮影や設定ができます。

⑬ **オプション（📖 188）**

オプション画面を表示します。

⑭ **AF-ON ボタン**

長押ししている間、ピント合わせを行います。プリキャプチャーの設定を行っている場合は、長押ししている間、プリキャプチャーが実行されます。 （オプション）>［**オプション**］の［**AF-On ボタン設定**］（📖 321）でボタンの動作を変更できます。

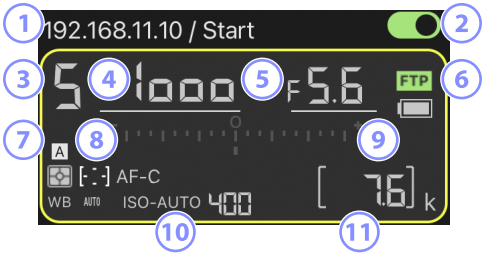
リモートカメラ情報

シャッタースピードや絞り値など、リモートカメラの上面表示パネルの内容が表示されます。

一覧画面のリモートカメラ情報

一覧画面のリモートカメラ情報には測光モードや記録可能コマ数などを含む詳細が表示されます。リモートカメラ情報を長押しすると、カメラ制御やカメラ設定などのサブメニューが表示されます（📖 179）。

- ［**撮影メニューの切り替え**］をオンにしている場合、リモートカメラ情報を左右にスワイプして撮影メニューを切り換えられます（📖 277）。



① IP アドレス／タイトル
② 接続スイッチ（1 台）
③ 撮影モード
④ シャッタースピード
⑤ 絞り値
⑥ FTP 接続状況 / バッテリー残量
⑦ 測光モード/AF エリアモード/ フォーカスモード/ ホワイトバランス
⑧ 撮影メニュー（「A」～「D」）
⑨ インジケーター
⑩ ISO-AUTO/ISO 感度
⑪ 記録可能コマ数

ライブビュー画面のリモートカメラ情報

ライブビュー画面の下部には項目を絞ったリモートカメラ情報が表示されます。

- ライブビューが静止画モードで、［**撮影メニューの切り替え**］をオンにしている場合、リモートカメラ情報を左右にスワイプして撮影メニューを切り換えられます（Z9/Z8 のみ）（📖 277）。

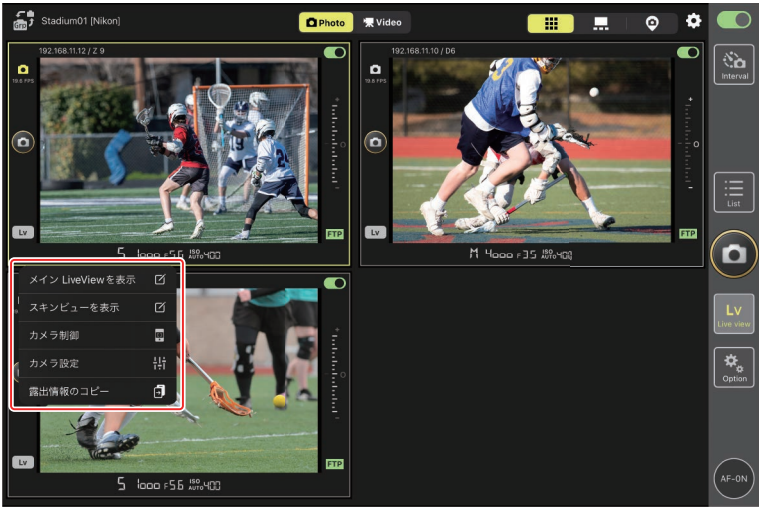
① 撮影メニュー（「A」～「D」）
② 撮影モード
③ シャッタースピード
④ 絞り値
⑤ ISO AUTO/ISO 感度

リモートカメラ情報のサブメニュー

リモートカメラ情報を長押しすると、次のメニューが表示されます。タップすると、各画面を表示します。

項目	説明	📖
［**タイル LiveView を表示**］	タイル表示でライブビューを表示します。	📖 189
［**メイン LiveView を表示**］	選んだリモートカメラをメインに、メイン－サブ表示でライブビューを表示します。	📖 190
［**スキンビューを表示**］	スキンビュー画面を表示します。	📖 191
［**カメラ制御**］	選んだカメラのカメラ制御画面を表示します。	📖 182
［**カメラ設定**］	選んだカメラのカメラ設定画面を表示します。	📖 185
［**露出情報のコピー**］	露出設定のコピーが可能なリモートカメラの一覧を表示します。カメラ制御 / カメラ設定画面のリモートカメラ情報を長押ししても表示できます。	📖 266

- ライブビューのタイル表示 / メイン－サブ表示中は、ライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューが表示されます。



- ライブビューのスキン表示中は、カメラアイコンを長押ししてサブメニューを表示します。
- カメラ制御 / カメラ設定画面でリモートカメラ情報を長押しすると、［**露出情報のコピー**］のみ表示されます。

一覧

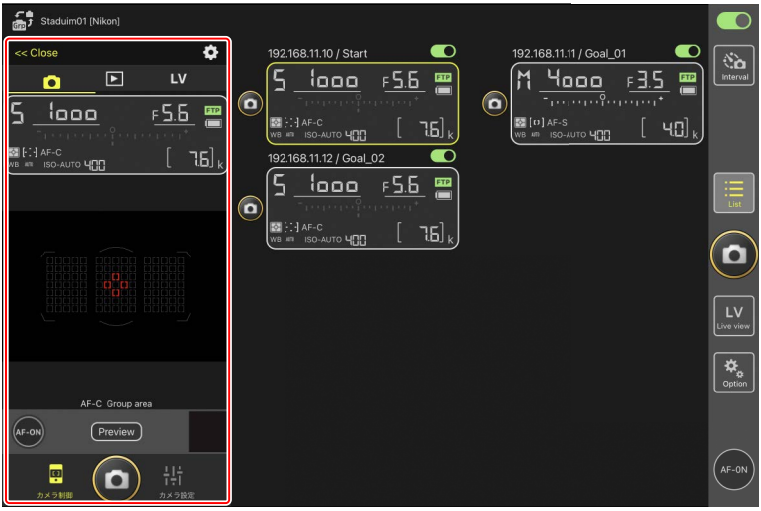
NX Field アプリに登録されているリモートカメラの情報がリスト表示されます。

- 接続スイッチが（オン）のリモートカメラを同時にレリーズできます（📖 193）。選択したリモートカメラのみレリーズを行うこともできます（📖 239）。
- 1 台のリモートカメラを個別にレリーズすることも可能です（📖 197）。
- 複数の表示名を登録している場合は、（表示名切り換え）をタップすると、表示名を切り換えられます。

カメラ制御

リモートカメラ情報またはタイル表示 / メイン－サブ表示時のライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］を選ぶと表示されます。

- （カメラタブ）を選ぶとリモートカメラのピントを合わせながら撮影できます（D6/D5 のみ）（📖 198）。
  - （カメラタブ）を選んで （A-CAP）をタップすると、オートキャプチャー撮影の操作を行うことができます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 246）。
- （再生タブ）を選ぶとリモートカメラで撮影した画像を再生して確認できます。画像の削除や FTP サーバーへの送信も行えます（📖 281）。
  の Video （Video タブ）を選んでいるときは使用できません。
- LV （LV タブ）を選ぶとリモートカメラのライブビューを確認しながら撮影できます（📖 203）。



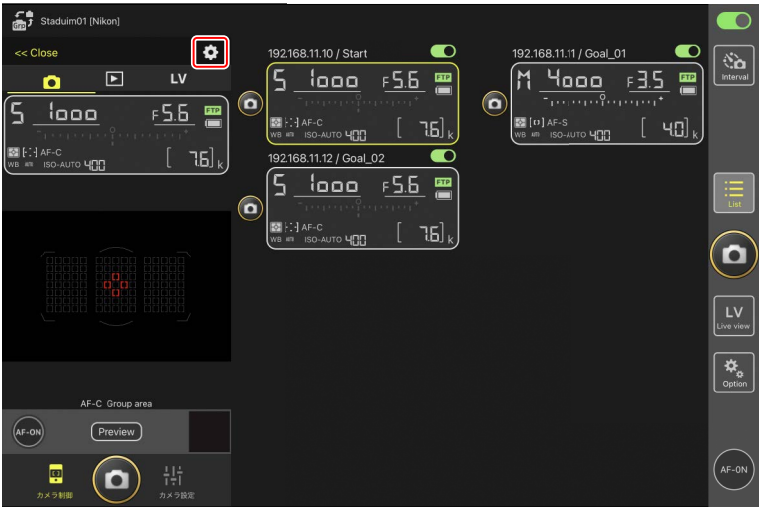
リモートカメラ情報からカメラの設定を変更するには

カメラ制御画面のリモートカメラ情報内にある次の項目は、タップして直接設定を変更できます。

- 撮影モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 測光モード
- AF エリアモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 露出補正値
- ISO-AUTO
- ISO 感度

カメラ制御オプション

カメラ制御画面で ⚙（カメラ制御オプション）をタップすると、表示中のタブに応じた設定画面が表示されます。

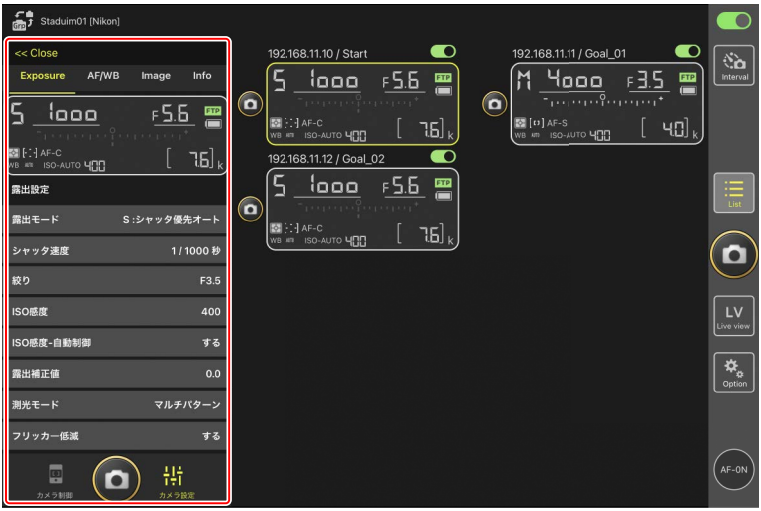


タブ		説明	📖
📷	カメラ	フォーカス関連の設定ができます。※	📖 261
▶	再生	再生画面の設定ができます。※	📖 288
LV	LV	ライブビューの設定ができます。※	📖 210

※ 設定できる項目はお使いの機種により異なります。

カメラ設定

リモートカメラ情報またはタイル表示 / メイン－サブ表示時のライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ設定**］を選ぶと表示されます。リモートカメラの露出、オートフォーカス、画質、動画の詳細などを設定できます（📖 264、269）。



リモートカメラ情報からカメラの設定を変更するには

カメラ設定画面のリモートカメラ情報内にある次の項目は、タップして直接設定を変更できます。

- 撮影モード
- シャッタースピード
- 絞り値
- 測光モード
- AF エリアモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 露出補正値
- ISO-AUTO
- ISO 感度

オートキャプチャー設定（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）

カメラ制御画面の （カメラタブ）で （A-CAP）をタップすると表示されます。オートキャプチャーの設定、プレビュー、ユーザープリセットの読み込み、撮影開始 / 停止の操作を行うことができます（📖 246）。

オプション

リモートカメラのネットワーク設定や、グループ設定、メモリーカードのフォーマット、FTP プロファイルの変更などができます（📖 321）。

ライブビュー

LV（ライブビューボタン）をタップすると、複数のリモートカメラのライブビューを同時に表示できます。ライブビューは、タイル表示、メインーサブ表示、スキン表示の中から選べます。リモートカメラ情報を長押ししてサブメニュー（📖 179）からタイル表示やメインーサブ表示を行うこともできます。

タイル表示

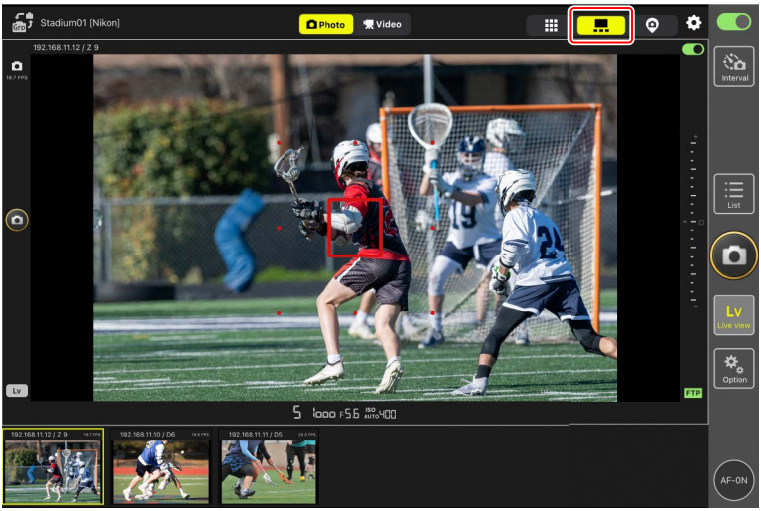
すべてのリモートカメラのライブビューを同じサイズで表示します。この画面からピント合わせやレリーズ、動画撮影を行えます。

- リモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［**タイル LiveView を表示**］を選ぶ、または複数ライブビュー画面の右上にある ▦（タイル表示タブ）をタップすると表示されます。
- 最大 9 台まで同時に表示できます。
- 操作方法については、タイル表示の静止画撮影（📖 211）および動画撮影（📖 222）のページを参照してください。

メインーサブ表示

1 台のリモートカメラのライブビューを大きく表示して、その他を小さく表示します。この画面からピント合わせやレリーズ、動画撮影を行えます。

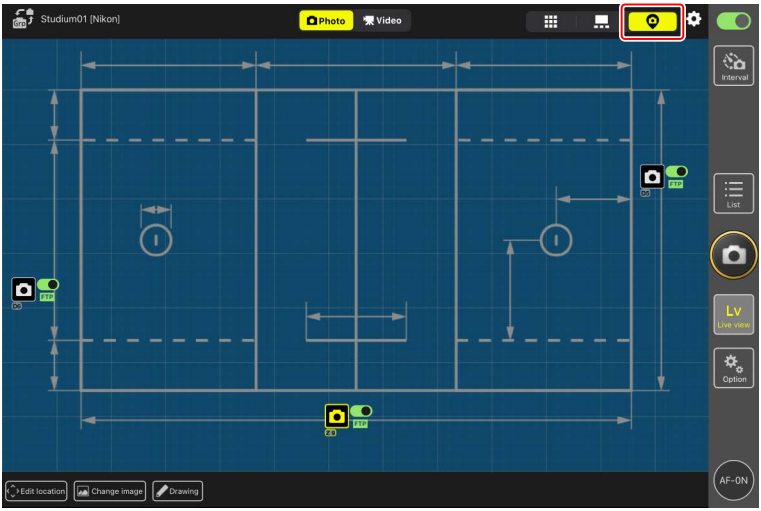
- リモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［**メイン LiveView を表示**］を選ぶ、または複数ライブビュー画面の右上にある （メインーサブ表示タブ）をタップすると表示されます。
- サブ表示されているライブビューをタップすると、メイン表示が入れ替わります。
- 操作方法については、メインーサブ表示の静止画撮影（📖 213）および動画撮影（📖 224）のページを参照してください。



スキン表示

iPad に保存されている画像をスキン表示画面に設定できます。リモートカメラの配置図などを作成するときに便利です。

- リモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［**スキンビューを表示**］を選ぶ、または複数ライブビュー画面の右上にある （スキン表示タブ）をタップすると表示されます。
- 操作方法についてはスキン表示の設定を行う（📖 226）を参照してください。



NX Field アプリでの撮影方法

NX Field アプリを使ってリモートカメラのレリーズを行う方法には、リスト表示撮影とライブビュー撮影があります。ライブビューのタイル表示またはメインーサブ表示で動画の撮影（📖 220）ができます。

リスト表示で静止画を撮影する

☑ リスト表示撮影時のご注意

リスト表示で連写した直後にライブビュー表示に切り換えると、画面の表示やレリーズボタンの動作に遅延が発生することがあります。

（AF-ON）の動作設定について

（オプション）> [**オプション**] の [**AF-On ボタン設定**] で （AF-ON）の動作を切り換えられます。

- [**プッシュ方式**]： （AF-ON）を押している間、ピント合わせを行います。
- [**トグル方式**]： （AF-ON）をタップすると、再度タップするまでピントを合わせ続けます。

複数のリモートカメラで撮影する

一覧画面の右端にある （レリーズボタン）をタップすると、接続スイッチが （オン）のリモートカメラに対してレリーズを行います。

- （AF-ON）の長押しによりすべてのリモートカメラのピント合わせを行います。
- 撮影中はリモートカメラ情報の枠が緑色になります。
- カード記録中はカードアクセスアイコン（📖 175）が点灯します。
- 画像の FTP 送信中は FTP （FTP）が点滅します。
- 選択したリモートカメラのみレリーズを行うこともできます（📖 239）。

特定のカメラをレリーズから外す場合

各リモートカメラ情報の右上にある（接続スイッチ）をタップして、接続を解除してください。

レリーズボタンの動作を設定するには

（オプション）の［**オプション**］にある［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］で、（レリーズボタン）をタップしたときにレリーズの対象となるリモートカメラの種別を設定できます。

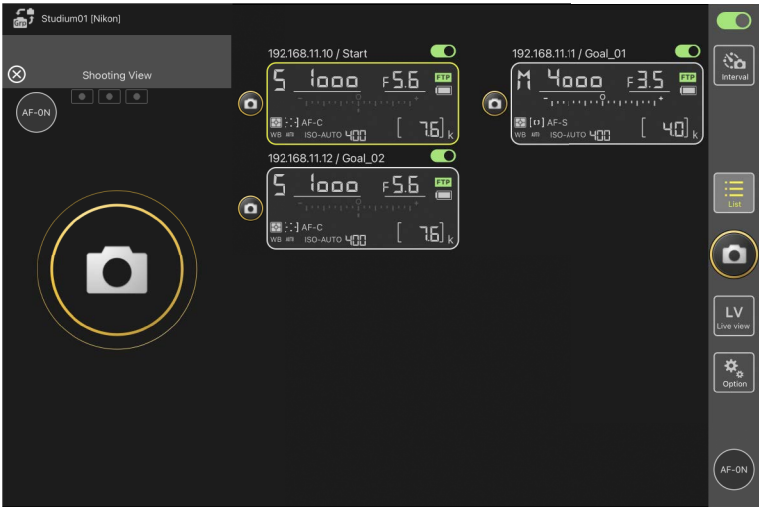
- ［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］が有効になる対象は、同じ表示名に登録されていて、かつ NX Field アプリに接続中のリモートカメラです。

項目	レリーズの対象
［全カメラ］	すべてのリモートカメラ
［選択カメラのみ］	選択中のリモートカメラ
［選択カメラ以外の全カメラ］	選択中のリモートカメラ以外のすべてのリモートカメラ
［グループレリーズ］	選択中のリモートカメラおよび同じ撮影グループに割り当てられているすべてのリモートカメラ

レリーズボタンを拡大表示したいときは

リモートカメラ情報を長押しすると表示されるサブメニューから［**カメラ制御**］を選び、カメラ制御画面上の（レリーズボタン）を上方向にスワイプすると、全画面レリーズモードになります。（レリーズボタン）が拡大表示され、画面を見なくてもタップしやすくなります。

Staduim01 [Nikon]
<< Close
LV
AF-ON
カメラ制御
168.11.10 / Start
168.11.12 / Goal_02
192.168.11.1 / Goal_01
Interval
List
LV
Live view
Option
AF-ON


Studium01 [Nikon]
Shooting View
AF-ON
192.168.11.10 / Start
192.168.11.12 / Goal_02
192.168.11.1 / Goal_01
Interval
List
LV
Live view
Option
AF-ON

- （AF-ON）をタップすると接続しているすべてのリモートカメラでピント合わせを開始し、再度タップすると停止します。
- カメラ制御画面上をタップすると接続しているすべてのリモートカメラのシャッターがきれます。
- ［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］が［**グループレリーズ**］に設定されている場合、（レリーズボタン）をタップすると同じ撮影グループのリモートカメラが連動レリーズされます（📖 239）。
- 画面左上の をタップすると一覧画面に戻ります。

1 台のリモートカメラで撮影する

特定のリモートカメラのみレリーズを行う場合は、一覧画面でレリーズしたいカメラの （レリーズボタン）をタップしてください。

- 撮影中はリモートカメラ情報の枠が緑色になります。
- カード記録中はカードアクセスアイコン（📖 175）が点灯します。
- 画像の FTP 送信中は FTP （FTP）が点滅します。

特定のリモートカメラのピントを合わせるには（D6/D5 のみ）

特定のリモートカメラのピントを合わせて撮影できます。

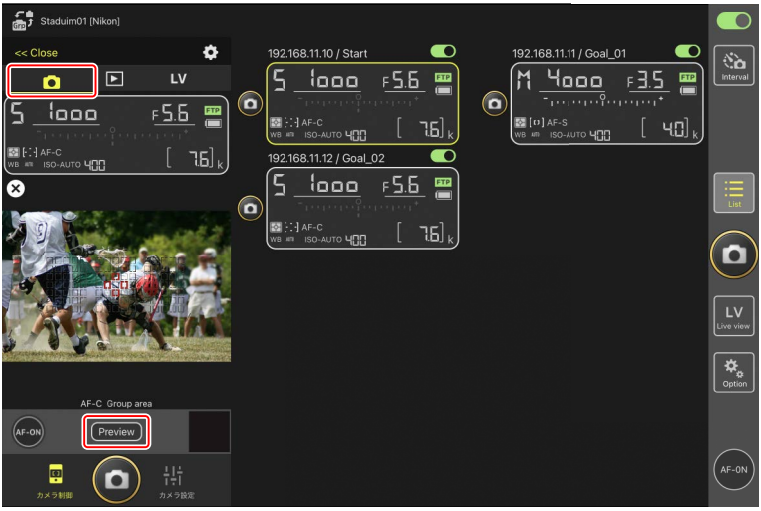
1. 一覧画面で操作したいリモートカメラを長押ししてサブメニューから［カメラ制御］を選ぶ

   選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。

   - タイル表示 / メイン－サブ表示中はライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューを表示できます。

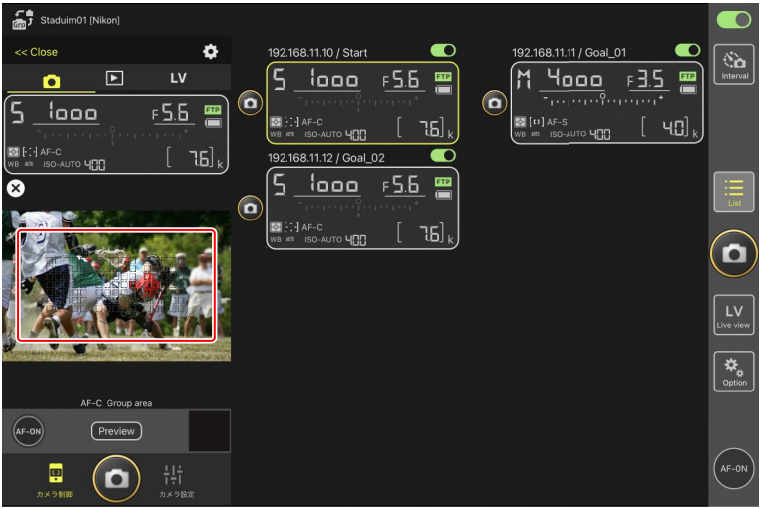
2. （カメラタブ）を選んで Preview （Preview）をタップする

リモートカメラがピント合わせの参考として撮影したプレビュー専用の画像を取得します。ライブビューではないため、被写体が移動した場合は再度 Preview （Preview）をタップしてください。



3. ピントを合わせたい位置をタップする

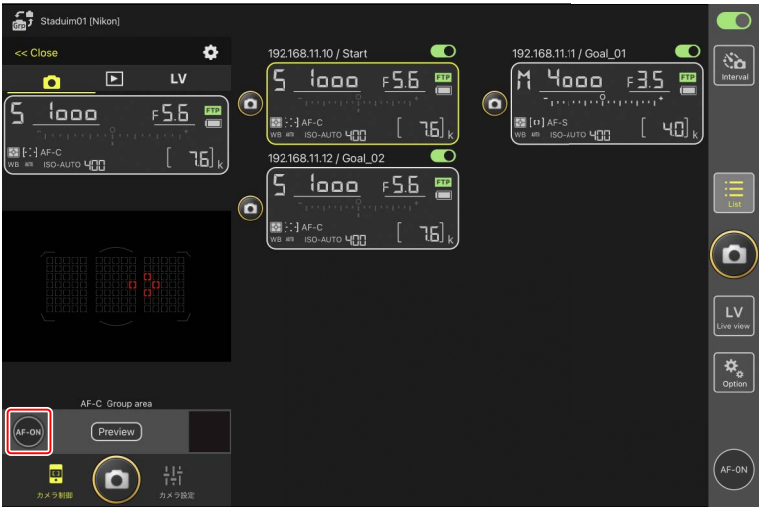
フォーカスポイントが移動します。



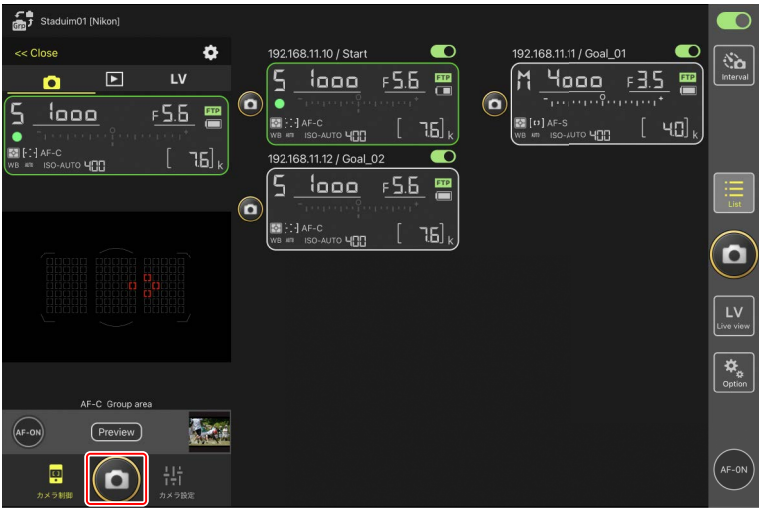
4. AF-ON（AF-ON）を長押ししてピントを合わせる

選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。

- AF-ON（AF-ON）をタップすると、プレビュー画面の表示が消えます。ピントの状態を確認するには再度 Preview（Preview）をタップして、画像を取得してください。



5. （レリーズボタン）をタップして撮影する



ライブビューで静止画を撮影する

ライブビューで静止画を撮影する方法には、一覧画面でリモートカメラを選んで表示する［**カメラ制御**］のライブビューと、LV（ライブビューボタン）で表示するライブビューがあります。

ライブビューで静止画を撮影するときのご注意

- ライブビュー撮影で連写した直後にリスト表示に切り換えると、レリーズボタンの動作に遅延が発生することがあります。
- Z9/Z8/Z6III をお使いの場合、静止画 / 動画セレクターを 📷 に合わせてください。🎥 に合わせていると静止画の撮影ができません。

（AF-ON）の動作設定について

（オプション）>［**オプション**］の［**AF-On ボタン設定**］で（AF-ON）の動作を切り換えられます。

- ［**プッシュ方式**］：（AF-ON）を押している間、ピント合わせを行います。
- ［**トグル方式**］：（AF-ON）をタップすると、再度タップするまでピントを合わせ続けます。

1 台のリモートカメラのライブビューを見ながら AF 撮影する

1 台のリモートカメラを選んで、ライブビューを見ながら AF 撮影できます。

1. 操作したいリモートカメラのリモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］を選ぶ

選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。

- タイル表示 / メイン－サブ表示中はライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューを表示できます。

2. LV（LV タブ）をタップする

リモートカメラのライブビューが表示されます。

- パワーズームレンズを装着したリモートカメラの場合、ズーミングの操作を行うことができます（📖 215）。

3. ピントを合わせたい位置をタップする

フォーカスポイントがタップした場所に移動します。

4. （AF-ON）を長押ししてピントを合わせる

- プリキャプチャーの設定を行っている場合は、（AF-ON）を長押ししている間、プリキャプチャーが実行されます。（AF-ON）を押したまま（レリーズボタン）をタップすると、プリキャプチャーが記録されます。（オプション）>［**オプション**］の［**AF-On ボタン設定**］（📖 321）でボタンの動作を変更できます。

（レリーズボタン）による AF 動作について

ライブビュー撮影時に（レリーズボタン）により半押し AF レンズ駆動を行えるかどうかは、カメラの機種により異なります。

- Z9/Z8/Z6III/D6：カメラのカスタムメニュー a6［**半押し AF レンズ駆動**］を［**する**］に設定すると、（レリーズボタン）による AF 動作を行います。
- D5：カメラのカスタムメニュー a8［**半押し AF レンズ駆動**］を［**する**］に設定しても、（レリーズボタン）による AF 動作を行いません。

「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影のプリキャプチャー機能について

カメラのレリーズモードが「ハイスピードフレームキャプチャー +」（C15/C30/C60/C120）に設定されているとき、カスタムメニュー d4［**プリキャプチャー記録設定**］から、シャッターボタンを全押し後にさかのぼって記録する時間や全押し後に撮影する時間を設定できます。レリーズモードおよびプリキャプチャーの設定は、NX Field アプリのカメラ設定画面にある［**Exposure**］タブ（📖 264）からも変更できます。

ピントを手動で調整するには

カメラのフォーカスモードが AF のときにレンズの切り換えスイッチを M/A または A/M にすると、［+］［−］でピント位置を手動調節できます。タップ 1 回での調整量は、⚙（カメラ制御オプション）の［**MF 駆動量**］で設定できます。

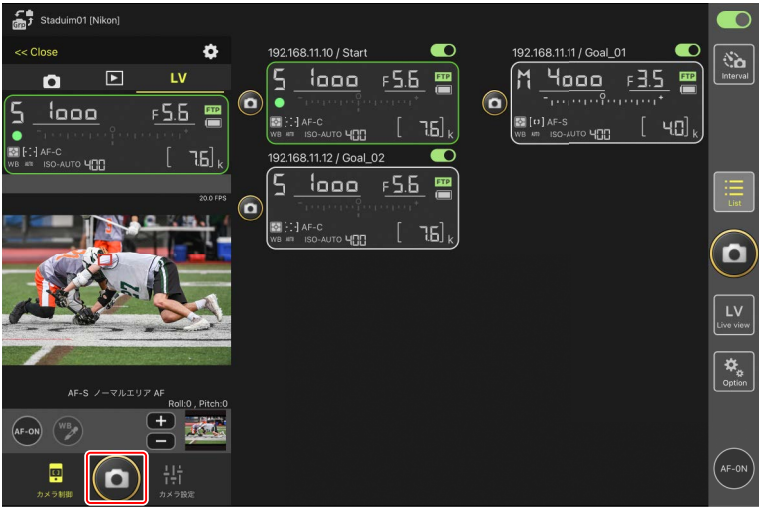
AF-ON が操作できないときは（D5 のみ）

［**LV - AF モード**］を［**AF-F**］に設定しているリモートカメラは、AF-ON（AF-ON）を操作できません。⚙（カメラ制御オプション）の［**LV - AF モード**］を［**AF-S**］に変更してください（📖 261）。

置きピンで撮影したい場合は

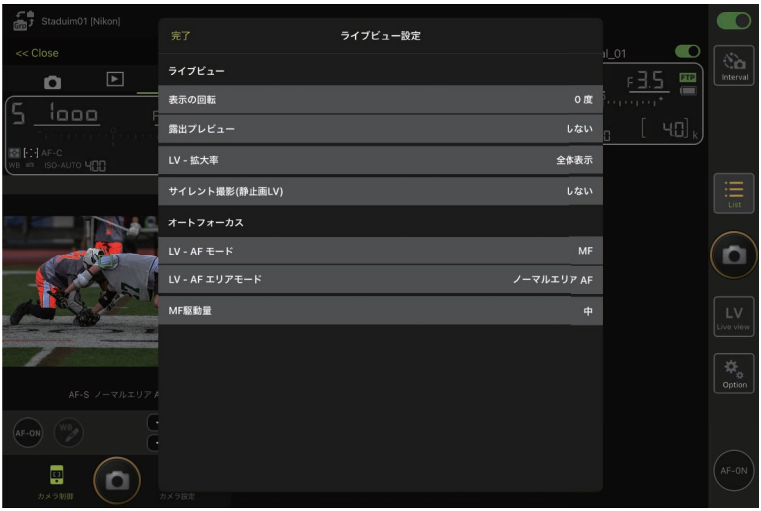
置きピンで撮影したい場合は、カメラ側を MF に設定してください。置きピンに設定すると、NX Field アプリからは AF 動作およびピント位置の手動調節ができません。

5. （レリーズボタン）をタップして撮影する



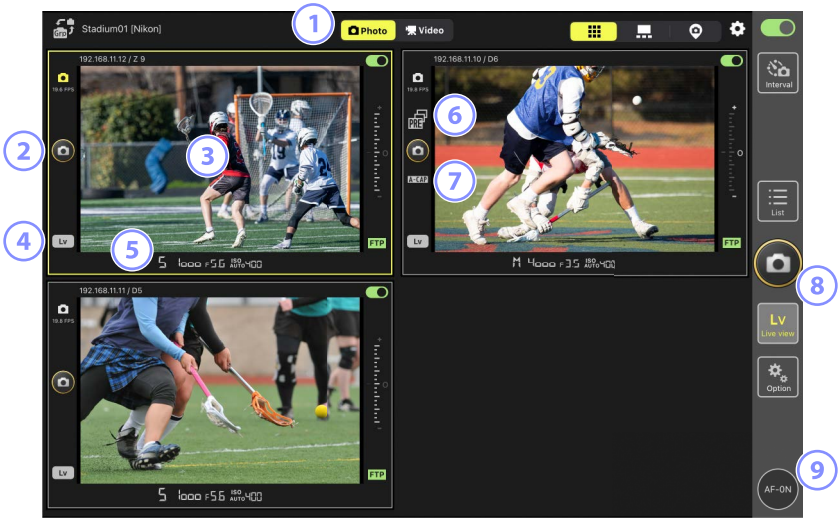
カメラ側のライブビュー設定について

カメラ制御画面で LV （LV タブ）を選んで ⚙ （カメラ制御オプション）をタップすると、露出プレビューやフォーカスモードなど、カメラ側のライブビュー設定を変更できます。



LV（ライブビューボタン）からライブビューをタイル表示して静止画を撮影する

LV（ライブビューボタン）をタップして ▦（タイル表示タブ）を選ぶと、接続スイッチが ◉（オン）のリモートカメラのライブビューが均等な大きさで表示されます。



① 撮影のモードを静止画または動画に切り換えます。

② 各ライブビューの左にある 📷（レリーズボタン）で、1 台のカメラに対してレリーズを行います。

③ ライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］（📖 261）や［**カメラ設定**］（📖 269）の画面を開くことができます。

④ 各ライブビュー左下の Lv（Lv）をタップすると、タップしたカメラのみライブビューを中断します。

⑤ 各ライブビュー下部のリモートカメラ情報をスワイプすると、撮影メニューを切り換えられます（📖 277）。

⑥ NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 208）。

⑦ NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 246）。

⑧ 画面右の （レリーズボタン）で、すべてのカメラに対してレリーズを行います。

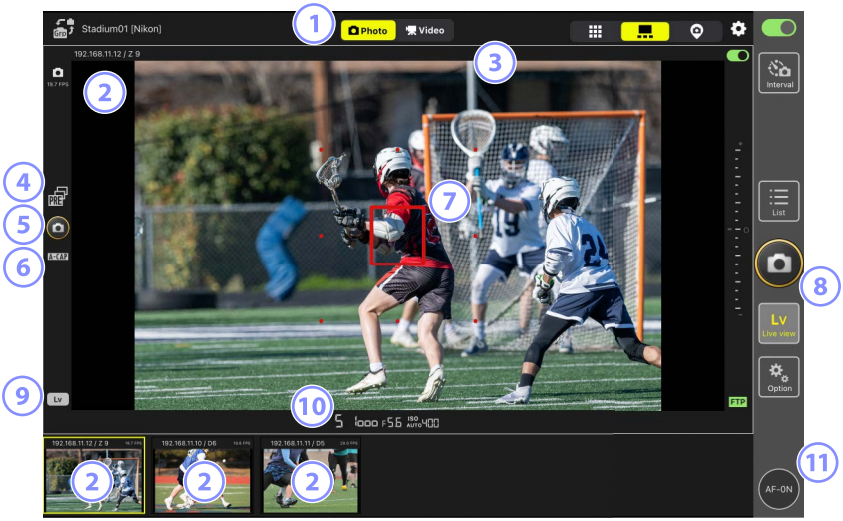
⑨ （AF-ON）を長押しすると、すべてのリモートカメラがピント合わせを行います。

フォーカスポイントの移動を行うときは

フォーカスポイントの移動を行うときは、メインーサブ表示またはカメラ制御画面の LV （LV タブ）に切り換えてください。

LV（ライブビューボタン）からライブビューをメイン－サブ表示して静止画を撮影する

LV（ライブビューボタン）をタップして（メイン－サブ表示タブ）を選ぶと、接続スイッチが（オン）のリモートカメラのライブビューが表示されます。メインに選んだライブビューが大きく表示され、その他はサブとして小さく表示されます。



① 撮影のモードを静止画または動画に切り換えます。

② サブ表示されているライブビューをタップすると、メイン表示が入れ替わります。ライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］（📖 261）や［**カメラ設定**］（📖 269）の画面を開くことができます。

③ IPTC プリセットを選択および編集できます（📖 219）。

④ NX Field アプリからプリキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 208）。

⑤ 画面左の（レリーズボタン）で、大きく表示したカメラに対してレリーズを行います。

⑥ NX Field アプリからオートキャプチャーを実行しているときに表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）（📖 246）。

⑦ メイン表示にフォーカスポイントが表示されます。ピントを合わせたい位置をタップすると、フォーカスポイントが移動します。ピント合わせの詳細は、1 台のリモートカメラのライブビューを見ながら AF 撮影する（📖 204）を参照してください。

⑧ 画面右の（レリーズボタン）で、設定したカメラ（📖 231）のみレリーズを行います。

⑨ 画面左下の Lv（Lv）をタップすると、メイン表示中のカメラのみライブビューを中断します。

⑩ 各ライブビュー下部のリモートカメラ情報をスワイプすると、撮影メニューを切り換えられます（📖 277）。

⑪ AF-ON（AF-ON）を長押しすると、小さく表示したリモートカメラも含めて、すべてのリモートカメラがピント合わせを行います。

パワーズームレンズのズーミング操作について

パワーズームレンズを装着したリモートカメラの場合、NX Field アプリでズーミングの操作を行うことができます。

☑対応カメラ

この機能は次のカメラで使用できます。

- Z9（ファームウェアバージョン C:5.10 以降）
- Z8（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）
- Z6III（ファームウェアバージョン C:1.10 以降）

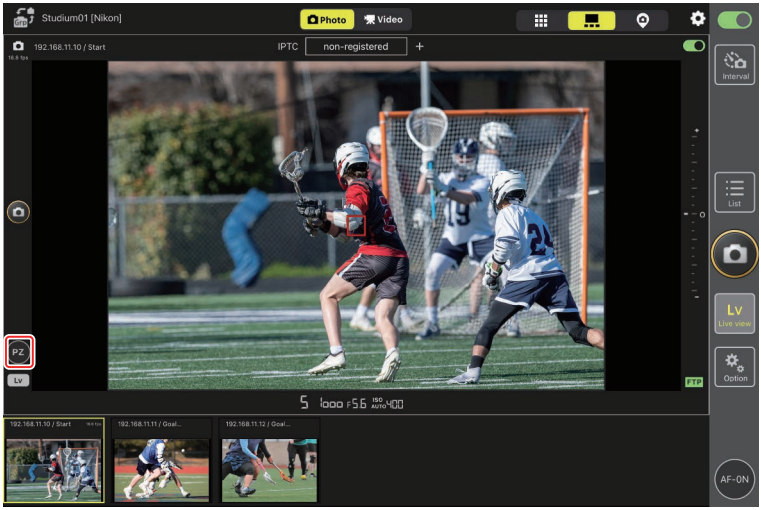
1. ライブビュー画面で PZ（パワーズームボタン）をタップする

ツールエリアが表示されます。

- PZ（パワーズームボタン）は、カメラ制御画面の LV（LV タブ）またはライブビューの ▬（メイン－サブ表示タブ）に表示されます。

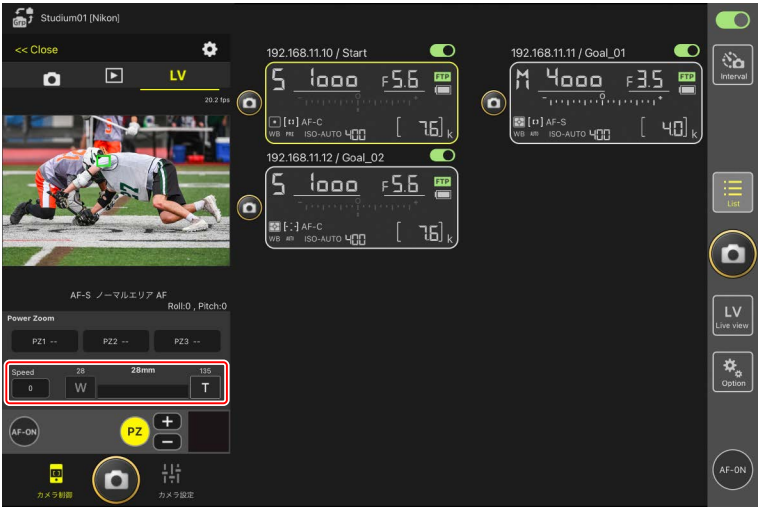
– カメラ制御画面の LV（LV タブ）

– ライブビューの （メイン－サブ表示タブ）



2. W/T をタップしてズーミングを行う

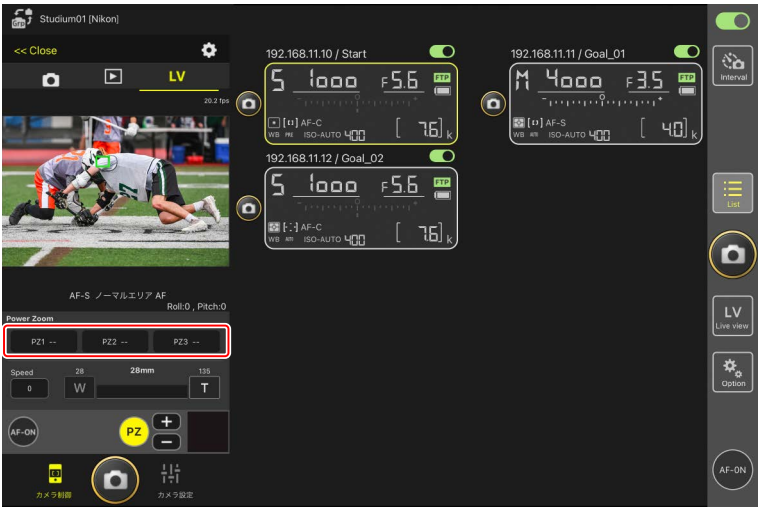
- **W** をタップすると広角側に、**T** をタップすると望遠側にズーミングします。
- ［**Speed**］の数値をタップすると、サブメニューからズーミングの速度を選択できます。
- PZ（パワーズームボタン）を再度タップするとツールエリアを閉じます。



ズーム位置の登録について

［**PZ1**］～［**PZ3**］のいずれかを長押ししてサブメニューから［**ズーム位置追加**］を選ぶと、現在のズーム位置をプリセットとして登録できます（APS-C サイズ /DX フォーマット用の NIKKOR Z レンズを除く）。

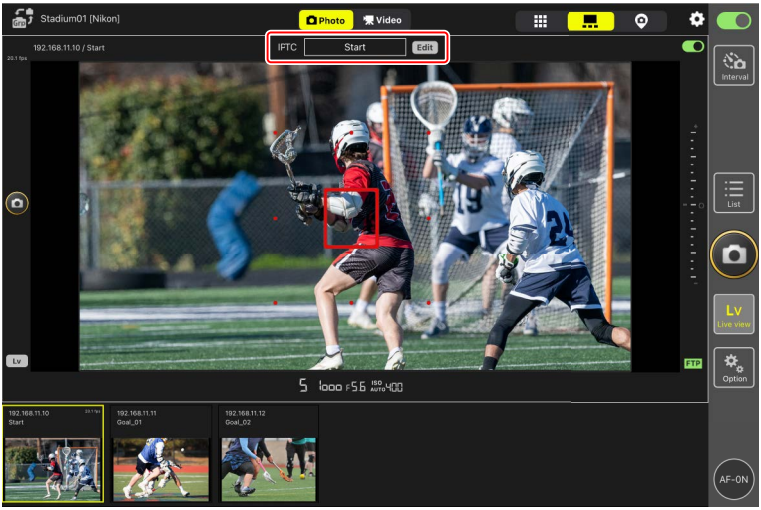
- プリセットを呼び出すときは、対象のプリセットをタップします。
- プリセットを削除するときは、対象のプリセットを長押ししてサブメニューから［**ズーム位置クリア**］を選びます。
- プリセット登録時と異なるパワーズームレンズを装着するとプリセットがすべて初期化されます。



ライブビュー撮影した画像にプリセットの IPTC を自動で付与する（Z9/Z8/Z6III/D6/D5 のみ）

静止画ライブビューのメインーサブ表示中に IPTC プリセットの変更および編集ができます。

- IPTC プリセット名（未選択の場合は［**設定なし**］）をタップすると、IPTC プリセットを選択できます。選んだ IPTC のプリセットが、メイン表示で撮影した画像に付与されます。
- Edit （Edit ボタン）をタップすると、選択した IPTC プリセットの編集画面が表示されます。IPTC の各項目を編集できます。



NX Field アプリで IPTC プリセットを新規作成するときは

カメラ設定画面の［**Info**］タブ（📖 275）にある［**IPTC 設定**］の［**編集**］から IPTC プリセットを新規作成できます。

ライブビューで動画を撮影する

ライブビューで動画を撮影する方法には、タイル表示とメインーサブ表示があります。

動画撮影時のご注意

- Video（Video タブ）の選択中は、カメラ制御画面（📖 182）の ▶（再生タブ）の機能を使用できません。
- 4GB 以上の動画ファイルは FTP 送信できません。

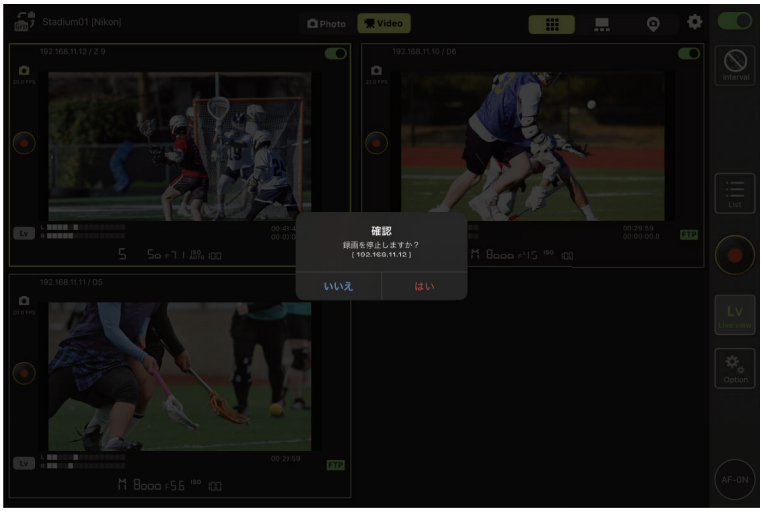
（AF-ON）の動作設定について

（オプション）> [**オプション**] の [**AF-On ボタン設定**] で （AF-ON）の動作を切り換えられます。

- [**プッシュ方式**]： （AF-ON）を押している間、ピント合わせを行います。
- [**トグル方式**]： （AF-ON）をタップすると、再度タップするまでピントを合わせ続けます。

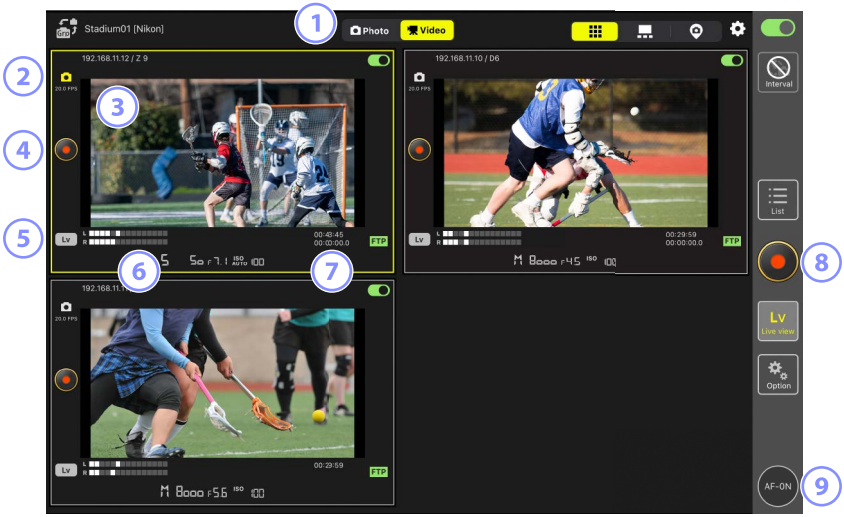
動画撮影の終了を確認するダイアログについて

動画撮影の停止ボタンをタップしたときに、確認ダイアログを表示させることができます。ダイアログで［**はい**］を選ぶと、動画撮影を終了します。設定は（オプション）>［**オプション**］の［**録画設定**］で行えます。



タイル表示で動画を撮影する

（ライブビューボタン）をタップして （タイル表示タブ）を選ぶと、接続スイッチが （オン）のリモートカメラのライブビューが均等な大きさで表示されます。 Video （Video タブ）をタップすると、撮影のモードが動画に切り換わります。



① 撮影のモードを静止画または動画に切り換えます。

② ライブビューのフレームレート（📖 231）が表示されます。

③ ライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］（📖 261）や［**カメラ設定**］（📖 269）の画面を開くことができます。

④ 各ライブビューの左にある （動画撮影ボタン）で、1 台のカメラに対して動画撮影を行います。

⑤ 各ライブビュー左下の Lv （Lv）をタップすると、タップしたカメラのみライブビューを中断します。

⑥ 音声レベルインジケーターが表示されます。

⑦ 上段に記録時間、下段にタイムコードが表示されます。

⑧ 画面右の （動画撮影ボタン）で、すべてのカメラに対して動画撮影を行います。

⑨ （AF-ON）を長押しすると、すべてのリモートカメラがピント合わせを行います。

フォーカスポイントの移動を行うときは

フォーカスポイントの移動を行うときは、メインーサブ表示またはカメラ制御画面の LV （LV タブ）に切り換えてください。

メインーサブ表示で動画を撮影する

（ライブビューボタン）をタップして（メインーサブ表示タブ）を選ぶと、接続スイッチが（オン）のリモートカメラのライブビューが表示されます。メインに選んだライブビューが大きく表示され、その他はサブとして小さく表示されます。 Video（Video タブ）をタップすると、撮影のモードが動画に切り換わります。

① 撮影のモードを静止画または動画に切り換えます。

② ライブビューのフレームレート（📖 231）が表示されます。

③ サブ表示されているライブビューをタップすると、メイン表示が入れ替わります。ライブビュー画面部分を長押ししてサブメニューから［**カメラ制御**］（📖 261）や［**カメラ設定**］（📖 269）の画面を開くことができます。

④ メイン表示にフォーカスポイントが表示されます。ピントを合わせたい位置をタップすると、フォーカスポイントが移動します。ピント合わせの詳細は、1 台のリモートカメラのライブビューを見ながら AF 撮影する（📖 204）を参照してください。

⑤ ライブビューの左にある （動画撮影ボタン）で、大きく表示したカメラに対して動画撮影を行います。

⑥ 画面右の （動画撮影ボタン）で、すべてのカメラに対して動画撮影を行います。

⑦ 画面左下の Lv （Lv）をタップすると、メイン表示中のカメラのみライブビューを中断します。

⑧ 音声レベルインジケーターが表示されます。

⑨ 上段に記録時間、下段にタイムコードが表示されます。

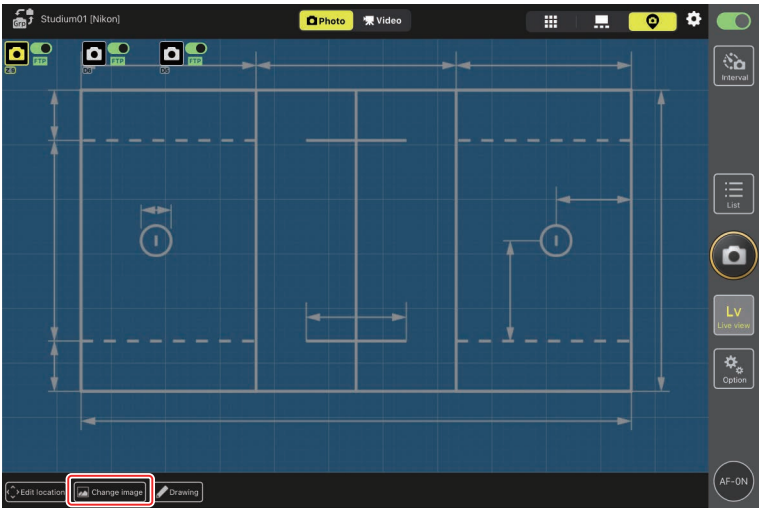
⑩ AF-ON （AF-ON）を長押しすると、小さく表示したリモートカメラも含めて、すべてのリモートカメラがピント合わせを行います。

スキン表示の設定を行う

スキン表示画面（📖 191）から、iPad に保存されている画像をスキン表示画面に設定できます。競技場やコートなどの図面上にリモートカメラのアイコンを配置することにより、どのリモートカメラがどこに設置されているか見分けやすくなります。

スキン表示の背景に使う画像を選ぶ

スキン表示画面で画面左下の［**Change image**］をタップして、iPad に保存されている画像から背景に設定する画像を選ぶと、選んだ画像がスキン表示の背景に設定されます。



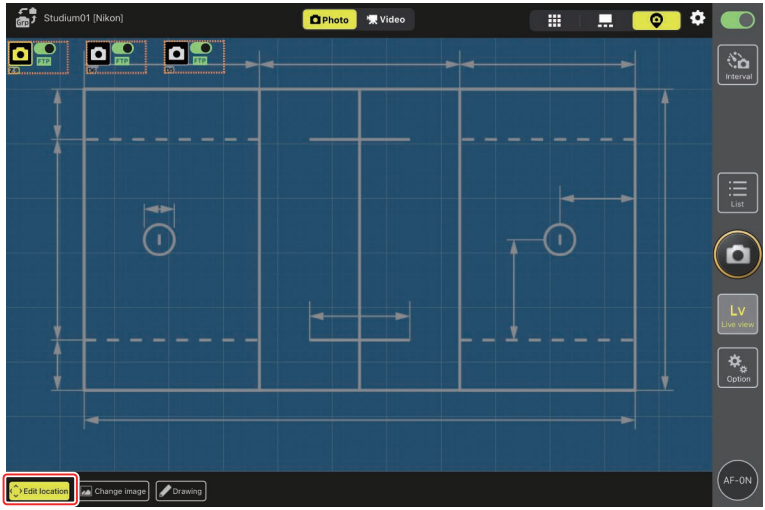
リモートカメラの設置位置を設定する

設定した背景画像の上に、表示名に登録されているリモートカメラのアイコンを配置します。

1. スキン表示画面で［**Edit location**］をタップする

リモートカメラのアイコンがオレンジ色の点線で囲まれ、移動できる状態になります。

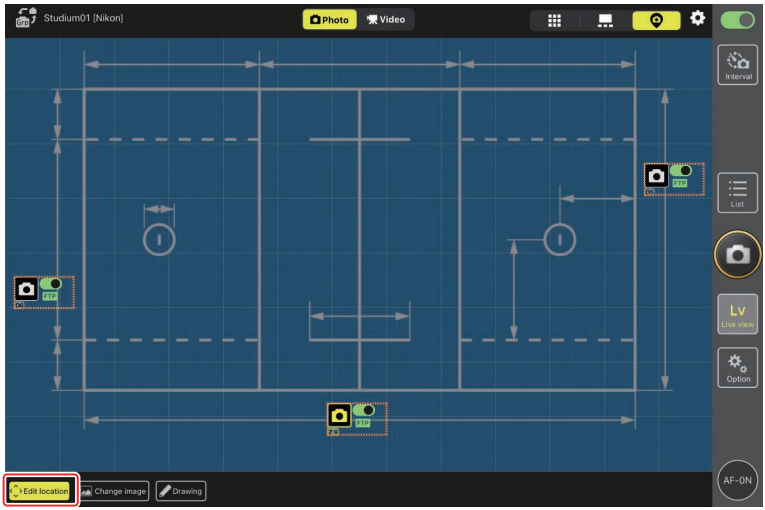
- 選択中のリモートカメラはアイコンが黄色に変わります。



2. すべてのリモートカメラのアイコンを配置して、再度［**Edit location**］をタップする

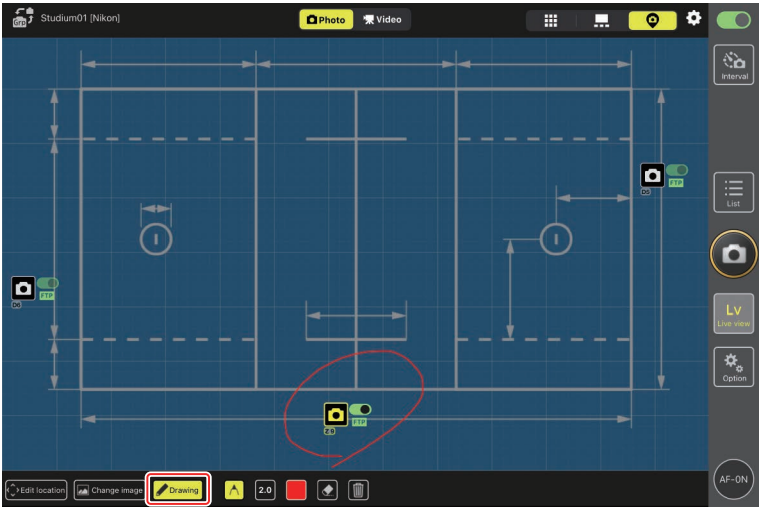
リモートカメラの配置が確定されます。

- リモートカメラのアイコンを長押しすると、サブメニューが表示されます。



手書きでメモを書き込む

スキン表示画面で［**Drawing**］をタップすると、背景画像上に手書きのメモを書き込むことができます。



各ボタンの機能は次の表の通りです。

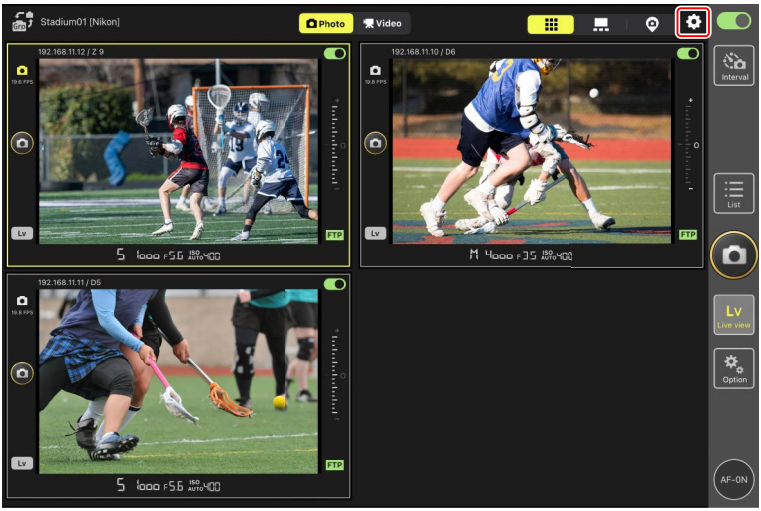
ボタン	説明
	選択すると、手書きのメモを書き込むことができます。
2.0	線の太さを［**1.0**］～［**8.0**］から選べます。
	色を選べます。初期設定は赤です。
	選択すると、メモの一部を消すことができます。
	すべてのメモを削除します。

スキン表示中の撮影について

- スキン表示中は、画面右端の （レリーズボタン）または （動画撮影ボタン）をタップするとすべてのカメラでレリーズまたは動画撮影を行います。
- グループレリーズの設定が有効の場合、リモートカメラのアイコン上にチェックボックスが表示されます（📖 239）。

ライブビューの設定を変更する

⚙（ライブビューオプション）から、ライブビューのフレームレートや、スキン画像の透明度が設定できます。



大項目	小項目	説明
フレームレート設定	Main view のフレームレート	メイン表示のフレームレートを［**1 fps**］～［**30 fps**］の 7 段階から選べます。
	Sub view のフレームレート	サブ表示のフレームレートを［**1 fps**］～［**30 fps**］の 7 段階から選べます。
	タイル表示のフレームレート	タイル表示のフレームレートを［**1 fps**］～［**30 fps**］の 7 段階から選べます。
画像サイズ設定	Main view の画像サイズ	Main view の画像サイズを［**QVGA 相当**］、［**VGA 相当**］、［**XGA 相当**］から選べます。
	Sub view の画像サイズ	Sub view の画像サイズを［**QVGA 相当**］、［**VGA 相当**］、［**XGA 相当**］から選べます。
	タイル表示の画像サイズ	タイル表示の画像サイズを［**QVGA 相当**］、［**VGA 相当**］、［**XGA 相当**］から選べます。

大項目	小項目	説明
画質設定	Main view の画質	Main view の画質を［**BASIC**］～［**FINE ★**］の 6 段階から選べます。
	Sub view の画質	Sub view の画質を［**BASIC**］～［**FINE ★**］の 6 段階から選べます。
	タイル表示の画質	タイル表示の画質を［**BASIC**］～［**FINE ★**］の 6 段階から選べます。
シャッターボタン（マルチカメラ）設定	シャッターボタン	メイン表示の右側にあるボタンをタップしたときにシャッターをきるカメラを［**全カメラ**］、［**選択カメラのみ**］、［**選択カメラ以外の全カメラ**］、［**グループレリーズ**］から選べます。 • （オプション）の［**オプション**］にある［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］と同じ項目です（📖 240）。一方を変更すると、もう一方も連動して変更されます。 • 動画撮影時は使用できません。
フォーカスポイント表示設定（メイン LiveView）	フォーカスポイント表示	フォーカスポイントの赤枠をメイン表示の画面上に表示するかどうかを選べます。赤枠を非表示にしているときも、画面をタップしてフォーカスポイントを移動できます。
スキン画像	不透明度	スキン画像の不透明度を 0% ～ 100% まで 5% 単位で設定できます。

インターバルタイマーを使って撮影する

リモートカメラにインターバルタイマー撮影の指示を行い、設定した撮影間隔と撮影回数で自動的に撮影できます。

インターバルタイマー撮影時のご注意

- リモートカメラのレリーズモードをセルフタイマー撮影および **MUP** 以外に設定してください。
- インターバルタイマー撮影中は一覧画面とライブビューの切り換えや露出設定のコピーなど、一部の機能が使用できません。
- ［**Normal**］または［**Advance**］タブでインターバルタイマー撮影を実行中にカメラ制御画面またはカメラ設定画面を表示すると、インターバルタイマー撮影が一時停止されます。カメラ制御画面またはカメラ設定画面を閉じると、インターバルタイマー撮影が再開されます。一時停止したタイミングにかかわらず、インターバルタイマーは最初からスタートします。

インターバルタイマー撮影時のカメラの設定について

カメラのオートフォーカスの設定がフォーカス優先に設定されている場合、被写体の動きによってはシャッターがきれないことがあります。確実に撮影間隔に合わせて撮影をしたい場合は、カメラのカスタムメニュー a1［**AF-C モード時の優先**］および a2［**AF-S モード時の優先**］を［**レリーズ**］に設定するか、マニュアルフォーカスにすることをおすすめします。

1. （インターバルタイマー撮影ボタン）をタップする

2. インターバルタイマー撮影の設定を行う

NX Field アプリのインターバルタイマー撮影には［**Normal**］/［**Advance**］/［**In camera**］があり、各タブに（Start ボタン）および（Stop ボタン）があります。設定できる項目はタブによって異なり、ひとつのタブで設定した項目は別のタブに影響しません。

撮影間隔の設定について

撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに 1 回の撮影コマ数を掛けた値よりも長い時間を設定してください。長さが不足していると、設定した間隔や回数で撮影できない場合があります。

連写時間について

設定した時間内に撮影できるコマ数は、カメラ側のレリーズモード設定により異なります。

・［**Normal**］
– 撮影間隔（1 秒～ 2 時間）
– 連写時間（なし～ 5000msec）
– 指示対象のリモートカメラ

・［**Advance**］

［**+Add**］をタップすると次の設定ができます。

– 開始 / 終了時刻（時、分）

– インターバルタイマー撮影終了時にリモートカメラの接続を解除する / しない

– 撮影間隔（1 秒～ 2 時間）

– 連写時間（なし～ 5000msec）

– 指示対象のグループ / リモートカメラ

・［**In camera**］
カメラ本体の静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で設定した内容に従ってインターバルタイマー撮影を行います。NX Field ではインターバルタイマー撮影の開始と停止の操作のみを行います。対象のリモートカメラ（Z9/Z8/Z6III のみ）を選択できます。

3. （Start ボタン）をタップする

インターバルタイマー撮影が開始されます。

- 開始時刻を設定している場合は、設定した時刻にインターバルタイマー撮影が開始されます。
- インターバルタイマー撮影を停止するときは （Stop ボタン）をタップしてください。

インターバルタイマー撮影中の手動レリーズについて

インターバルタイマー撮影のインターバル中も、個別のレリーズ操作は有効です。

撮影グループごとにレリーズする

NX Field アプリは表示名に登録されているすべてのリモートカメラに対し、一括してレリーズの操作を行うことができます（📖 59）。表示名ごとに登録されているリモートカメラを、さらに細かく撮影グループに分けることにより、レリーズの対象とするカメラを限定して必要な撮影のみを行うことができます。

- 撮影グループの設定およびグループレリーズを行うときは、事前にグループレリーズの設定を有効にしてください（📖 240）。
- 撮影グループの設定およびグループレリーズの機能は、一覧画面またはライブビュー画面（タイル表示／メイン－サブ表示／スキン表示）で静止画を撮影するときに使用できます。

グループレリーズを有効にする

（オプション）の［**オプション**］にある［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］を［**グループレリーズ**］に設定すると、撮影グループの設定およびグループレリーズを実行できるようになります。

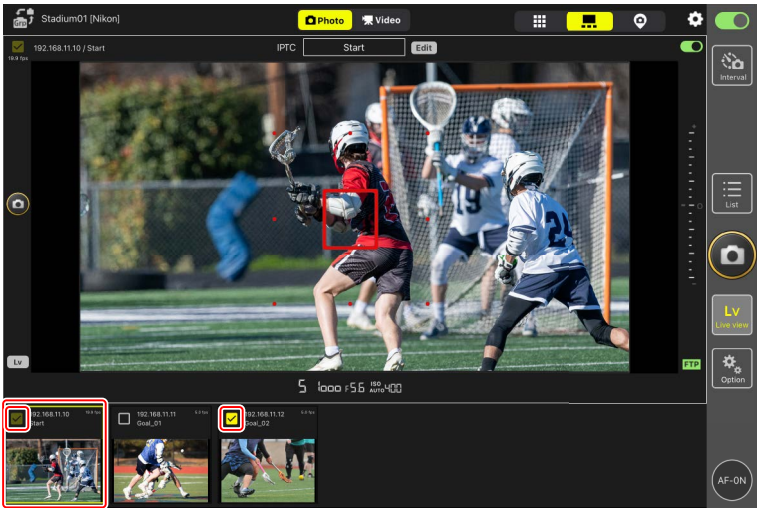
ライブビュー設定の［シャッターボタン（マルチカメラ）設定］について

［**シャッターボタン（マルチカメラ）設定**］は（オプション）の［**オプション**］から設定できるほか、ライブビュー設定からも変更できます。一方を変更すると、もう一方も連動して変更されます。

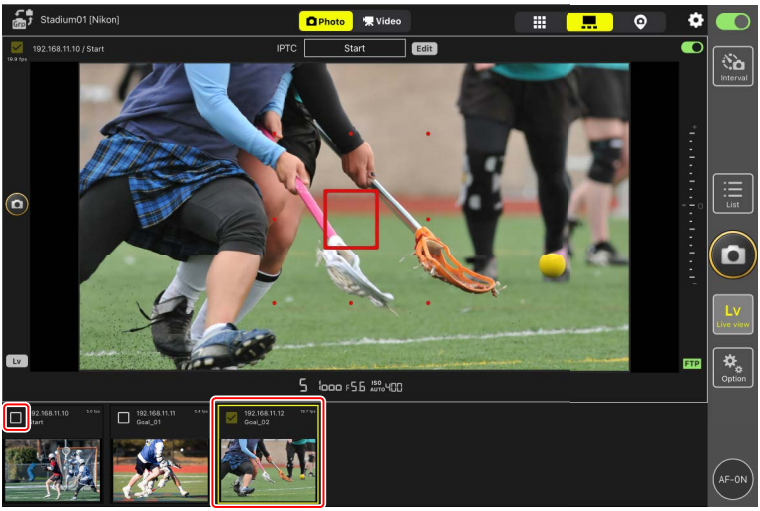
撮影グループを設定する

撮影グループは、グループの「親」となるリモートカメラを選択（メイン表示）した状態で、その「子」として登録するリモートカメラをチェックボックスで選んで設定します。

- 撮影グループの設定内容は自動で保存されます。「親」として設定済みのリモートカメラを選択解除（サブ表示）してから再度選択（メイン表示）すると、「子」として登録したリモートカメラのチェックボックスが自動でオンになります。



・撮影グループ設定は「親」のリモートカメラごとに保存されるため、「子」として登録したリモートカメラを選択（メイン表示）しても、「親」だったリモートカメラのチェックボックスが自動でオンになることはありません。



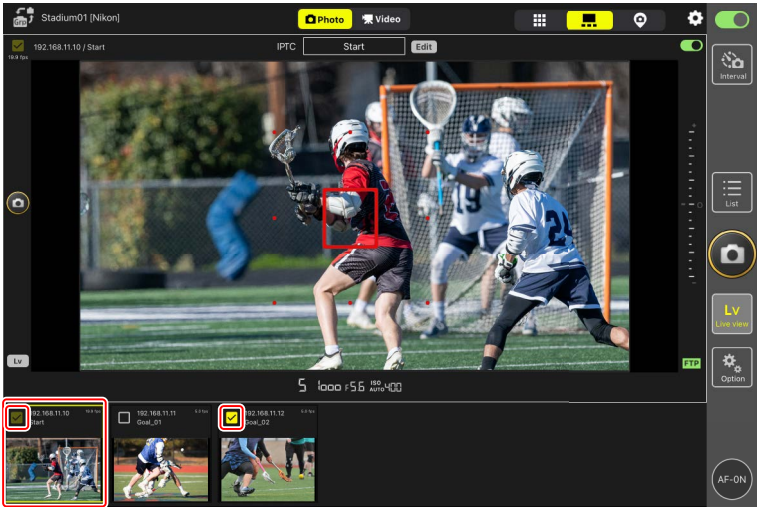
グループレリーズを行う

設定した撮影グループのグループレリーズを行います。

- あらかじめグループレリーズを有効にして、リモートカメラを撮影グループに登録してください（📖 240、241）。

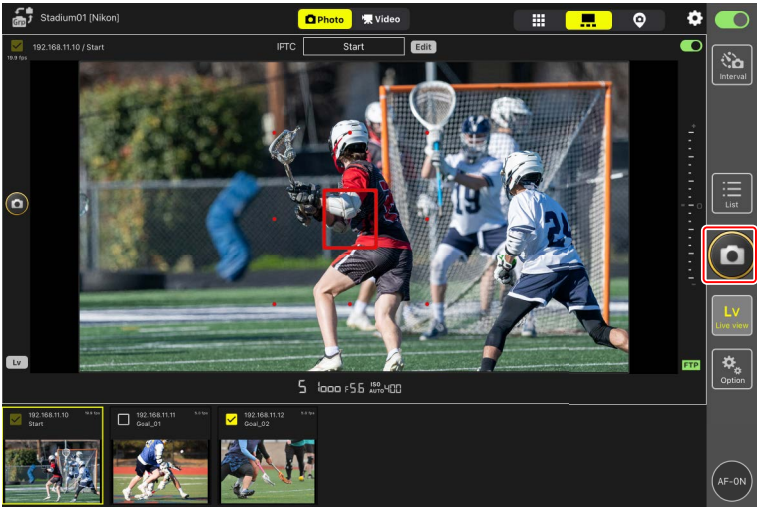
1. 一覧画面またはライブビュー画面（タイル表示／メインーサブ表示／スキン表示）で、撮影グループの「親」として設定したカメラを選択（メイン表示）する

   「親」のリモートカメラおよび「子」として登録したリモートカメラのチェックボックスが自動でオンになり、グループレリーズの対象になります。



2. （レリーズボタン）をタップする

チェックボックスがオンのリモートカメラがレリーズされます。

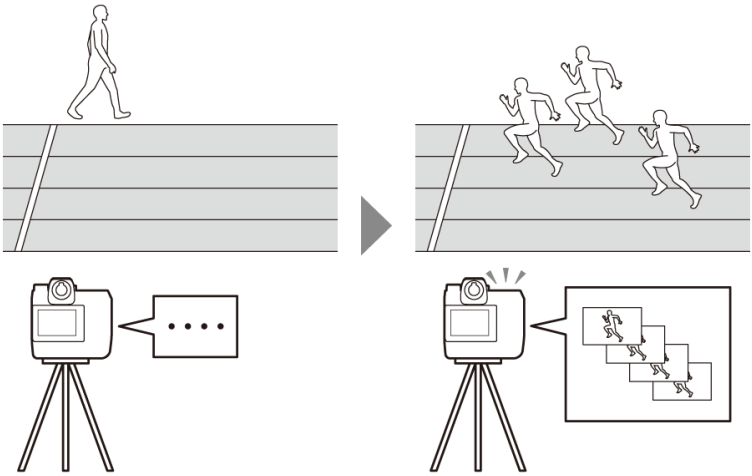


NX Field アプリでオートキャプチャー撮影の操作を行う

NX Field アプリでカメラのオートキャプチャー撮影の設定および開始 / 停止の操作を行うことができます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。

オートキャプチャー撮影とは

オートキャプチャー撮影とは、カメラが被写体を認識すると自動で静止画または動画を撮影する機能です。撮影を行う条件を設定しておくことで、フォトグラファーがカメラを操作しなくても自動で撮影を行う無人撮影が可能です。



- オートキャプチャー撮影の詳細は、『Z9 活用ガイド』のファームウェアバージョン C:5.00 の内容が掲載されている補足説明書を参照してください。

オートキャプチャー設定画面

カメラ制御画面の （カメラタブ）で （A-CAP）をタップすると表示されます（📖 182）。オートキャプチャーの設定、プレビュー、ユーザープリセットの読み込み、撮影開始 / 停止の操作を行うことができます。

① **Close**

カメラ制御画面に戻ります。

- オートキャプチャー設定画面を閉じても実行中のオートキャプチャーは停止されません。オートキャプチャー撮影を停止するときは［**終了**］をタップします。

② **ライブビュー**

オートキャプチャー撮影を開始する前にカメラが想定したとおりに被写体を認識するかどうかを確認できます。設定した条件を満たす被写体をカメラが認識すると、被写体に合わせて緑色の枠が表示されます。

③ **フォーカスポイント / オートキャプチャー検出エリア**

フォーカスポイントが赤色、オートキャプチャーの設定により検出されたエリアが緑色で表示されます。カメラの AF エリアモードの設定が［**オートエリア AF**］以外の場合、タップしてフォーカスポイントを移動できます。

④ **オートキャプチャー状態表示**

オートキャプチャー撮影の実行中に A-CAP（A-CAP）が表示されます。

⑤ **実行 / 終了**

［**実行**］をタップすると、設定した内容でオートキャプチャー撮影を開始します。［**終了**］をタップするとオートキャプチャー撮影を終了します。

☑ 実行ボタンが無効のときは

レンズが装着されていないなどの状態で、カメラがオートキャプチャー撮影を実行できないときは、［**実行**］が無効になります。カメラの設定等をご確認ください。

☑ オートキャプチャー撮影実行中のご注意

- オートキャプチャー撮影の実行中は次の機能が使用できません。
  - インターバルタイマー撮影
  - 動画ライブビュー
- オートキャプチャー撮影中に（オプション）の［**オプション**］にある［**カメラ設定保存**］を実行すると、オートキャプチャー撮影が終了されます。

⑥ **プレビュー**

タップするとフォーカスポイント / オートキャプチャー検出エリア（③）の表示 / 非表示を切り替えられます。

⑦ **ユーザープリセット**

カメラに保存されているオートキャプチャーのユーザープリセットを選んで読み込むことができます。NX Field アプリで変更したオートキャプチャーの設定もユーザープリセットに自動で反映されます。

⑧ **［キャプチャー条件］チェックボックス**

チェックボックスをオンにした項目の設定がオートキャプチャー撮影時に有効になります。

- すべてのチェックボックスをオフにすることはできません。キャプチャー条件を切り換えるときは、先に切り換え先のチェックボックスをオンにしてください。

⑨ **［モーション］**

モーションのスピードおよびサイズが表示されます。タップするとモーション設定画面が表示されます（📖 250）。

⑩ **［被写体検出］**

被写体検出のサイズおよび対象が表示されます。タップすると被写体検出設定画面が表示されます（📖 253）。

⑪ **［距離］**

カメラが被写体を認識する最も近い距離と最も遠い距離が表示されます。タップすると距離設定画面が表示されます（📖 255）。

- NIKKOR Z レンズを装着時に使用できる機能です。NIKKOR Z レンズ以外のレンズを装着している場合、動作しない場合があります。

⑫ **[有効エリアの設定]**

タップすると有効エリア設定画面が表示されます（📖 257）。

- フォーカスモードと AF エリアモードの設定ができます。有効エリア設定画面は、各設定が次のいずれかの組み合わせのときに［**設定**］をタップすると表示されます。
  - フォーカスモードが MF 以外で、AF エリアモードが［**オートエリア AF**］
  - フォーカスモードが MF で、キャプチャー条件［**距離**］のチェックボックスがオフ

⑬ **[撮影時間設定]**

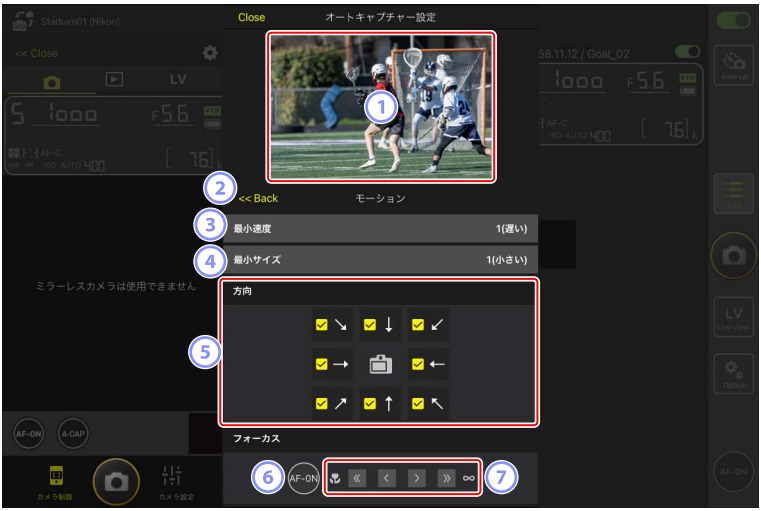
連続撮影する時間、および撮影を実行してから次の撮影を実行するまでの間隔を設定できます（📖 259）。

キャプチャー条件を設定する

オートキャプチャー撮影を行う条件を設定します。設定できる条件には［**モーション**］、［**距離**］、［**被写体検出**］があります。条件を複数選択すると、すべての条件を満たした場合のみ撮影します。

［キャプチャー条件］：［モーション］

オートキャプチャー設定画面で［**モーション**］をタップするとモーション設定画面が表示されます。撮影対象とする被写体の移動方向、スピード、サイズを設定できます。



① **ライブビュー**

設定したモーションの条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

- 被写体が画角に入ってくると想定される位置をタップして、優先的にピントを合わせるポイントを設定できます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[最小速度]**

被写体が画角内の左端から右端までを横断する速さに応じて値を設定します。目安となる秒数は次の通りです。

- [**1（遅い）**]：約 5 秒以下
- [**2**]：約 4 秒以下
- [**3**]：約 3 秒以下
- [**4**]：約 2 秒以下
- [**5（速い）**]：約 1 秒以下

④ **[最小サイズ]**

撮影対象とする被写体のサイズを設定します。オートキャプチャー検出エリアの大きさ（ライブビューに表示される緑色のポイントの数）を目安に、次の 5 段階から選びます。

- [**1（小さい）**]：4 個分以上
- [**2**]：8 個分以上
- [**3**]：14 個分以上
- [**4**]：24 個分以上
- [**5（大きい）**]：34 個分以上

[モーション] と [被写体検出] のサイズ設定について

オートキャプチャー設定画面の［**キャプチャー条件**］チェックボックスで［**モーション**］と［**被写体検出**］の両方をオンにしている場合、モーション設定画面で設定する［**最小サイズ**］と、被写体検出設定画面で設定する［**最小サイズ**］はそれぞれ個別の設定です。モーション設定画面で［**最小サイズ**］を設定を変更しても、被写体検出での［**最小サイズ**］には影響ありません。それぞれの設定に従って被写体を判別し、両方の条件を満たした場合に撮影されます。

⑤ **[方向]**

被写体がどの方向に移動したら撮影対象とするかをチェックボックスで選びます。複数選択することもできます。中央のカメラアイコンをタップすると、すべてのチェックボックスがオンになります。

⑥ **AF-ON**

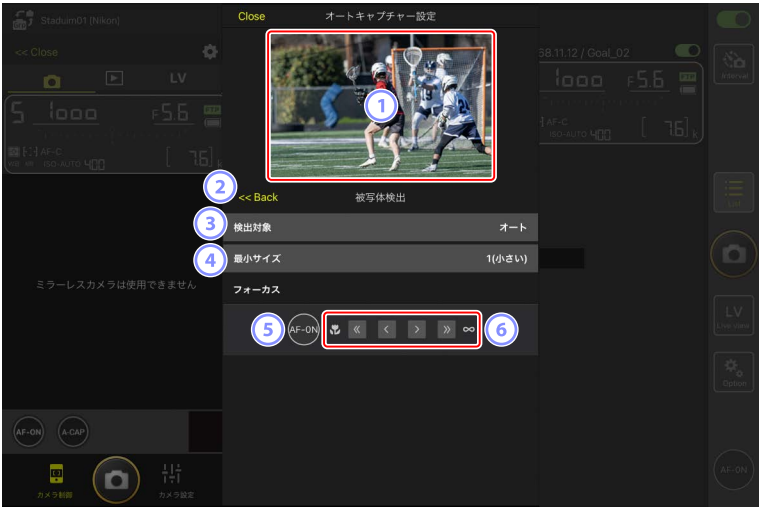
長押ししている間、フォーカスポイントを設定した位置でオートフォーカスを実行します。

⑦ **マニュアルフォーカス**

<<または>>をタップすると、一定のステップ幅で至近側または無限遠側にピント位置を移動できます。より細かいステップ幅で調整するときは<または>をタップしてください。

［キャプチャー条件］：［被写体検出］

オートキャプチャー設定画面で［**被写体検出**］をタップすると被写体検出設定画面が表示されます。撮影対象とする被写体のサイズと種類（動物や乗り物など）を設定できます。



① **ライブビュー**

設定した被写体検出の条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

- 被写体が画角に入ってくると想定される位置をタップして、優先的にピントを合わせるポイントを設定できます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **［検出対象］**

被写体の種類を［**オート**］、［**人物**］、［**動物**］、［**乗り物**］、［**飛行機**］から選んで設定します。

④ **[最小サイズ]**

被写体のサイズを、画角に対する割合で設定します。目安となる割合は次の通りです。

- [**1（小さい）**]：2.5% 以上
- [**2**]：5% 以上
- [**3**]：10% 以上
- [**4**]：15% 以上
- [**5（大きい）**]：20% 以上

☑ [モーション] と [被写体検出] のサイズ設定について

オートキャプチャー設定画面の［**キャプチャー条件**］チェックボックスで［**モーション**］と［**被写体検出**］の両方をオンにしている場合、モーション設定画面で設定する［**最小サイズ**］と、被写体検出設定画面で設定する［**最小サイズ**］はそれぞれ個別の設定です。モーション設定画面で［**最小サイズ**］を設定を変更しても、被写体検出での［**最小サイズ**］には影響ありません。それぞれの設定に従って被写体を判別し、両方の条件を満たした場合に撮影されます。

⑤ **AF-ON**

長押ししている間、フォーカスポイントを設定した位置でオートフォーカスを実行します。

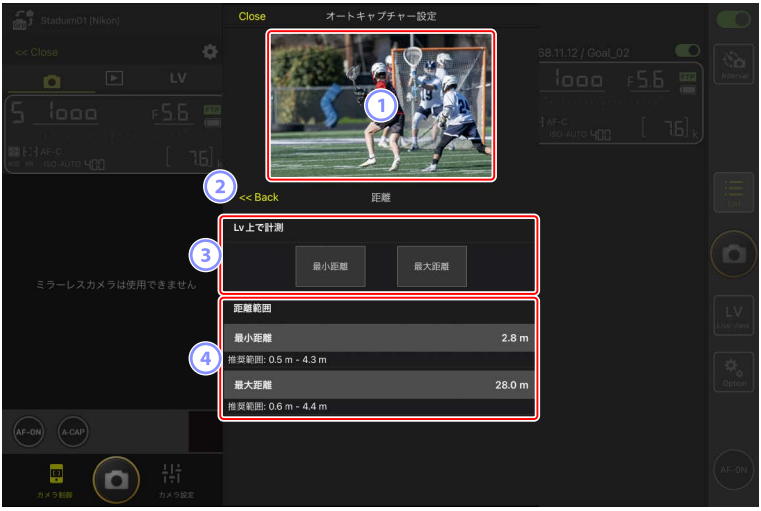
⑥ **マニュアルフォーカス**

<<または>>をタップすると、一定のステップ幅で至近側または無限遠側にピント位置を移動できます。より細かいステップ幅で調整するときは<または>をタップしてください。

［キャプチャー条件］：［距離］

オートキャプチャー設定画面で［**距離**］ボタンをタップすると距離設定画面が表示されます。カメラが被写体を認識する最も近い距離と最も遠い距離を設定できます。

- NIKKOR Z レンズを装着時に使用できる機能です。NIKKOR Z レンズ以外のレンズを装着している場合、動作しない場合があります。
- 最小距離を最大距離よりも大きく設定することはできません。



① **ライブビュー**

設定した距離の条件でカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **［Lv 上で計測］**

ボタンをタップするとライブビューのタップによる最小または最大距離の変更が有効になります。変更中に［**終了**］をタップすると、ライブビューのタップによる変更の操作を終了します。

- フォーカスモードが MF のときは使用できません。

④ **［距離範囲］**

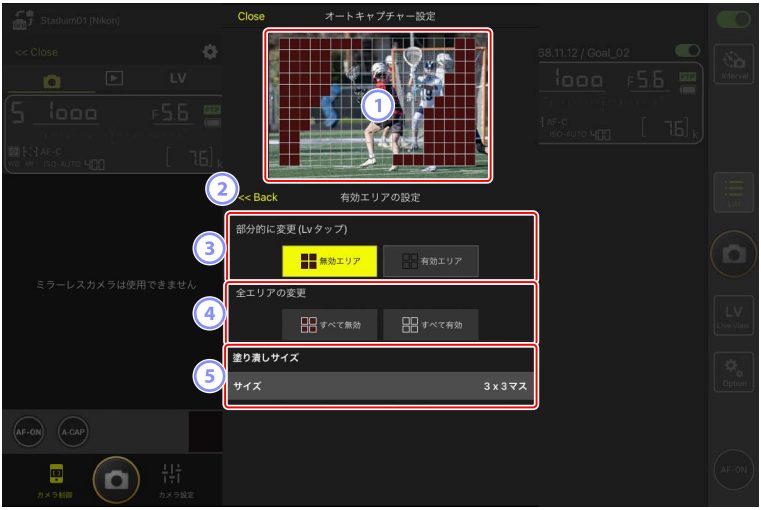
タップして最小距離と最大距離を選択できます。

- 距離の範囲に応じた設定単位は次の通りです。
  - 20m 未満：0.1m
  - 20 ～ 50m：1.0m
  - 50m を超えるとき：5.0m
- 距離の値は［**推奨範囲**］の範囲内に設定してください。範囲外に設定すると、被写体までの距離を認識する精度が低下します。

有効エリアを設定する

オートキャプチャー設定画面で［**有効エリアの設定**］にある［**設定**］をタップすると、有効エリア設定画面が表示されます。画角内にある障害物など、被写体判別を行う必要がない部分を無効にしておくことでより正確に被写体を捉えられます。

- 各設定が次のいずれかの組み合わせのときに使用できます。
  - フォーカスモードが MF 以外で、AF エリアモードが［**オートエリア AF**］
  - フォーカスモードが MF で、キャプチャー条件［**距離**］のチェックボックスがオフ



① **ライブビュー**

設定した有効エリアでカメラが被写体を認識するかどうかをプレビューできます。

② **Back**

設定を保存して前の画面に戻ります。

③ **[部分的に変更（Lv タップ）]**

［**無効エリア選択**］または［**有効エリア選択**］ボタンをタップすると、ライブビュー上で有効 / 無効にしたいポイントをタップして選べるようになります。連続するポイントをドラッグでまとめて選択することもできます。

④ **[全エリアの変更]**

被写体を判別するエリアの有効 / 無効を一括で設定できます。

> **有効エリアの設定方法について**
>
> 無効なエリアの方が大きい場合は［**すべて無効**］、有効なエリアの方が大きい場合は［**すべて有効**］を選んでから［**部分的に変更（LV タップ）**］を行うことにより、素早く有効エリアを設定できます。

⑤ **[塗りつぶしサイズ]**

1 回のタップで選択されるエリアのサイズを設定できます。

撮影時間を設定する

オートキャプチャー設定画面で、被写体を認識してから撮影を継続する時間、および撮影後の待機時間を設定できます。

- ［**撮影時間の指定**］
  1 回の撮影時間を 1 秒～ 30 分または［**OFF**］から選べます。［**OFF**］以外に設定すると、撮影開始後に被写体が認識されなくなっても、設定した時間分の撮影を行います。［**OFF**］に設定すると、被写体を認識している間のみ撮影を行います。
  – カメラの設定によっては、設定した時間分の撮影ができない場合があります。
- ［**撮影後の待機時間**］
  1 回の撮影後の最低待機時間を 0 秒～ 30 分から選べます。前回の撮影終了後、設定した時間内に被写体が認識されても、設定した時間が経過するまでは撮影を開始しません。

NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する

NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する画面には、主にフォーカス関連の設定を行う画面、露出関連の設定を行う画面、およびその他全般のリモートカメラ設定を行う画面があります。設定できる項目はお使いの機種により異なります。

フォーカス関連の設定を行う

NX Field アプリから各リモートカメラのフォーカスモードや AF エリアモードなどを設定できます。

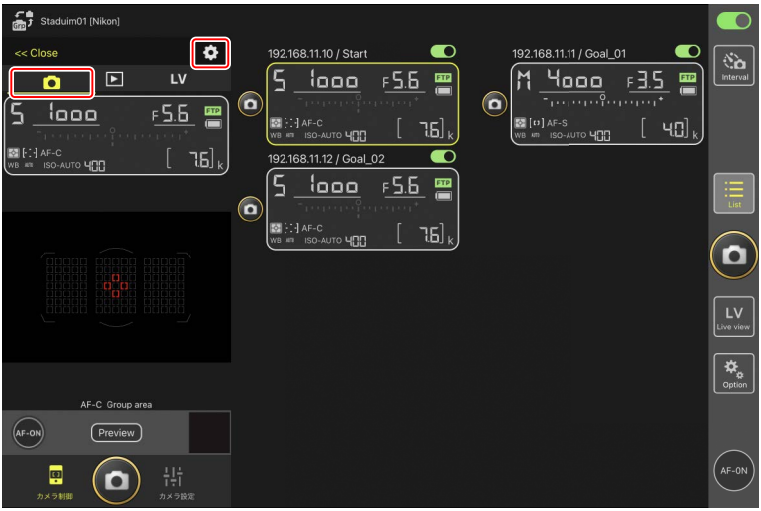
1. 操作したいリモートカメラのリモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［カメラ制御］を選ぶ

   選んだリモートカメラのカメラ制御画面が表示されます。

   - タイル表示 / メイン－サブ表示中はライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューを表示できます。

2. （カメラタブ）を選んで（カメラ制御オプション）をタップする

選んだリモートカメラのフォーカスおよびレリーズモードの設定ができます。設定するには各項目をタップしてください。



✓ 連続撮影速度の設定について

- NX Field アプリで連続撮影速度の設定を行うには、リモートカメラのレリーズモードダイヤルをクイック設定ポジションに合わせておく必要があります。
- レリーズモードの設定はカメラ設定画面の［**Exposure**］タブ（📖 264）からも行うことができます。

露出関連の設定を行う

NX Field アプリから各リモートカメラのシャッタースピードや絞り値などを設定できます。

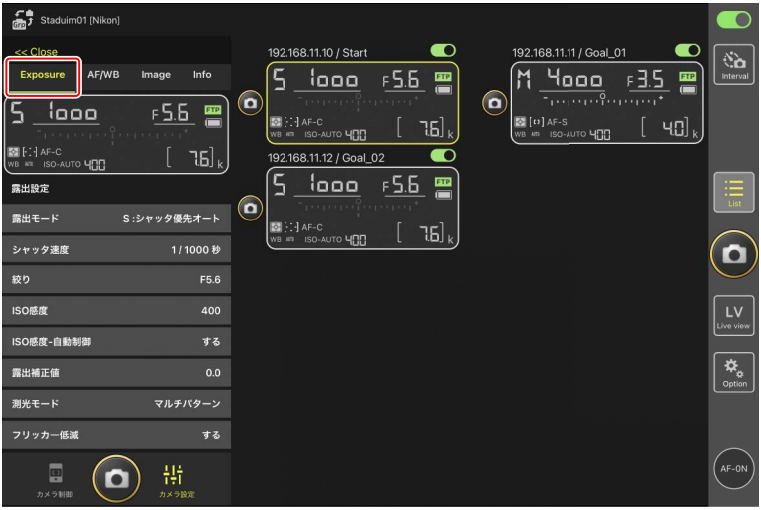
1. 操作したいリモートカメラのリモートカメラ情報を長押ししてサブメニューから［カメラ設定］を選ぶ

   選んだリモートカメラのカメラ設定画面が表示されます。

   - タイル表示 / メイン－サブ表示中はライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューを表示できます。

2. ［Exposure］タブをタップする

選んだリモートカメラの露出関連の設定ができます。設定するには各項目をタップしてください。



☑ Z6III の撮影モードについて

Z6III の撮影モードは、NX Field アプリから設定できません。カメラ本体で設定してください。

☑ カメラのシャッターモードに関するご注意（Z9 のファームウェアバージョン C:5.10 以降のみ）

NX Field アプリで動画を撮影するときは、カメラのカスタムメニュー g13［**シャッターモード**］を［**シャッタースピード**］に設定してください。［**シャッターアングル**］に設定していると、NX Field アプリ上でシャッタースピードが正しく表示されません。

露出設定を他のリモートカメラにコピーするには

表示しているリモートカメラの露出設定を、接続中のリモートカメラに一括でコピーできます。

- コピー対象の項目は、シャッタースピード、絞り値、ISO AUTO の ON/OFF、ISO 感度、露出補正値、ホワイトバランス / 微調整値 / プリセットマニュアルデータです。

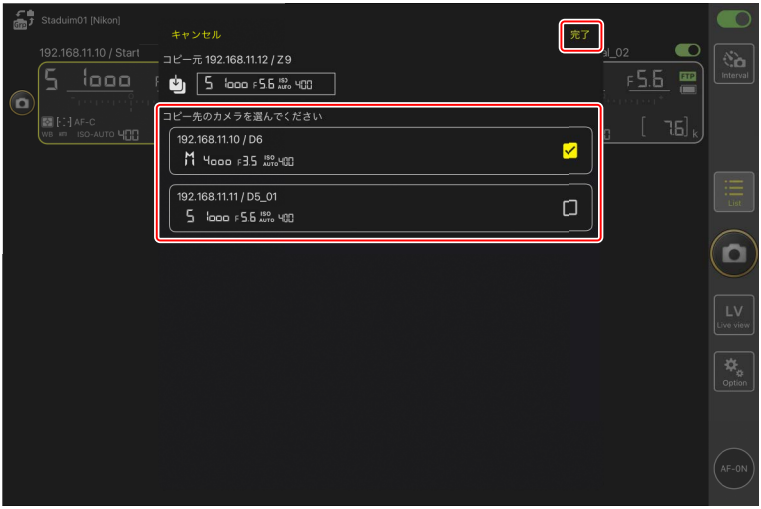
1. **コピー元のリモートカメラ情報を長押しして［露出情報のコピー］をタップする**

   コピー先のリモートカメラを選ぶ画面が表示されます。

   - タイル表示 / メイン－サブ表示中はライブビュー画面部分を長押しするとサブメニューを表示できます。

2. コピー先にするリモートカメラのチェックボックスにチェックを入れて［**完了**］をタップする

確認ダイアログで［**はい**］をタップすると露出設定がコピーされます。



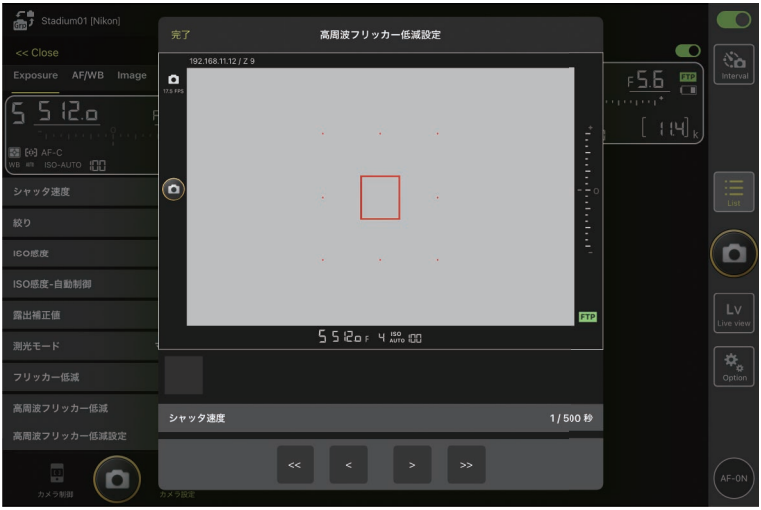
☑ コピー対象と動作の制限について

- リモートカメラの機種や設定の条件によっては、同じ値をコピーできないことがあります。その場合、シャッタースピード、絞り値、ISO 感度、露出補正値は近似値がコピーされます。
- ホワイトバランスは異なる機種間ではコピーできないことがあります。
- 動画撮影またはインターバルタイマー撮影の実行中は露出設定をコピーできません。
- Z9 のファームウェアバージョン C:4.00 以降で対応したオートキャプチャーを NX Field アプリから開始した場合、オートキャプチャーの実行中は露出設定をコピーできません。
- ［**トグル方式**］のピント合わせ（📖 321）を実行している間に露出設定のコピーを行うと、ピント合わせは一時停止され、コピー完了後に自動で再開します。

高周波フリッカー低減について

Z9（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）/Z8/Z6III を接続している場合、［**高周波フリッカー低減**］を使用できます。

- ［**する**］に設定すると、［**高周波フリッカー低減設定**］を使用できます。ライブビューを確認しながら、通常よりも細かいステップ幅で［**シャッタ速度**］を選べます。 << または >> をタップすると、リモートカメラ側で設定しているステップ幅でシャッタースピードを調整できます。より細かいステップ幅で調整するときは < または > をタップしてください。



- シャッタースピードの表示は分母の値のみが少数点を含む形式で表示されます。
- 高周波フリッカー低減の詳しい説明については Z9/Z8/Z6III の活用ガイドをご覧ください。

その他全般のリモートカメラ設定を行う

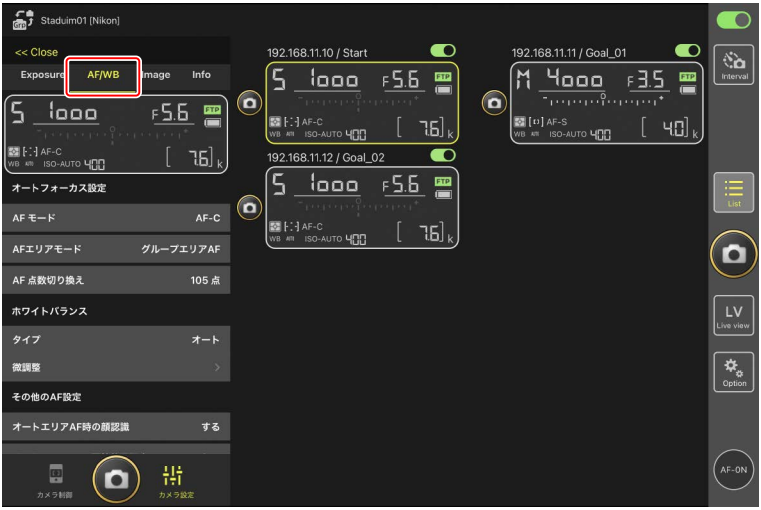
ホワイトバランスやピクチャーコントロールなど、リモートカメラの各種設定ができます。

静止画 / 動画撮影の設定について

［**Exposure**］、［**AF/WB**］、［**Image**］および［**Info**］の各項目は、静止画撮影および動画撮影のそれぞれについて設定できます。ライブビュー画面で、静止画の場合は Photo （Photo タブ）、動画の場合は Video （Video タブ）をタップしてから設定してください。カメラ制御画面の［**Video**］タブにある各項目は、動画撮影専用です。

カメラ設定：[AF/WB] タブ

オートフォーカスとホワイトバランスの設定を行えます。オートフォーカスの一部の項目は、カメラ制御オプションからも設定できます（📖 261）。

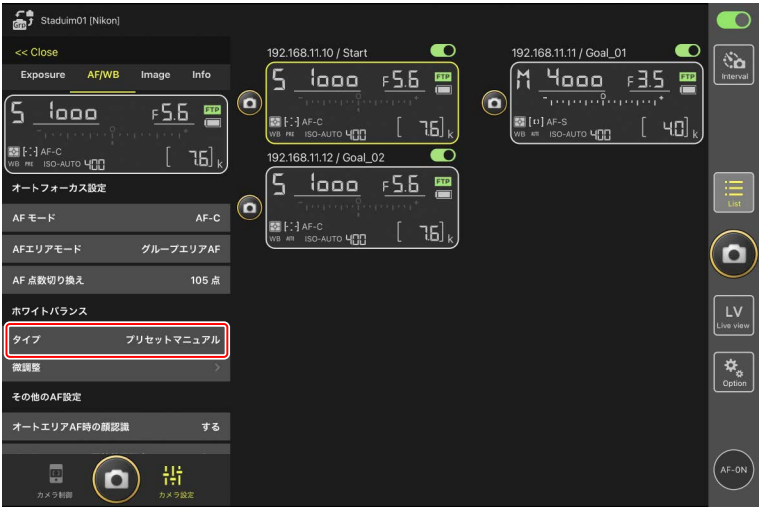


スポットホワイトバランスを取得するには（D6/D5 のみ）

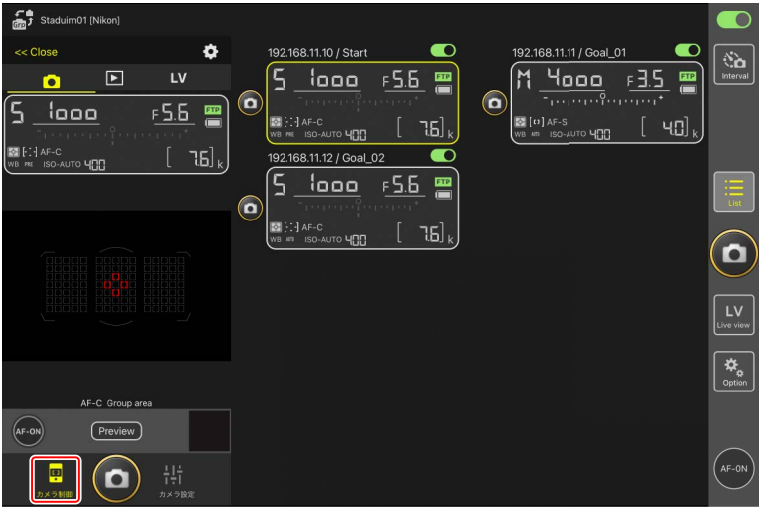
ホワイトバランスを［**プリセットマニュアル**］に設定している場合は、ライブビューの画面をタップしてスポットホワイトバランスを取得することができます。

1. ホワイトバランスで［**プリセットマニュアル**］を選ぶ

ホワイトバランスはカメラ設定画面の［**AF/WB**］タブで設定できます。



2. （カメラ制御）をタップする



3. LV （LV タブ）をタップする

リモートカメラのライブビューが表示されます。

4. （WB）をタップする

ボタンが黄色に変わり、プリセットマニュアル取得モードになります。

5. 被写体の白またはグレーの部分をタップする

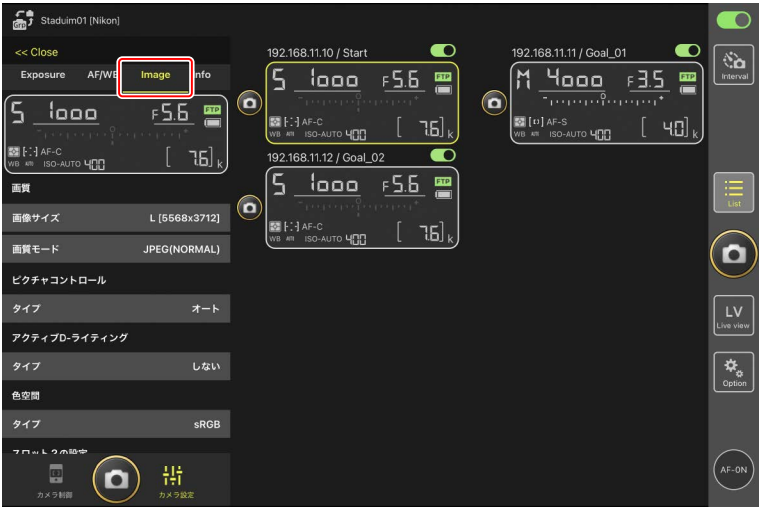
プリセットマニュアルデータの取得に成功するとライブビュー表示枠が緑色に変わり、［**測定成功**］と表示されます。

- ライブビュー表示枠が緑色に変わらない場合は、被写体の白またはグレーの部分を再度タップしてください。

6. 再度 （WB）をタップしてプリセットマニュアル取得モードを終了する

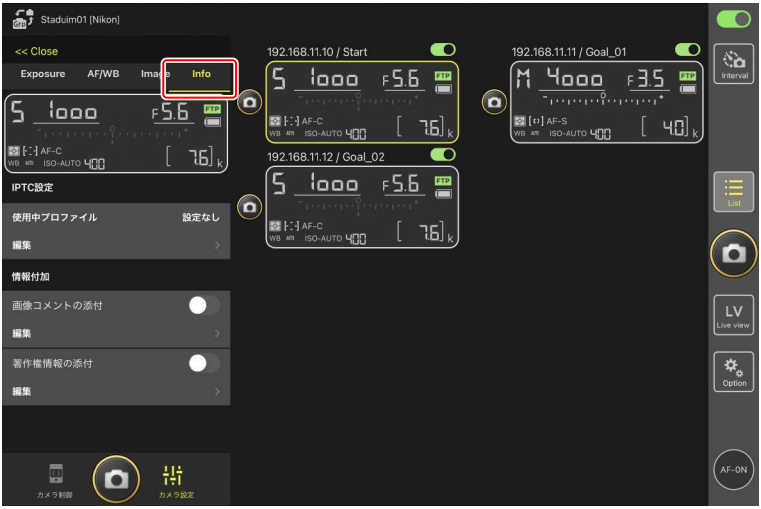
カメラ設定：[Image] タブ

画質やピクチャーコントロールなどの設定を行えます。



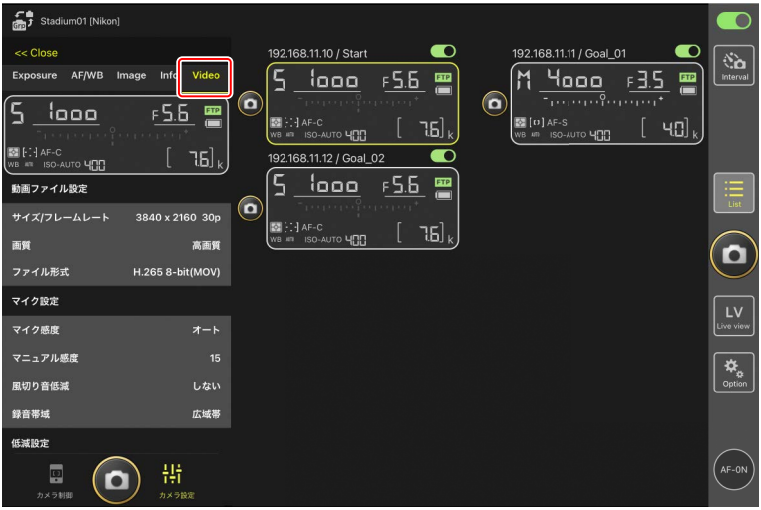
カメラ設定：[Info] タブ

画像に添付する IPTC 情報やコメントなどを設定できます。



カメラ設定：[Video] タブ

動画のファイル形式、マイク感度、ノイズ / フリッカー低減、タイムコード、および記録先などを設定できます。



リモートカメラ情報のスワイプで露出設定を切り換える

リモートカメラ本体に記憶した 4 通りの撮影メニュー「A」～「D」を、NX Field アプリのリモートカメラ情報をスワイプすることにより切り換えられます。

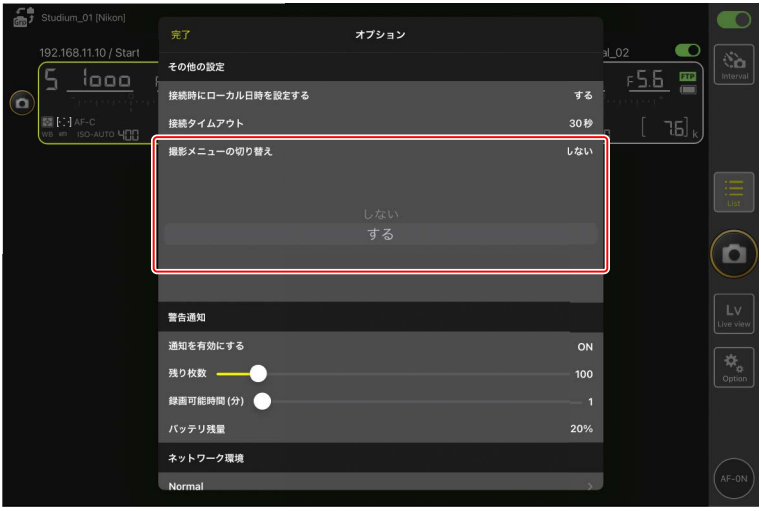
- Z9/Z8/D6/D5 で使用できます。

1. リモートカメラで撮影メニューの設定を行う

   機種によりメニューが異なります。

   - Z9/Z8：静止画撮影メニュー［**撮影メニューの拡張**］>［**ON**］
   - D6/D5：静止画撮影メニュー［**静止画撮影メニューの拡張**］>［**する**］

2. NX Field アプリの（オプション）>［**オプション**］にある［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定する



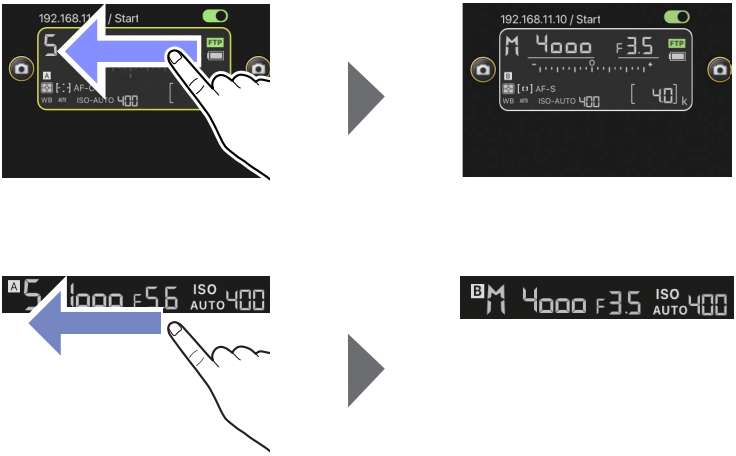
3. リモートカメラを NX Field アプリに接続する

リモートカメラ情報に撮影メニューのアイコン「A」～「D」が表示されます。

4. リモートカメラ情報を左右にスワイプする

リモートカメラの撮影メニューが切り換わります。

- スワイプを止めて約 1 秒経過すると、変更が適用されます。
- ライブビューの下部に表示されるリモートカメラ情報をスワイプしても撮影メニューを切り換えられます（Z9/Z8 のみ）。



撮影メニューの読み込みについて

- ［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定すると、リモートカメラを接続したときに撮影メニュー「A」～「D」すべてを読み込むため、接続にかかる時間が長くなります。
- リモートカメラを NX Field アプリに接続した後で［**撮影メニューの切り替え**］を［**する**］に設定しても、撮影メニューは読み込まれません。一度リモートカメラの接続を解除して、再接続してください。

接続中のすべてのリモートカメラを再起動する

(オプション)の[**オプション**]にある[**全カメラ再起動を実行する**]をタップすると確認ダイアログが表示され、[**OK**] をタップすると接続中の全カメラが再起動されます。

- 再起動したリモートカメラは自動で NX Field アプリに再接続されます。

☑対応カメラ

この機能は次のカメラで使用できます。

- Z9（ファームウェアバージョン C:5.10 以降）

NX Field を長時間使用する際のリモートカメラ再起動について

NX Field によるリモート撮影を長時間行う場合、ご使用の合間など、実施可能なタイミングでリモートカメラを再起動しておくと、通信の切断や予期しないエラーのおそれを軽減できます。

NX Field アプリでの再生

撮影した画像を再生する

カメラ制御画面で ▶ （再生タブ）をタップすると、選んだリモートカメラのメモリーカードに記録されている画像がサムネイルで一覧表示されます。

① **表示名［グループ名］**（📖 59）
表示名とグループ名が表示されます。

② **[Close]**
カメラ制御エリアを閉じます。

③ **カメラ制御オプション**
再生画面の設定を変更できます（📖 288）。

④ **カメラタブ / 再生タブ /LV タブ**
表示するタブを切り換えます。

⑤ **リロード**

サムネイルを最新の状態に更新します。

⑥ **検索**

プロテクトの状態や撮影日から表示画像を絞り込めます。

⑦ **スロット切り換え**

表示するメモリーカードのスロットを切り換えます。

⑧ **[選択]**

タップすると写真を選べる状態になります。

⑨ **サムネイル**

選んだスロットのメモリーカードに保存されている画像がサムネイル表示されます。タップすると、タップした画像が 1 コマ表示されます（📖 284）。

- RAW+JPEG または RAW+HEIF 形式で撮影された画像の場合、再生時には JPEG または HEIF 画像のみ表示されます。サムネイルには RAW アイコンが表示されています。
- FTP サーバーに送信済みの画像には が、送信待ちの画像には が表示されています。
- 連続撮影で記録した画像（連写画像）は、グループ内の最初の画像のみサムネイル表示されます（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降のみ）。サムネイル上には が表示されます。画像をタップすると、グループ内のすべての画像がサムネイル表示されます。
  - グループ内のサムネイル画像一覧から元の画面に戻るときは、グループの最初の画像をタップします。
  - 連写画像の表示方法は再生画面の設定から変更できます（📖 288）。
- RAW 動画の場合、再生時には同時に記録された MP4 のみ表示されます。サムネイルには MP4 アイコンが表示されています。

⑩ **画像数**

サムネイル一覧の表示時に、選択したスロットのメモリーカードに保存されている画像の総数が表示されます。連写画像は 1 枚として扱われます。

☑ 動画の再生について

動画は NX Field アプリで再生できません。iPad のカメラロール等に共有 / 保存（📖 290）して再生してください。

撮影した画像を 1 コマ表示する

再生画面で画像のサムネイルをタップすると、画像を拡大して 1 コマ表示できます。表示中の画像に対し、共有 / 保存、FTP 送信、音声メモの録音などの操作を行うことができます。

① **[AF]**

タップすると撮影時のフォーカスポイントが表示されます。HEIF 形式または階調モードが HLG の RAW 画像を 1 コマ表示しているときは使用できません。

② **[Info.]**

タップすると撮影日時やシャッタースピードなどの情報が表示されます。HEIF 形式または階調モードが HLG の RAW 画像を 1 コマ表示しているときは使用できません。

③ **画像**

選択した画像が拡大表示されます。

④ **共有**

表示中の画像を、メールやメッセージ機能などを使用して他の人と共有することができます。また、iPad のカメラロールに保存することもできます。

⑤ **FTP**

表示中の画像を FTP サーバーに送信します。

⑥ **マイク（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降）**

（マイク）をタップすると音声メモの録音を行うためのダイアログが表示されます（📖 285）。

⑦ **削除**

表示中の画像をリモートカメラから削除します。

画像に音声メモを追加する（Z9 のファームウェアバージョン C:5.00 以降）

再生画面から画像を 1 コマ表示すると、音声メモを録音するための（マイク）が表示されます。スマートデバイスのマイクで音声を録音し、画像の音声メモとして保存できます。

- プロテクトしている画像には音声メモを追加できません。

1. サムネイル表示画面で画像をタップする

選んだ画像が 1 コマ表示されます。

2. 1 コマ表示画面で（マイク）をタップする

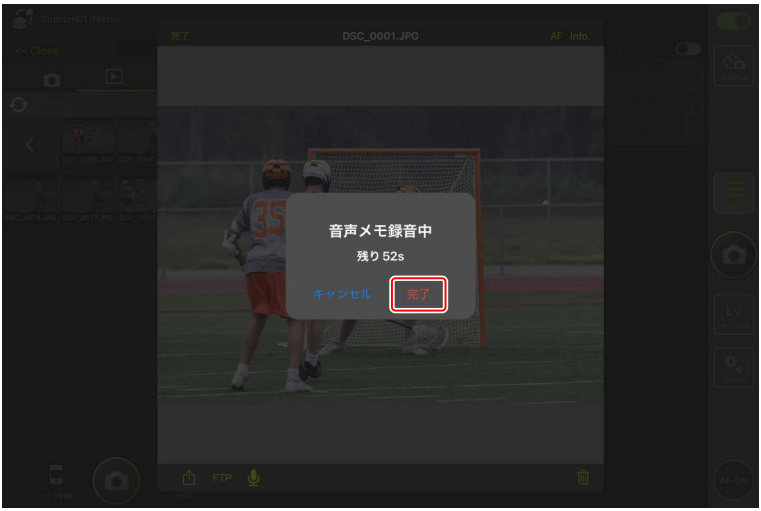
確認ダイアログで［**開始**］をタップすると録音が開始されます。

- 最大 60 秒間録音できます。

3. [完了]をタップする

音声メモがカメラのメモリーカードに保存されます。

- 音声メモは 1 コマ表示している画像と同じフォルダーに、画像と同じファイル名で保存されます。



再生画面の設定を変更する

再生画面で ⚙（カメラ制御オプション）をタップすると、再生画面の設定を変更できます。

① **[サムネイル列数]**
サムネイルの列数を 1 ～ 6 から選べます。

② **[ダウンロードする画像サイズ]**
iPad に画像を保存する場合の画像サイズを設定できます。

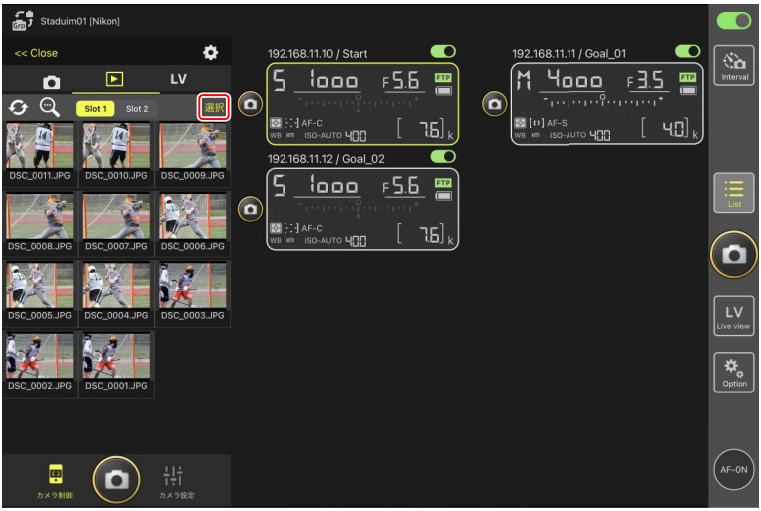
③ **[サムネイルグループの表示]**
連写画像の表示方法を設定できます。

④ **[選択 FTP 送信後のプロテクト]**
サムネイル一覧から画像を選んで FTP 送信するときに、カメラのメモリーカードに保存されている対象の画像を自動でプロテクトするように設定できます。

選んだ画像を iPad に共有 / 保存する

リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選んで、メールなどを使用して他の人と画像を共有したり、iPad に画像を保存することができます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする



2. 共有したい画像を選択する

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。

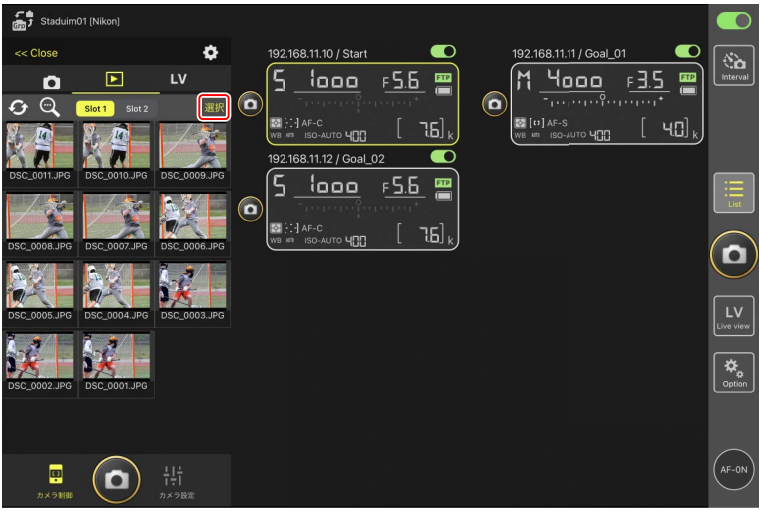
3. （共有）をタップする

選択した画像を、メールやメッセージ機能などを使用して他の人と共有することができます。また、iPad のカメラロールに保存することもできます。

選んだ画像を FTP 送信する

リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選んで FTP 送信できます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする



2. FTP サーバーに送信したい画像を選ぶ

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。

3. FTP （FTP）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、選んだ画像が FTP サーバーに送信されます。

FTP 送信中の表示と操作について

FTP 送信済みの画像には が、FTP 送信待ちの画像には が表示されます。FTP 送信中も、リモートカメラの設定変更、撮影、ライブビューの確認を行うことができます。

- FTP 送信の状況が の画像に音声メモを追加すると、いったん送信待ちの順序通りに画像のみが FTP 送信され、音声メモ付きの画像は送信待ちの最後に追加されます（📖 285）。

FTP 送信済みマークの表示件数について

FTP 送信済みマークの表示件数は、カメラの機種ごとに上限が異なります。

- Z9/Z8/Z6III/D6：5000 枚（メモリーカード 2 枚使用時は 10000 枚）
- D5：1000 枚

FTP 送信の設定について

FTP 設定を変更する場合は、NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する（📖 298）を参照してください。

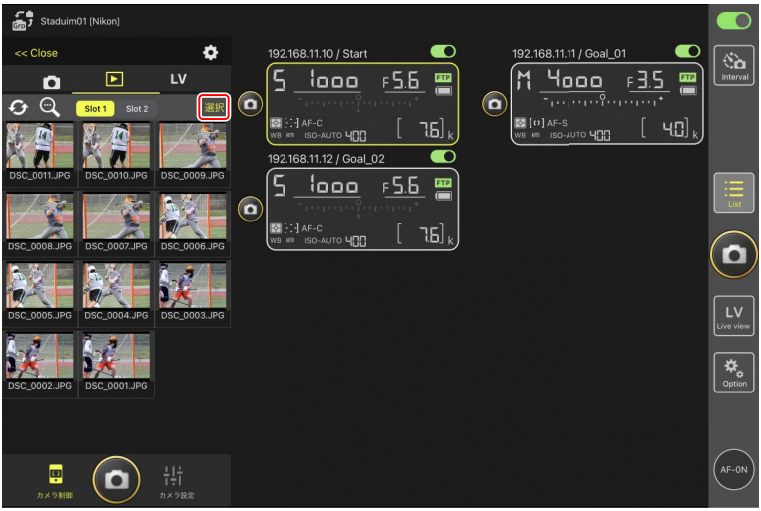
FTP 送信済みの画像をカメラやパソコン上でも見分けやすくしたいときは

再生画面で （カメラ制御オプション）をタップして、［**選択 FTP 送信後のプロテクト**］を［**する**］に設定しておくと、サムネイル一覧から画像を選んで FTP 送信するときに、カメラのメモリーカードに保存されている対象の画像が自動でプロテクトされるようになります。プロテクトの有無はカメラ本体の他、パソコンのソフトウェア（NX Studio など）でも確認できます。

選んだ画像を削除する

リモートカメラの画像をサムネイル一覧から選択して、削除できます。

1. サムネイル表示画面で［選択］をタップする

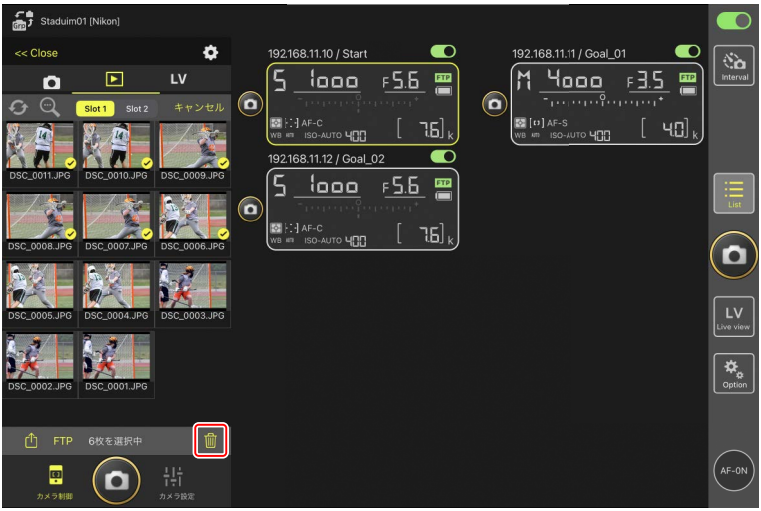


2. 削除したい画像を選ぶ

- 1 つにまとめて表示している連写画像を選ぶと、グループ内のすべての画像が選択されます。

3. （削除）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、選んだ画像がリモートカメラから削除されます。



☑ 画像削除中の表示について

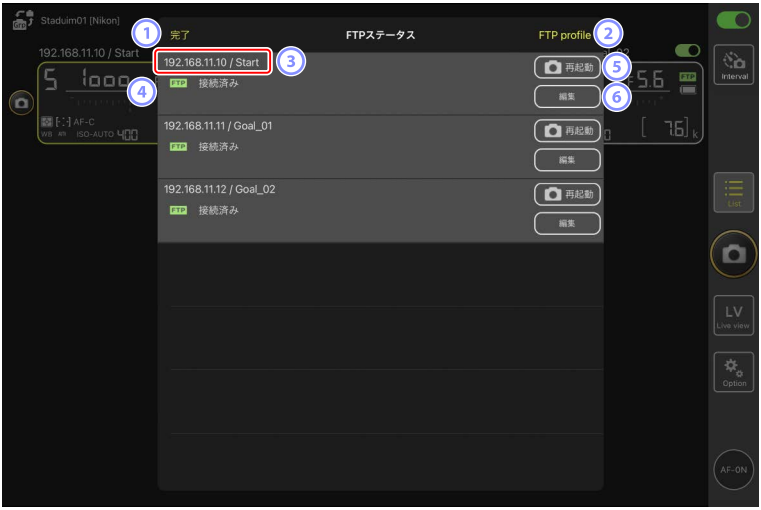
画像の削除中は青い円形のインジケーターが表示されます。画像の削除中は NX Field アプリの操作はできません。

同時記録した画像の削除

- ［**順次記録**］に設定した状態で RAW+JPEG または RAW+HEIF 撮影されている場合は JPEG/HEIF 画像を削除すると、同時記録した RAW 画像も一緒に削除されます。
- ［**バックアップ記録**］に設定している場合は、選択しているスロットの画像のみ削除されます。RAW+JPEG または RAW+HEIF 撮影されている場合は JPEG/HEIF 画像を削除すると、同時記録した RAW 画像も一緒に削除されます。
- 分割記録を行った場合は、選択しているスロットの画像のみ削除されます。

NX Field アプリで FTP 設定を確認 / 変更する

NX Field アプリから、登録されているリモートカメラの FTP 設定を確認または変更できます。（オプション）の［**FTP ステータス**］を選ぶと、FTP ステータス画面が表示されます。



① **［完了］**

FTP 設定の確認 / 変更を完了します。

② **［FTP profile］**

登録済みの FTP プロファイル（📖 307）および FTP 接続の履歴（📖 303）を確認できます。

③ **IP アドレス / タイトル**

リモートカメラの IP アドレスとタイトルが表示されます。

④ **接続状況**

リモートカメラと FTP サーバーの接続状況が表示されます。

- カメラ情報の枠内にある FTP（FTP）が赤で表示されている場合は、FTP エラーが発生しています。

⑤ **再起動**

リモートカメラの通信機能を再起動します。

☑ 通信機能の再起動について

- 通信機能の再起動を行ったリモートカメラは、約 30 秒で再接続されます。
- FTP サーバーが障害から復帰したときや、LAN ケーブルを接続し直したときなど、FTP サーバー側の問題を解消したにもかかわらずエラーが表示されているリモートカメラがある場合は、［**再起動**］をタップしてください。

⑥ **編集**

リモートカメラの FTP プロファイルを、直接編集（📖 300）またはリストから選択（📖 307）できます。

☑ FTP サーバーに障害が発生した場合

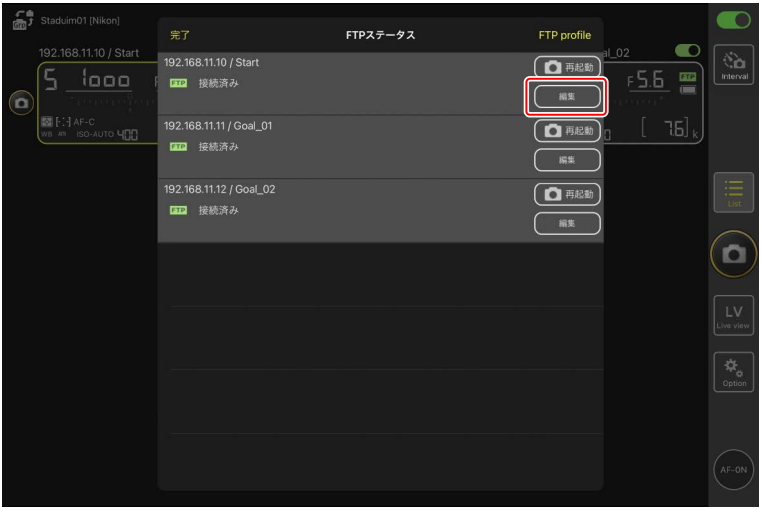
画像の FTP 送信中に FTP サーバーに障害が発生すると、NX Field アプリとリモートカメラの接続が不安定になり、切断される場合があります。この場合、数分経過した後に接続スイッチを（オン）にして再接続してください。

リモートカメラの FTP 設定を直接編集する

使用中の FTP 設定を編集して、送信先を変更できます。FTP サーバーが一時的にダウンした場合などに行います。

1. FTP ステータス画面で、FTP 設定を変更するカメラの 編集 （編集）をタップする

   - ［**接続済み**］と表示されているリモートカメラのみ操作できます。



2. ［プロファイルを直接編集］を選ぶ

3. IP アドレスやポート番号などの FTP 設定を編集して［**保存**］をタップする

リモートカメラの通信機能が再起動され、FTP 設定の変更が行われます。

- FTP サーバーに正しく接続されると、FTP ステータス画面に［**接続済み**］と表示されます。

FTP 送信する画像の種類を選びたいときは（Z9/Z8（ファームウェアバージョン C:2.10 以降）/Z6III のみ）

［**FTP オプション**］の［**撮影後自動送信**］を［**ON**］にしている場合、FTP 送信する画像の種類を次の送信設定ごとに選択できます。

- ［**RAW+JPEG 送信設定**］（Z9 のみ）
- ［**RAW+JPEG 送信設定（順次記録時 / バックアップ記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+JPEG 送信設定（RAW+JPEG 分割記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+HEIF 送信設定（順次記録時 / バックアップ記録時）**］（Z8/Z6III のみ）
- ［**RAW+HEIF 送信設定（RAW+HEIF 分割記録時）**］（Z8/Z6III のみ）

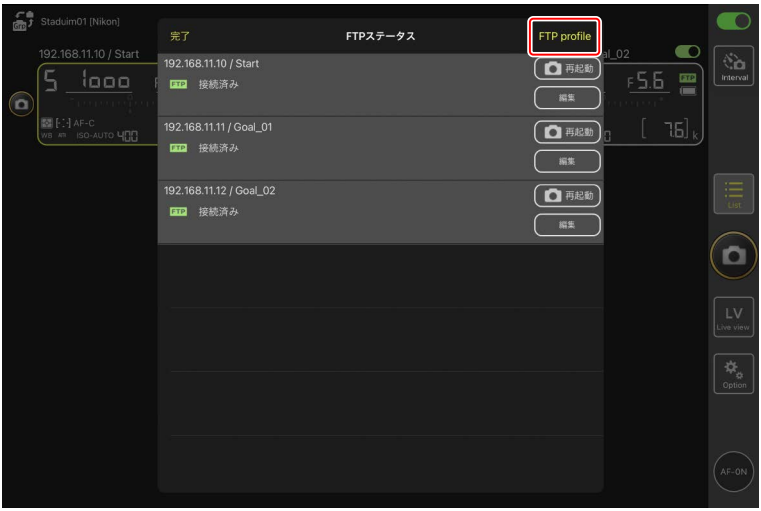
FTP プロファイルを登録する

FTP プロファイルを接続履歴から選ぶ、または直接入力することにより、リストに登録できます。登録した FTP プロファイルを使用して、リモートカメラの接続先を変更することもできます。

接続履歴から登録する

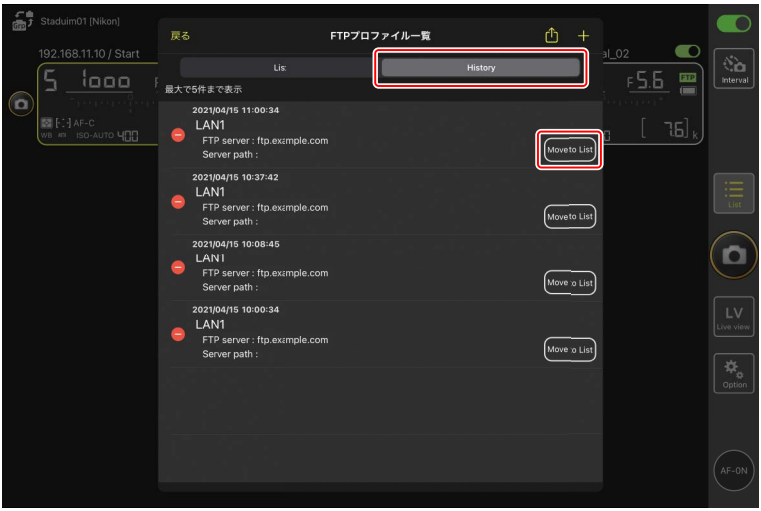
FTP プロファイルを接続履歴から選んで登録します。

1. FTP ステータス画面で［**FTP profile**］をタップする



2. ［History］をタップして、接続履歴の中からリストに登録したい FTP プロファイルの Move to List （Move to List）をタップする

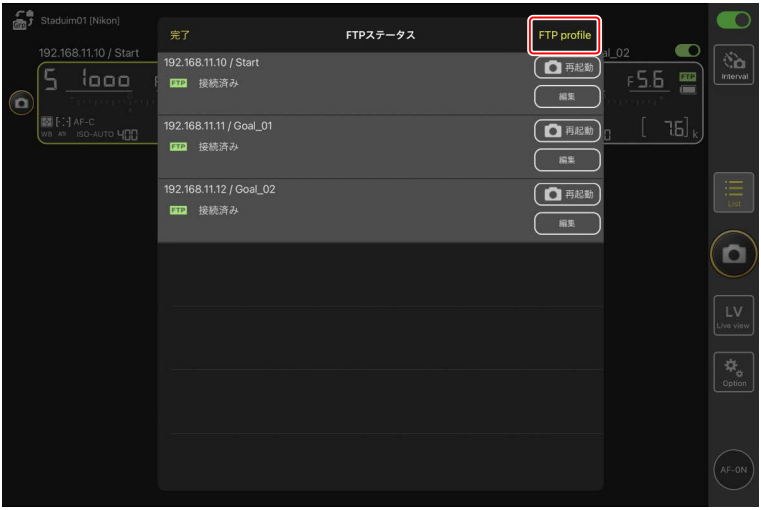
FTP プロファイルがリストに登録され、接続可能になります。



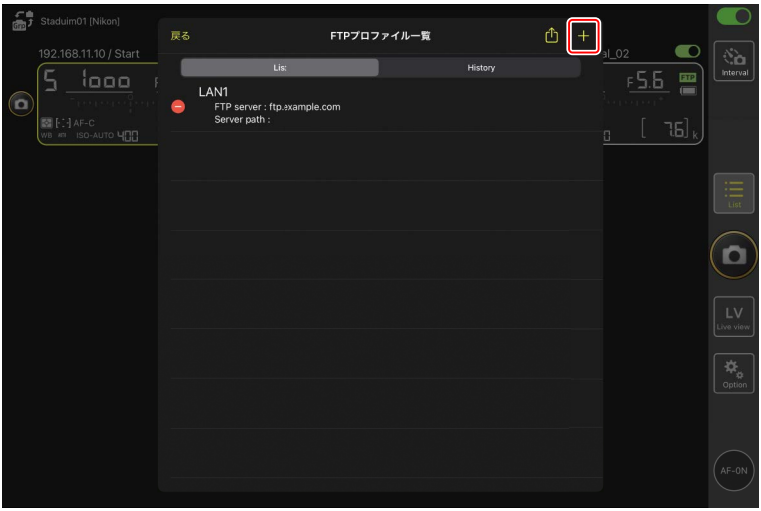
FTP プロファイルを入力して登録する

FTP サーバーの設定を入力して接続設定を登録します。

1. FTP ステータス画面で［**FTP profile**］をタップする



2. ＋ をタップする



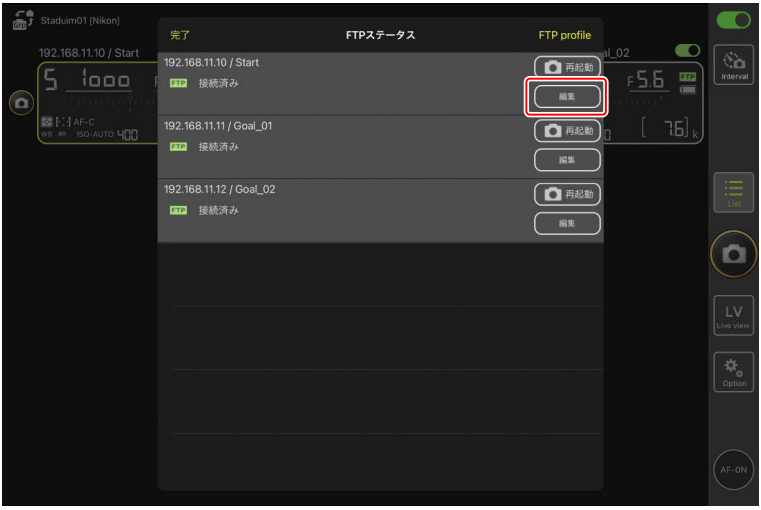
3. 各項目を入力して［保存］をタップする

入力した FTP プロファイルがリストに登録され、接続可能になります。

FTP プロファイルのリストから接続先を選ぶ

リストに登録してある FTP プロファイルを使用して、リモートカメラの接続先を変更できます。

1. FTP ステータス画面で、接続先を変更したいリモートカメラの 編集 （編集）をタップする

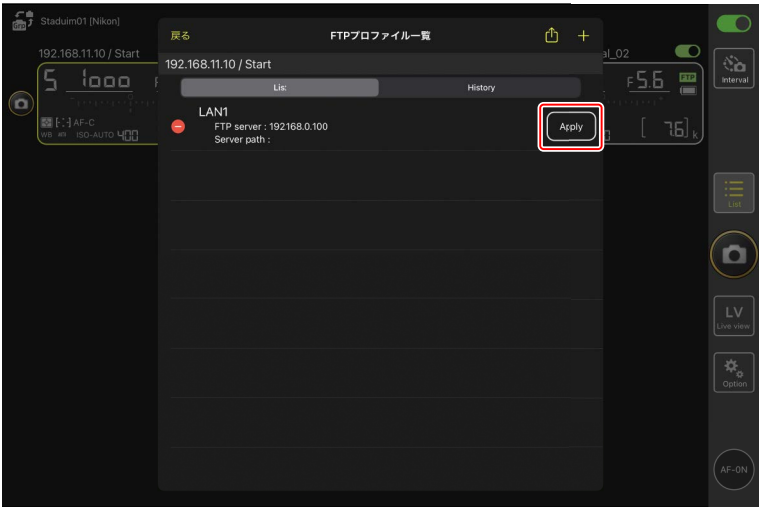


2. ［プロファイルを選択］を選ぶ

3. 使用する FTP プロファイルの Apply （Apply）をタップする

リモートカメラの通信機能が再起動され、FTP 設定の変更が行われます。

- FTP サーバーに正しく接続されると、FTP ステータス画面に［**接続済み**］と表示されます。



FTP プロファイル選択時のご注意

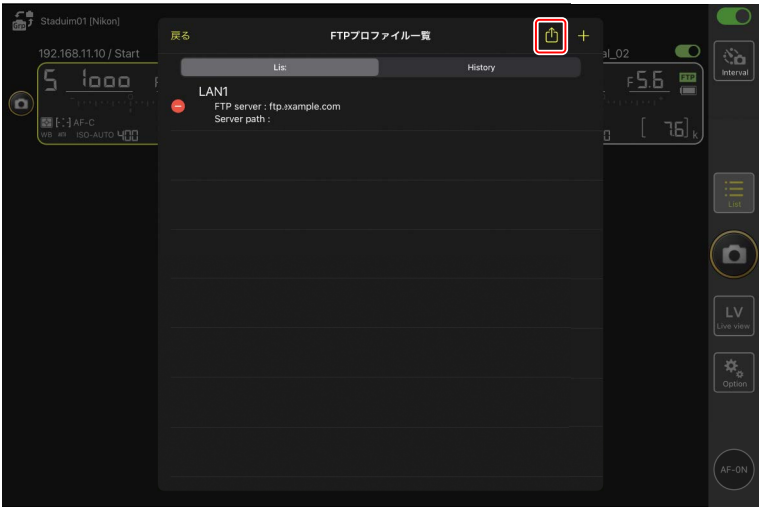
FTPS など特定のカメラやファームウェアバージョンのみ対応している項目が含まれる FTP プロファイルは、未対応のカメラでは選択できません。

リモートカメラの FTP プロファイルを他の iPhone/iPad に送信する

リモートカメラの FTP プロファイルを他の iPhone/iPad に送信して、NX Field アプリに登録できます。

FTP プロファイルのリスト画面で （共有）をタップして、共有方法と送信先を選んでください。

送信元および送信先の iPhone/iPad に表示される確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、登録が完了します。

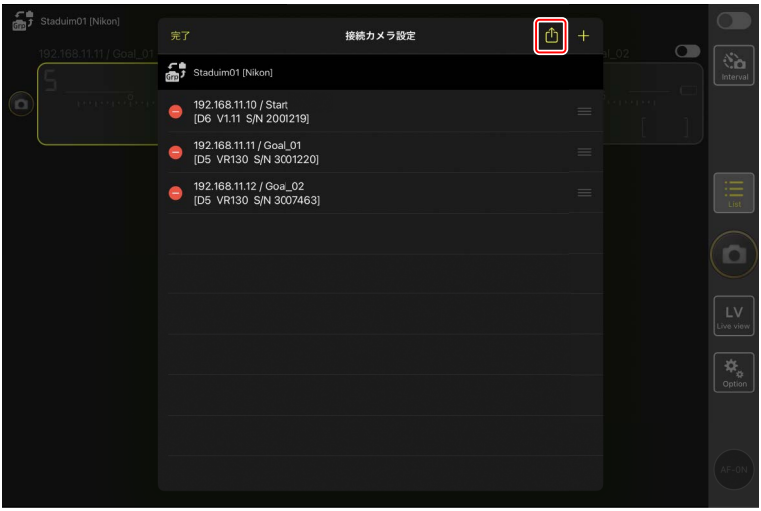


すべてのリモートカメラの接続設定を他のiPhone/iPad に送信する

NX Field アプリの表示名に登録済みのリモートカメラの IP アドレスとタイトル（📖 63）を、他の iPhone/iPad に送信して、NX Field アプリに登録できます。

（オプション）の［**接続カメラ設定**］画面にある（共有）をタップして、共有方法と送信先を選んでください。

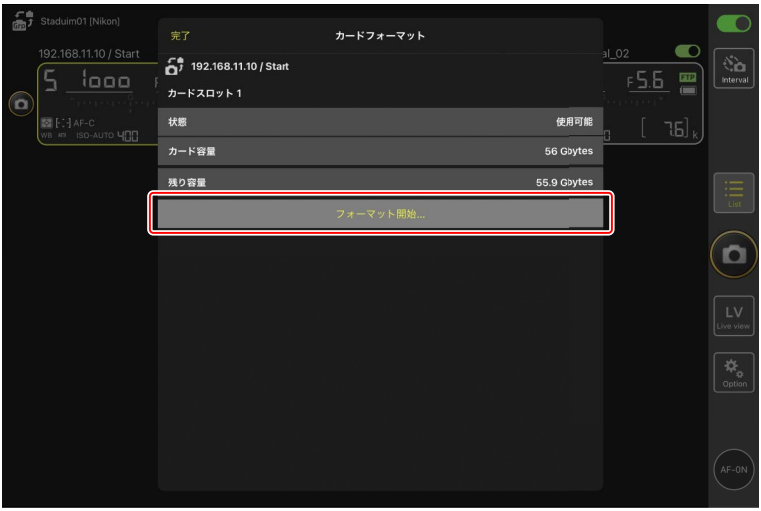
送信元および送信先の iPhone/iPad に表示される確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、送信元の表示名に登録されているすべてのリモートカメラの IP アドレスとタイトルが、送信先の NX Field アプリに登録されます。



NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする

(オプション)の[**カードフォーマット**]から、リモートカメラのメモリーカードをフォーマットできます。

リモートカメラとスロットを選んで［**フォーマット開始 ...**］をタップしてください。確認ダイアログで［**OK**］をタップするとフォーマットされます。



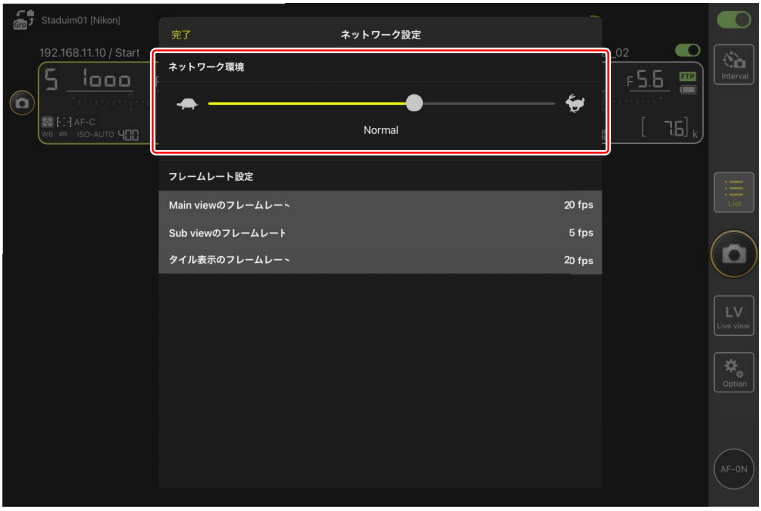
送信速度とフレームレートを設定する

ネットワークの実効速度が遅い場合、FTP 送信の速度やライブビューの更新速度を落とすことで、NX Field アプリの操作レスポンスを上げることができます。

FTP 送信の速度を設定する

（オプション）の［**オプション**］にある［**ネットワーク環境**］でスライダーを操作すると、FTP 送信の速度を調整できます。

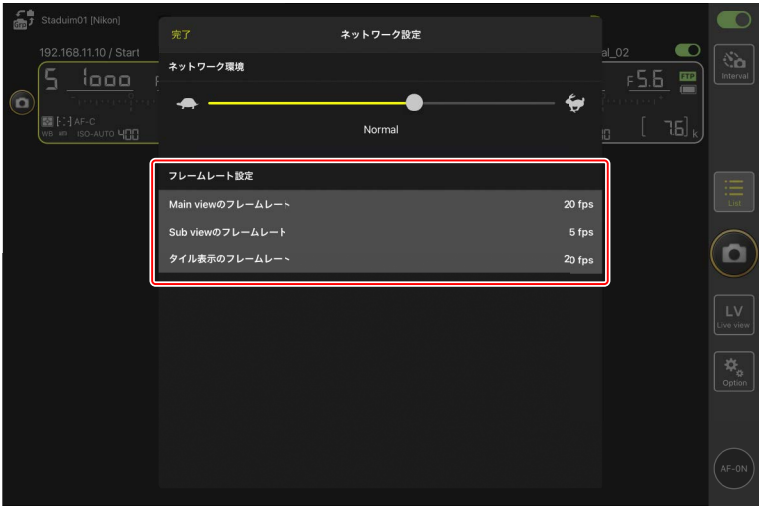
・［**完了**］をタップすると、設定した速度が保存されます。



ライブビューのフレームレートを設定する

（オプション）の［**オプション**］にある［**ネットワーク環境**］でライブビュー表示の種類（メイン / サブ / タイル）をタップすると、表示ごとにフレームレートを設定できます。

- フレームレートは 1fps ～ 30fps の間で調整できます。操作のレスポンスが遅いときに、フレームレートを落とすことで改善される場合があります。
- ［**完了**］をタップすると、設定が保存されます。



ライブビューオプションについて

フレームレートの設定は、ライブビューオプション（📖 231）からも行うことができます。

Wake-on-LAN でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする（D6 のみ）

D6 は、NX Field アプリの操作でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする Wake-on-LAN（以下 WOL）に対応しています。WOL 機能を使用する場合は、NX Field アプリにリモートカメラの MAC アドレスを登録してください。

接続カメラ設定について

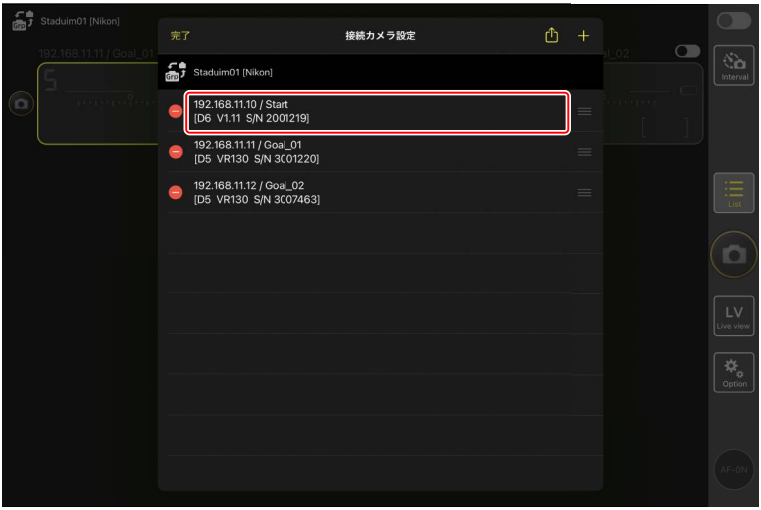
［**接続カメラ設定**］を行うときは、設定するリモートカメラの接続を解除してください。

リモートカメラの MAC アドレスを設定する

リモートカメラの MAC アドレスを設定して、WOL を使用可能な状態にします。

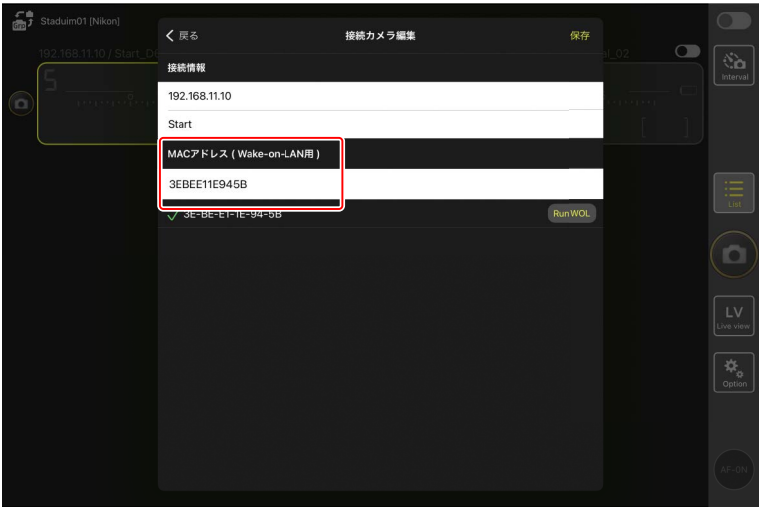
1. （オプション）の［**接続カメラ設定**］を選ぶ

2. WOL の設定を行うリモートカメラ（D6）の接続情報をタップする



3. MAC アドレスを入力して［**保存**］をタップする

MAC アドレスは、リモートカメラのセットアップメニュー［**有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター**］にある［**オプション**］の［**MAC アドレス**］で確認できます。ハイフンは入力不要です。

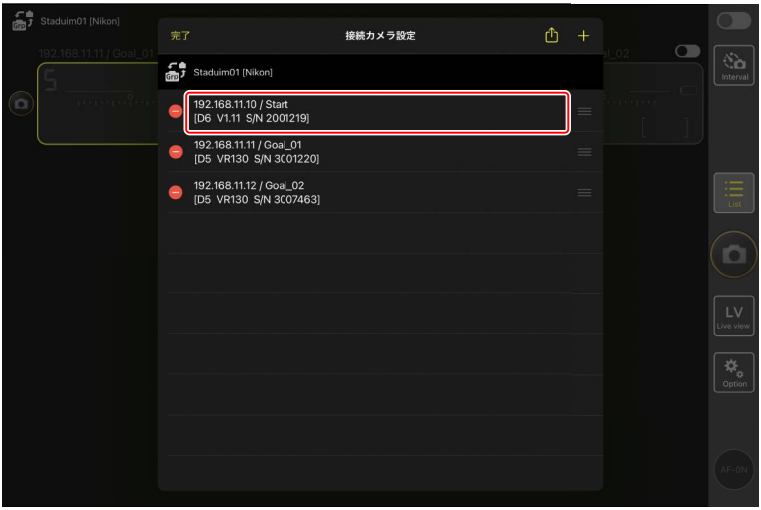


WOL でリモートカメラの半押しタイマーをオンにする

WOL を動作させて、リモートカメラの半押しタイマーをオンにします。

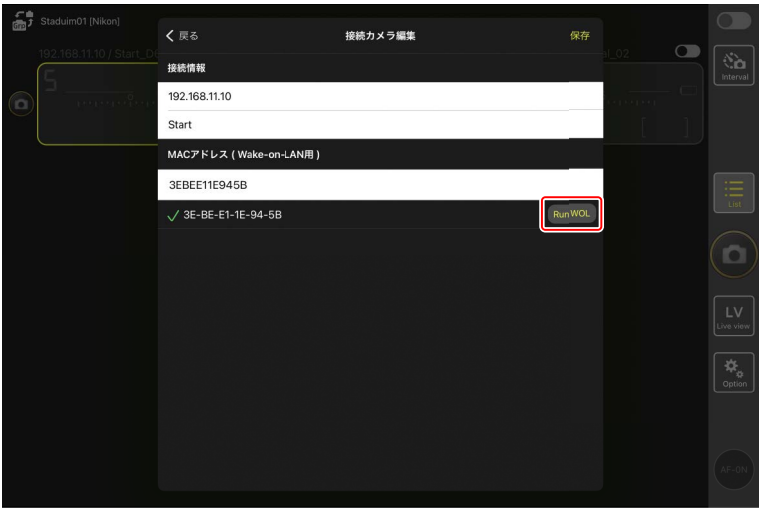
1. （オプション）の［接続カメラ設定］を選ぶ

2. WOL の設定を行うリモートカメラ（D6）の接続情報をタップする



3. Run WOL （Run WOL）をタップする

確認ダイアログで［**OK**］をタップすると、リモートカメラの半押しタイマーがオンになります。



WOL 使用時のご注意

- WOL の使用可否は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- WOL で半押しタイマーをオンにした後、ネットワーク接続に約 30 秒かかるため、［**半押しタイマー**］の設定は 10 分または 30 分をおすすめします。
- リモートカメラは電源 ON の状態で設置してください。

WOL で半押しタイマーをオンにする場合

WOL で半押しタイマーをオンにする場合、iPhone/iPad とリモートカメラは、同一のネットワーク内に配置する必要があります。ルーターを越えた別のネットワークでは利用できないことがあります。

iPad に接続したリモートカメラをゲームパッドで操作する

（オプション）の［**ゲームパッド設定**］から、iPad に接続したリモートカメラのレリーズ操作をゲームパッドで行うことができます。

- ゲームパッドの各ボタンに次の機能を割り当てられます。
  - ［**全カメラ撮影**］：接続しているすべてのリモートカメラのレリーズを行います。
  - ［**選択カメラのみ撮影**］：接続中かつ一覧画面で選択中のリモートカメラのレリーズを行います。
  - ［**シャッターボタン（マルチカメラ）**］：撮影グループに登録されているリモートカメラのグループレリーズを行います（📖 239）。
- ゲームパッドを iPad に接続する方法については、ゲームパッドの説明書を参照してください。

Staduim01 [Nikon]
192.168.11.10 / Start
192.168.11.11 / Goal_01
192.168.11.12 / Goal_02
Interval
List
LV
Live view
Option
AF-ON
接続カメラ設定
グループ設定
カードフォーマット
FTPステータス
ゲームパッド設定
オプション

完了
ゲームパッド設定
ボタンの割り当て
○ / B ボタン 未定義
□ / X ボタン 未定義
△ / Y ボタン 未定義
X / A ボタン 未定義
左アナログ プレス 未定義
右アナログ プレス 未定義
R1/L1 ボタン 未定義
R2/L2 ボタン 未定義

その他の設定について

（オプション）から［**オプション**］を選ぶと、接続タイムアウトの時間や警告通知のレベルなどを設定できます。

大項目	小項目	説明
その他の設定	接続時にローカル日時を設定する	iPad の時刻をリモートカメラに同期するかどうかを設定します。
	接続タイムアウト	リモートカメラから応答がない場合に接続を要求し続ける時間を設定します。時間内に接続できないと接続エラーになります。
	撮影メニューの切り替え（📖 277）	撮影メニューの切り替え機能を使用するかどうかを設定します。

大項目	小項目	説明
警告通知	通知を有効にする	警告を表示するかどうかを設定します。
	残り枚数	警告表示するリモートカメラのメモリー残量を設定します。
	録画可能時間（分）	警告表示する動画撮影可能時間の残り分数を設定します。
	バッテリ残量	警告表示するリモートカメラのバッテリー残量を設定します。1% に設定すると、警告が表示される前にリモートカメラとの接続が切れる場合があります。
ネットワーク環境	ネットワーク環境	FTP 送信の速度を設定します。
	フレームレート設定（📖 313）	ライブビューのフレームレートを設定します。
AF-On ボタン設定	ボタンの動作	AF-ON（AF-ON）の動作を切り換えられます。 • ［**プッシュ方式**］：AF-ON（AF-ON）を押している間、ピント合わせを行います。 • ［**トグル方式**］：AF-ON（AF-ON）をタップすると、再度タップするまでピントを合わせ続けます。

大項目	小項目	説明
録画設定	録画停止の確認	動画撮影の終了時に確認のダイアログを表示するかどうかを設定します。
Wake-on-LAN（D6 のみ）	カメラに Wake-on-LAN を実行する（📖 314）	WOL 機能を使用するかどうかを設定します。
カメラ設定保存	—	現在の設定をカメラに保存します。
カメラ再起動	全カメラ再起動を実行する（📖 280）	接続中のすべてのリモートカメラを再起動します。
シャッターボタン（マルチカメラ）設定	シャッターボタン	（レリーズボタン）をタップしたときの動作を設定します。
その他の情報	バージョン情報	バージョン情報を表示します。
	使用許諾	使用許諾を表示します。
	プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
	サポートサイト	Web ブラウザーでサポートサイトを表示します。

NX Field システムについて：Z7II/Z6II/Z7/Z6 をお使いの場合

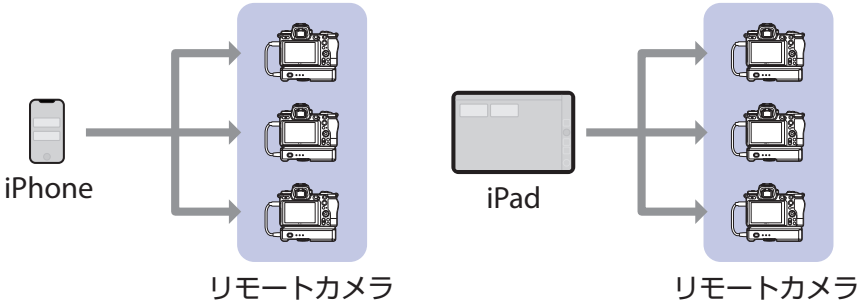
NX Field システムとは、NX Field アプリ（📖 326）をインストールした iPhone/iPad からリモートカメラを操作するシステムの名称です。NX Field システムを使用するには、ニコンサービス機関でお使いのカメラを NX Field 機能に対応したファームウェアにファームアップする必要があります（有償）（📖 328）。

☑ NX Field システムで使用するカメラについて

- NX Field システムで使用するカメラは、パソコン（Windows）で専用ソフトウェアによる接続設定を行う必要があります。
- NX Field システムで使用するカメラには、ワイヤレストランスミッター WT-7 を装着する必要があります。WT-7 は無線接続が可能ですが、確実なリモートカメラ制御を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN の使用をおすすめします。通信障害等で無線接続が切断された場合、復旧後に再接続するためにはカメラの電源を OFF にしてもう一度 ON にする必要があります。

NX Field システムを使ってできること

NX Field システムを使用すると、iPhone/iPad から複数のリモートカメラを操作して撮影できます。



iPhone でリモートカメラの撮影を指示する（📖 336）

iPad でリモートカメラの撮影を指示する（📖 337）

☑各機器の配置について

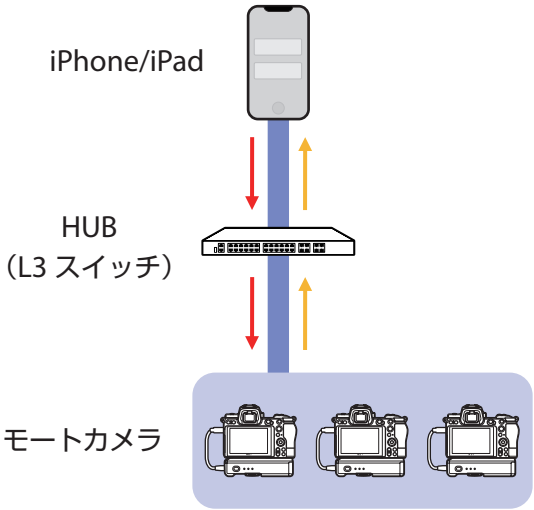
- iPhone/iPad とリモートカメラは同一ネットワーク上に配置してください。
- iPhone/iPad をリモートカメラに接続しているときに、別の iPhone/iPad を同じカメラに接続しようとすると、使用中の接続が切断され、2 台目も接続されません。iPhone/iPad を別の端末に切り換える場合は、先に使用中の接続を解除してください。

複数機種の混在について

iPhone/iPad で撮影を指示する場合、リモートカメラは NX Field に対応した複数の異なる機種を混在させて使用することができます。

NX Field アプリとは

NX Field アプリは、iPhone/iPad 用のアプリケーションです。同一ネットワーク上にある複数のリモートカメラを操作して、撮影を指示することができます。



→ リモートレリーズ指示 / リモート設定

→ リモートレリーズ状況 / リモートカメラ状態

☑ iPhone 用と iPad 用の違いについて

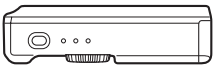
NX Field アプリの基本的な機能は同じですが、iPad 用にはライブビューの複数表示（📖 211）やスキン表示によるリモートカメラの配置図作成（📖 226）など独自の機能があります。

必要な機材について

NX Field システムの使用に必要な機材は次の通りです。

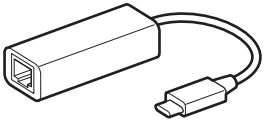
- Z7II/Z6II/Z7/Z6
  - NX Field 機能に対応したファームウェアにファームアップする必要があります。
  - パソコン（Windows）で接続設定を行う必要があります。

- ワイヤレストランスミッター WT-7



- NX Field アプリをインストールした iPhone または iPad

- USB Type-C または Lightning 端子の LAN 変換アダプター（有線 LAN 時に使用）



その他、接続環境に応じたネットワーク関連機器が必要となります。

NX Field システムを使用するための設定を行う

カメラおよび iPhone/iPad を NX Field システム上で使用するための設定を行います。

カメラを NX Field 機能に対応したファームウェアにする

使用するカメラのファームウェアを、NX Field 機能対応のバージョンにアップデートする必要があります。カメラのファームアップはニコンサービス機関で行います（有償）。

パソコンからカメラの接続設定を行う

Windows 向けソフトウェア Pairing Tool for NX Field（ペアリングツール for NX Field）を使用して、リモートカメラを NX Field システムで使用するために必要な通信プロファイルを作成します。

- Pairing Tool for NX Field は、下記のホームページからダウンロードしてお使いください。ソフトウェアの最新情報や動作環境もご確認ください。
  http://downloadcenter.nikonimglib.com/
- Pairing Tool for NX Field は macOS には対応していません。

通信プロファイルを作成する

プロファイルを新規作成する手順は次の通りです。

1. リモートカメラの電源を ON にする

> **パソコン接続時のカメラの電源について**
>
> Z7II/Z6II/Z7/Z6 は電源 OFF の状態で接続してもパソコンに認識されますが、設定を完了するには電源を ON にした状態で接続する必要があります。

2. リモートカメラとパソコンをカメラに付属の USB ケーブルで接続する

3. パソコンで Pairing Tool for NX Field の圧縮ファイルを展開し、「Pairing Tool for NX Field.exe」をダブルクリックする

   起動画面が表示され、次に LAN の種類を選ぶ画面が表示されます。

4. ［**有線 LAN**］＞［**プロファイルの新規作成**］を選び、IP アドレスの設定画面で［**手動（固定）**］を選ぶ

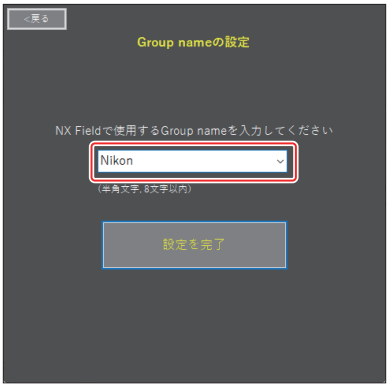
- ［**自動（DHCP）**］でも NX Field 機能を使用できますが、ネットワークを再接続する、または DHCP のリースが切れるなど、リモートカメラの IP アドレスが変わった場合に、NX Field アプリに IP アドレスを再登録する必要があるため、固定 IP アドレスの使用をおすすめします。
- ［**デフォルト GW**］および［**DNS サーバ**］は必要に応じて設定してください。

5. リモートカメラの IP アドレスとサブネットマスクを入力する

- IP アドレスは、カメラ側で「001」と 3 桁で入力した値についても、ゼロを加えず「1」と入力してください。

6. ［**次へ**］をクリックする

7. NX Field アプリで使用する［**Group name**］と同じグループ名を入力する



- iPhone の接続設定については「iPhone の準備」（39 ページ）を、iPad の接続設定については「iPad の準備」（51 ページ）を参照してください。

8. ［**設定を完了**］をクリックする

設定したプロファイルがカメラのセットアップメニュー［**ワイヤレストランスミッター（WT-7）**］にある［**接続設定**］内に保存され、Pairing Tool for NX Field が終了します。

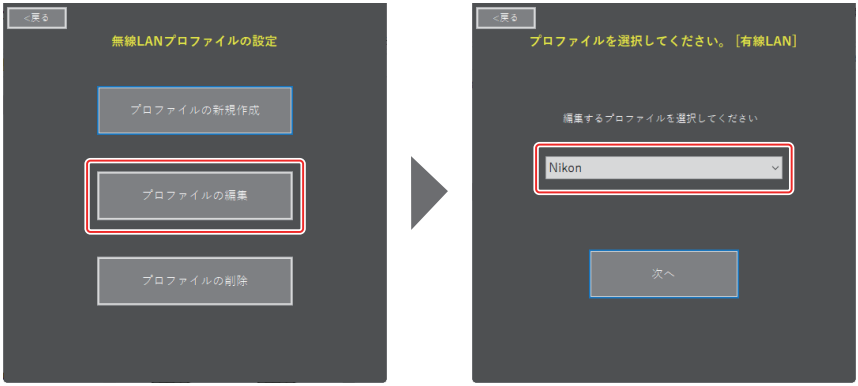
- プロファイルの名前は手順 7 で入力したグループ名と同じになります。

カメラを初期化した場合の再設定について

カメラのセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行うと、Pairing Tool for NX Field で行った接続設定も初期化されます。再度設定を行ってください。

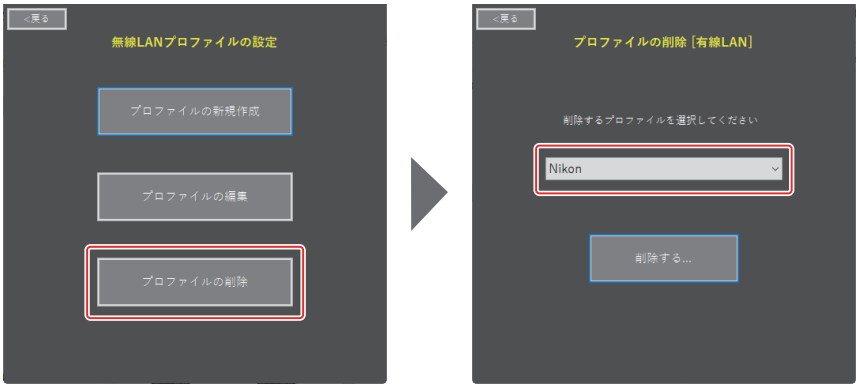
作成したプロファイルを編集する

作成したプロファイルを編集するときは、［**有線 LAN**］を選んだ後の画面で［**プロファイルの編集**］をクリックして、次の画面で編集するプロファイルを選びます。



作成したプロファイルを削除する

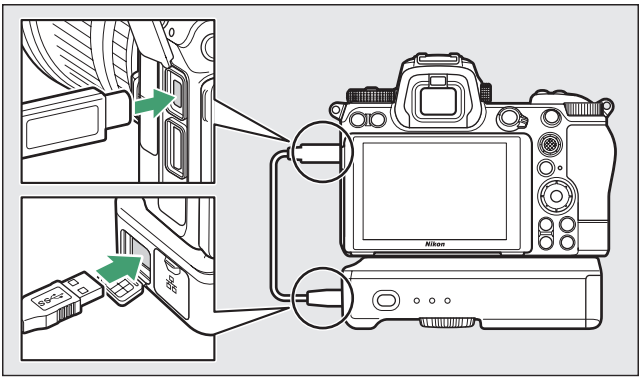
作成したプロファイルを削除するときは、［**有線 LAN**］を選んだ後の画面で［**プロファイルの削除**］をクリックして、次の画面で削除するプロファイルを選びます。



NX Field アプリを使うためのカメラの設定を行う

Pairing Tool for NX Field で作成したプロファイルによって NX Field アプリがリモートカメラを認識できるように、カメラの設定を行います。

1. リモートカメラと WT-7 をカメラに付属の USB ケーブルで接続する



- WT-7 を使用したネットワーク接続の詳しい方法については、WT-7 の使用説明書をご覧ください。

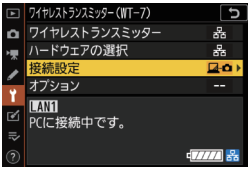
2. NX Field で使用する iPhone/iPad と同一のネットワークに WT-7 を有線 LAN 接続する

- WT-7 は無線接続が可能ですが、確実なリモートカメラの制御および FTP サーバーへの送信を行うためには電波状況に依存しない有線 LAN を使用することをおすすめします。

3. WT-7 の電源を ON にする

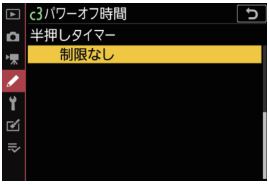
4. カメラのセットアップメニュー［**ワイヤレストランスミッター（WT-7）**］で必要な設定を行う

- 次の設定を行います。
  - ［**ワイヤレストランスミッター**］：［**使用する**］
  - ［**ハードウェアの選択**］：［**有線 LAN**］
  - ［**接続設定**］：パソコンで作成したプロファイル（Group name）
- セットアップメニュー［**ワイヤレストランスミッター（WT-7）**］に［**PC に接続中です。**］と表示されると、NX Field アプリがカメラを認識できるようになります。



半押しタイマーの設定について

リモートカメラの撮影画面がオフになると、NX Field アプリのライブビューが終了します。カスタムメニュー c3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］を［**制限なし**］に設定してください。



☑ 静止画 / 動画切り換えレバーについて

NX Field アプリを使用して撮影するときは、リモートカメラの静止画 / 動画切り換えレバーを 📷 に合わせてください。🎥 に合わせていると、使用できる機能が制限されます。

リモートカメラを NX Field アプリで使用する準備が完了しました。iPhone を使用する場合は iPhone の準備（📖 39）を、iPad を使用する場合は iPad の準備（📖 51）を参照してください。準備が完了したら、用途に応じて次のいずれかにお進みください。

iPhone でリモートカメラの撮影を指示する（📖 336）

iPad でリモートカメラの撮影を指示する（📖 337）

iPhone でリモートカメラの撮影を指示する

NX Field アプリをインストールした iPhone から、リモートカメラのレリーズや設定変更が行えます。

- 画像の FTP 送信および撮影メニューの切り替えに関する機能は Z7II/Z6II/Z7/Z6 では使用できません。

NX Field アプリで撮影する

- NX Field アプリ上のボタンやアイコンについての説明は、NX Field アプリの画面について（📖 80）を参照してください。
- NX Field アプリを使用した撮影方法については、NX Field アプリでの撮影方法（📖 91）を参照してください。
- NX Field アプリからリモートカメラのフォーカス、その他各種の設定を行う方法については、NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する（📖 119）を参照してください。

NX Field アプリで再生する

- 撮影した画像の再生および共有 / 保存方法については、NX Field アプリでの再生（📖 135）を参照してください。

その他の機能

- NX Field アプリに登録済みのリモートカメラを他の iPhone/iPad に登録する方法については、すべてのリモートカメラの接続設定を他の iPhone/iPad に送信する（📖 161）を参照してください。
- NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする方法については、NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする（📖 162）を参照してください。
- NX Field アプリの接続や警告表示などに関する詳細な設定を行う方法については、その他の設定について（📖 171）を参照してください。

iPad でリモートカメラの撮影を指示する

NX Field アプリをインストールした iPad から、リモートカメラのレリーズや設定変更が行えます。

- 画像の FTP 送信および撮影メニューの切り替えに関する機能は Z7II/Z6II/Z7/Z6 では使用できません。

NX Field アプリで撮影する

- NX Field アプリ上のボタンやアイコンについての説明は、NX Field アプリの画面について（📖 174）を参照してください。
- NX Field アプリを使用した撮影方法については、NX Field アプリでの撮影方法（📖 192）を参照してください。
- NX Field アプリからリモートカメラのフォーカス、その他各種の設定を行う方法については、NX Field アプリからリモートカメラの設定を変更する（📖 260）を参照してください。

NX Field アプリで再生する

- 撮影した画像の再生および共有 / 保存方法については、NX Field アプリでの再生（📖 281）を参照してください。

その他の機能

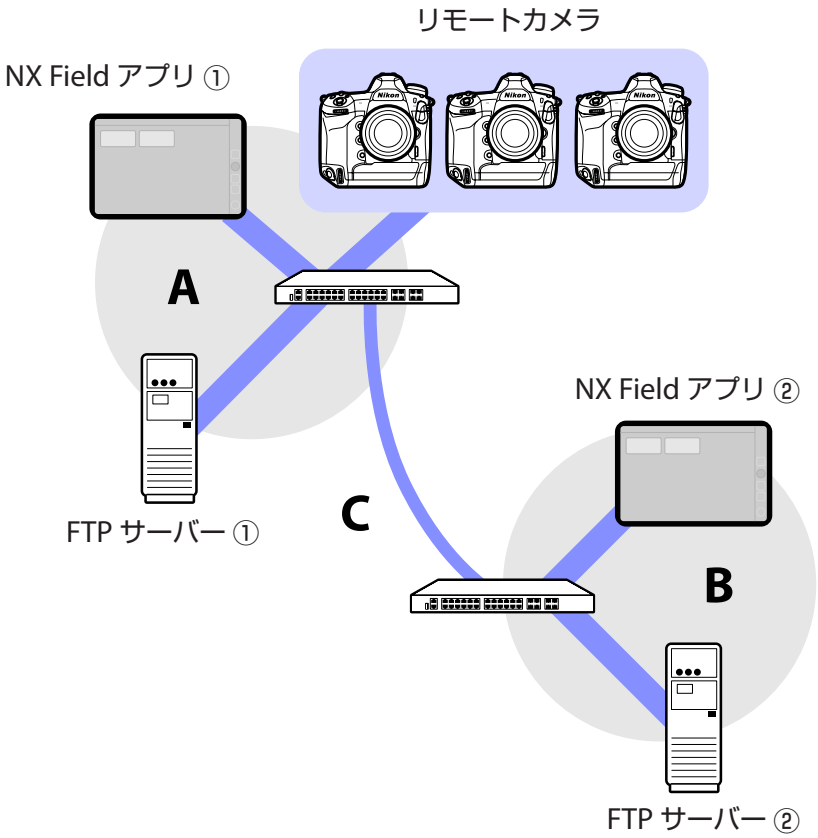
- NX Field アプリに登録済みのリモートカメラを他の iPhone/iPad に登録する方法については、すべてのリモートカメラの接続設定を他の iPhone/iPad に送信する（📖 310）を参照してください。
- NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする方法については、NX Field アプリでリモートカメラのメモリーカードをフォーマットする（📖 311）を参照してください。
- NX Field アプリの接続や警告表示などに関する詳細な設定を行う方法については、その他の設定について（📖 321）を参照してください。

資料

画像自動転送の推奨環境および設定について

Z9/Z8/Z6III/D6/D5 の場合

ネットワーク帯域と、iOS/iPadOS デバイスやサーバーの配置に応じた画像自動転送の推奨環境は、以下の図表の通りです。



リモートカメラと、使用する FTP サーバー、NX Field アプリのすべてが LAN（A）内にある場合：

LAN（A）実効速度	LV 表示撮影	リスト表示撮影
100Mbps	✓※1、2	✓
1Gbps	✓	✓

リモートカメラと、使用する FTP サーバーまたは NX Field アプリが LAN（A）内にない場合：

LAN（A）実効速度	LAN（B）実効速度	ハブ―ハブ間（C）実効速度	LV 表示撮影	リスト表示撮影
100Mbps		50Mbps 未満	—※1	✓※1、2
		100Mbps	✓※1、2	✓※1、2
1Gbps			✓	✓

※ 1　画像の自動転送を使用した場合、アプリの動作が不安定になります。

※ 2　3 台以上のカメラによる画像の自動転送および画像転送中のアプリ制御は非推奨です（50Mbps ×台数分の帯域が必要）。

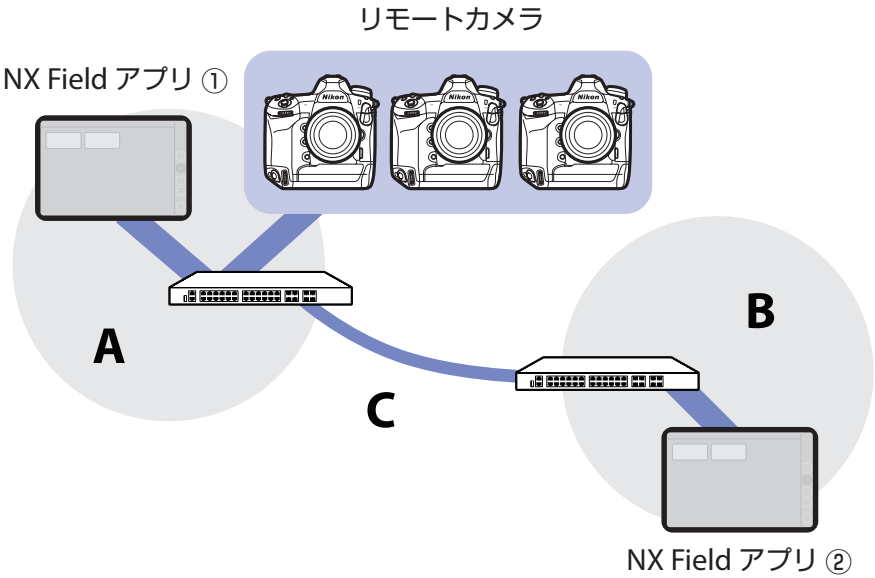
FTP サーバーに画像を送信するときのご注意

マスターカメラおよび複数のリモートカメラから、同じファイル名の画像が 1 つの送信先フォルダーに同時に送信されると、FTP サーバーの性能によってはサーバー上の画像が破損または消失するおそれがあります。処理能力の高い FTP サーバーを使用するか、次の設定を行うことで画像の破損や消失を防ぐことができます。

- 各カメラの静止画撮影メニュー［**ファイル名設定**］でファイル名の先頭 3 文字を固有の文字列に設定する。
- カメラ別に送信先のフォルダーを分けて設定する（📖 20）。

Z7II/Z6II/Z7/Z6 の場合

ネットワーク帯域と、iOS/iPadOS デバイスやカメラの配置に応じた推奨環境は、以下の図表の通りです。



リモートカメラと NX Field アプリのすべてが LAN（A）内にある場合：

LAN（A）実効速度	LV 表示撮影	リスト表示撮影
100Mbps	✓	✓
1Gbps	✓	✓

リモートカメラと NX Field アプリが LAN（A）内にない場合：

LAN（A）実効速度	LAN（B）実効速度	ハブ—ハブ間（C）実効速度	LV 表示撮影	リスト表示撮影
100Mbps		50Mbps 未満	—	✓
		100Mbps	✓	✓
1Gbps			✓	✓

索引

アルファベット

AF-On ボタン設定、192, 203, 220, 322
AF/WB タブ、126, 270
Busy、34
Change image、226
Connected、34
Drawing、229
Edit location、227
Error、34
Ethernet、40, 52
Exposure タブ、121, 264
FTP profile、154, 303
FTPS、19, 21, 308
FTP 画像送信モード、17
FTP サーバー、8, 17, 21
FTP ステータス、150, 298
FTP プロファイル、154, 303
Group name、22, 45, 59, 331
History、155, 304
Image タブ、130, 275
Info タブ、130, 275
IPTC、219
IP アドレス、17, 41, 55
LAN 変換アダプター、13, 39, 51, 327
List、181
Live view、58, 176, 189
LV タブ、85, 182
MAC アドレス、165, 314
MF 駆動量、101, 208
NAT トラバーサル、12, 21
NX Field アプリ、11, 326
Option、58, 176
Pairing Tool for NX Field、328
Remote camera list、75
SFTP、19
SFTP サーバー、19
Split View、173
TCP ポート、21
Timer、30
Video タブ、276
VPN、21
Wake-on-LAN、165, 314
WAN、9, 11
WOL、165, 314
WT-5、8
WT-6、8
WT-7、324, 327, 333

ア

一覧、84
インターバルタイマー撮影、233
オートキャプチャー、89, 187, 239
オプション、90, 188
音声メモ、140, 285

カ

カードフォーマット、162, 311

カスタムボタンの機能、73
カメラ再起動、134, 280
カメラ制御、85, 182
カメラ制御オプション、86, 184
カメラ設定、126, 269
カメラタブ、85, 182
グループ設定、24
グループ名、22, 45, 59, 331
グループレリーズ、239
警告通知、172, 322
ゲームパッド、170, 319
高周波フリッカー低減、125, 268

サ

再起動、151, 299
再生タブ、135, 281
撮影グループ、239
撮影後自動送信、37
撮影直後の画像確認、38
撮影メニュー、131, 171, 277, 321
サブネットマスク、18, 41, 55
時刻、14, 171, 321
省電力設定、31
スキンビューを表示、179, 191
スキン表示、191, 226
スポットホワイトバランス、127, 271
スロット、136, 282
静止画 / 動画切り換えレバー、335
静止画 / 動画セレクター、35, 36, 72, 77, 203
接続ウィザード、17
接続オプション、43, 81, 84
接続カメラ設定、63, 84
接続スイッチ、43, 57, 81, 175
接続設定、17, 331, 334
接続タイムアウト、171, 321
接続履歴、154, 303
全画面レリーズモード、93
送信後ファイル削除、37

タ

タイトル、48, 65
タイムコード、223, 225
タイムゾーン、15
タイル表示、189, 211
通信機能、151, 299
通信速度優先、31
通信プロファイル、329
匿名でログイン、19

ナ

内蔵無線 LAN、16
ネットワーク環境、172, 322
ネットワーク設定、163, 312

ハ

ハードウェアの選択、16
パワーズームレンズ、103, 215
半押し AF レンズ駆動、78
半押しタイマー、29, 165, 314, 335
表示名、25, 43, 57, 81, 175
ファームウェア、7, 14, 328
ファイアーウォール、21
フォーカスポイント、96, 200, 214, 219, 223, 224
フォルダーを指定、20
プリキャプチャー、101, 208
プリセットマニュアル、127, 271

プリセットマニュアル取得モード、128, 273
フレームレート設定、164, 231, 313
プレビュー、96, 199
ポート番号、21, 153, 302
ポートフォワーディング、12, 21
ホームフォルダー、20
ホワイトバランス、127, 271

マ

マスターカメラ、7, 22, 71
マルチカメラ、44, 58, 82, 176
メインーサブ表示、190, 213, 224
モニターのパワーオフ時間、36

ヤ

有線 LAN、8, 16, 324
有線 LAN/WT の機能、16
有線 LAN/ ワイヤレストランスミッター、7

ラ

ライブビュー、36, 58, 98, 176, 189
ライブビューセレクター、36
リスト表示、84, 181
リモートカメラ、7, 22
リモートカメラ情報、83, 177
ルーター、12, 21
レリーズボタン、22, 43, 44, 57, 58, 176
連動レリーズ、71
連動レリーズ切り換え、73
連動レリーズモード設定、73
録画設定、323
露出情報（露出設定）、123, 266

ワ

ワイヤレストランスミッター、8, 324